

UNICORN GUNDAM

FULL PSYCHO-FRAME PROTOTYPE MOBILE SUIT

PERFECT GRADE



機動戦士
ガンダム UC
MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN

フル・サイコフレーム実装試作モビルスーツ
RX-0 ユニコーンガンダム
1/60スケール パーフェクトグレードモデル

※画像の完成品は塗装してあります。※画像と商品は多少異なりますのでご了承ください。※画像はイメージです。
BANDAI 2014 MADE IN JAPAN



0194365

PERFECT GRADE

UNICORN GUNDAM

FULL PSYCHO-FRAME PROTOTYPE MOBILE SUIT

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
All items reserved by their respective owners and distributed by the licensees at
their own responsibility.
バンダイホビーサイト © 創通・サンライズ

試行錯誤があってこそこの「完全」

福井晴敏

たとえば、「本当に満足できるZガンダム」を手に入れるために、我々はデザイン発表から実に11年もの時を待たねばならなかった。

いや、それは96年に発売された最初のMG「Zガンダム」を念頭においての数字だから、Ver.2.0まで満足できなかったという御仁にとっては20年。いやいや、それでもまだ満足がいかぬぞと訴える御仁に至っては、2014年現在、いまだ完全なZのモデルとは出会っていないことになる。

当然と言えば当然だ。なぜって、Zガンダムは現実には存在しないメカ、2次元の平面上でのみ設定された架空のメカなのだから、これを変形機構まで含め、3次元上で「完全」に再現するのは容易なことではない。2次元の時には問題にならなかったデザイン上の矛盾を解消し、材質の強度、コスト、組みやすさ等々も考慮した上で商品化するには、供給側の技術革新のみならず、需要側の成熟もまた必要とされたのだろう。逆に言えば、「本当に満足できるZガンダム」という宿題が、需要と供給の双方に成長を促す結果になったのだ。

しかるに、どんな商品も発売と同時に不特定多数のレビューにさらされる昨今では、すぐに手に入る「完全」が求められる。実験や過程は容認されず、「完全」であることのみが求められるようになれば、供給側がすることはただひとつ、「完全」の敷居を下げることだ。

現状の技術でクリアできるフォルム、ギミックをデザイン段階で吟味し、逆算的に「完全」を導き出したところからスタートする。ビジネス的にはまったくもって正しい姿勢と言えるが、「完全」は手に入ったらそれで終わり、という一方の論理は忘れるべきではない。あらかじめ越えられるハードルしか用意されていない市場では、需要側と供給側が相身互いに「完全」を求めたZガンダムのようなケースは生まれ得ず、もたらされる進歩も効率に偏ったものになるということだ。

ユニコーンガンダムが幸運だったのは、小説発のオリジナル・ビデオ・アニメーションという、商業的にはダークホース的な立ち上がり方をした企画であったため、メカデザインにある程度の自由が許されていたことだろう。デザイナーのカトキハジメは、この機会を逃さなかった。筆者が要求した頭部の変形ギミックを始め、立体物になった時の整合性を担保した上で各所に実験的な要素を施した彼は、10年かけて「完全」を目指していける素材を我々に提示してみせたのだ。

最初のラフデザインを受け取った時から、実に8年。以後、カトキハジメが羽ばたかせたこの「可能性の獣」がどのような道行きをたどったのかは、本商品を手にしてくださった諸貴兄には説明するまでもないことと思う。いきなりMGという「完全」を求められながらも、ユニコーンガンダムは新商品が発表されるたびに少しずつ進化を重ね、ついにPGという現状もつとも「完全」に近いブランドに名を連ねるに至った。なによりうれしかったのは、携わる全スタッフが「嬉々」として、ここに至るまでの試行錯誤に取り組み、ファンの側にもそれを楽しむ空気が生まれてくれたことだ。

いつの世も、現状に対する不満が人を動かす。ニュータイプという「完全」に近づこうとして近づけない、ガンダムという物語自体がそれを証明していた。問題は、このPGをもってユニコーンガンダムは「完全」にたどり着いたのか？ ということだが、答を求めるのは野暮というものだろう。実に8年、でもまだ8年だ。Zがたどった進化を見ても、まだまだ伸び代はあるに違いない。迂闊に満足して、せっかくの可能性にケリをつけてしまうのはもったいないではないか。



RX-0 UNICORN GUNDAM

宇宙世紀0096年『箱』の鍵となったMS

一射で通常のビーム・ライフルの4倍もの威力を持った「ビーム・マグナム」、砲身自体がウェポン・プラットフォームとしても機能する「ハイパー・バズーカ」、前腕部のサーベル・ホルダーを展開させ、格闘戦への即時対応が可能な「ビーム・トンファー」など、従来技術から大幅にアップデートされた専用装備類に加え、ネオ・ジオン軍の規格品である「ビーム・ガトリングガン」をオート・コンパートで流用装備する順応性の高さまで備えていた白いモビルスーツは、もはや宇宙世紀の長い歴史を語る上で、外しようの無い存在だと断言出来るだろう。

AE (アナハイム・エレクトロニクス) 社 (※1) が極秘裏に開発していた、RX-0を型式番号とする「ユニコーンガンダム」。宇宙世紀0096年の「ラプラスの箱」(※2) を巡る戦いの中で、連邦とネオ・ジオン両軍のどちらにも属さず、まさに箱の鍵となった機体である。しかし本来、RX-0は地球連邦軍再編計画の一環「UC計画」(※3) における「ニュータイプ神話の崩壊を果たすための象徴」として生み出されたものであった。

サイコミュ機能を鑄込んだ「サイコフレーム」(※4) を骨格素材とする「フル・サイコフレーム構造」を採用した本機には、サイコミュ搭載モビルスーツの存在を感知し、撃破するための特殊OS「NT-D」(※5) がインストールされている。最大の特徴とも言えるNT-D発動の際には、一角のブレードアンテナを額に抱く「ユニコーンモード」から、その角を割り、装甲やフレームを拡張させた「デストロイモード」へと、機体のシルエットを瞬時にして変形——もとい、変身させるのである。

勿論、ガンダムタイプの印象を強めた外装だけでなく、総合的な性能数値も向上してはいるのだが、その力の源であるはずのサイコフレーム技術は、未だ全ての特性を解析出来ていたとは言えなかった。実際、開発試験中にフレーム同士の共振反応が原因と見られる暴走事故が発生するなど、フル・サイコフレーム構造があらゆる状況下において、想定外の現象を引き起こす「危うさ」を常在していたのも事実であった。

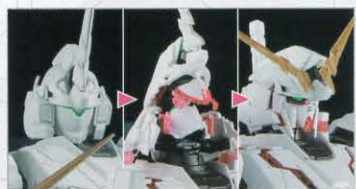
しかし開発陣はその対策として、本機が抱く危険性を根本から抑え止めるのではなく、たとえリスクを冒してでも、そこから生まれる強い力を最大限に利用する方向を選択する。サイコミュ系の異常によってNT-Dの稼働レベルが制御不可能な数値にまで達した時、搭乗者の意志とは関係なく、機体が次の段階へと移行する「仕掛け」を組み込んだのだ。

ユニコーンガンダムに使用されている「サイコフレーム」は、解明されていない機能が多い素材であった。サイコフィールドの発生などはその一例に過ぎない。



HEAD

頭部は細部のディテールまで表現。さらにユニコーンモードからデストロイモードへの変形機構も搭載。ユニコーンモードのアンテナは、マグネットにより閉じた状態を保持することができる。



ARM

前腕部に取り付けられたビーム・トンファーとデストロイモードでの装甲の展開ギミックを両立。ヒジの可動域も広く、バックパックのビーム・サーベルを引き抜くアクションポーズを取らせることも可能。



LEG

デストロイモードでの装甲展開をPGならではの解釈で表現。また、大きく膝を曲げたアクションポーズが可能であり、造型とギミックを融合させている。装甲が拡張したデストロイモードでも、ユニコーンモードと同等の可動範囲を確保している点にも注目。

RX-0 UNICORN GUNDAM [DESTROY MODE]

HYPER BAZOOKA

ハイパー・バズーカは細部に至るディテールに加え、伸縮ギミックを再現。肩に担ぎ両手で構えたポーズを取らせることができる。



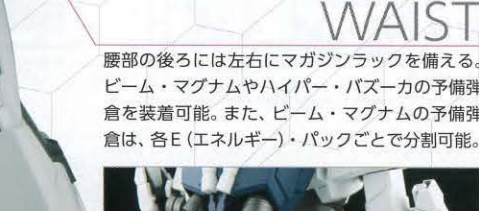
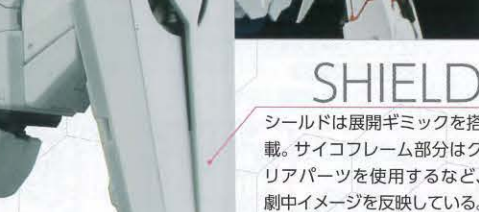
ビーム・マグナムなどの装備は本体に取り付ける事が可能。

EQUIPMENT

RX-0 UNICORN GUNDAM [UNICORN MODE]

WEAPONS

RX-0 ユニコーンガンダムの標準装備であるビーム・マグナム、ハイパー・バズーカ、シールドが付属。また、ネオ・ジオン軍MS用に開発されたビーム・ガトリングガンが2基付属。

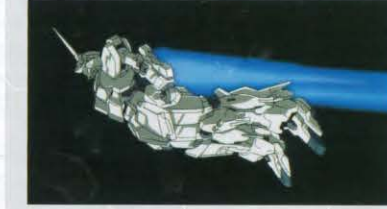


※1 AE (アナハイム・エレクトロニクス) 社 地球圏最大のコングロメリット (複合企業) として知られる。MS開発においても最大手であり、RX-0 ユニコーンガンダムを始め、多数のガンダム・タイプMSを開発している。ビスト財団とも密接な関係にあり、「箱」を巡る争乱の中心人物のひとりであったマーサ・ビスト・カーバインやアルベルト・ビストが籍を置いていた。

※2 「ラプラスの箱」 宇宙世紀最大の謎と言われ、ビスト財団はこれを用いて地球連邦から便宜を引き出していた。実際には、真の宇宙世紀憲章が記された石碑であり、その内容が明らかになった場合、現在の連邦体制を大きく揺るがすと言われていた。U.C.0096、ビスト財団の当主カーデアス・ビストがこれを「補付き」に譲渡しようとしたことを発端として、争乱が勃発する。



※3 「UC計画」 連邦軍再編計画の一環として実施されたMS開発計画。この計画に則ってRX-0 ユニコーンガンダムが建造された。連邦軍再編計画のプロパガンダ的な側面を持つ。なお、最終テストはAEの工業コロニー<インダストリアル7>で行われた。



※4 サイコフレーム サイコミュとしての機能を持つチップを粒子レベルで鑄込んだMS用の構造材。U.C.0093に勃発した「シャアの反乱」時にネオ・ジオンが開発したとされ、AEのグラナダ工場を経て同社のフォン・ブラウン工場にもたらされた。サイコミュや機体のレスポンスの向上などの機能を持つ。画期的な素材ではあったが機能的に未知数な部分が多かったため、表面の研究は中止された。なお、RX-0 ユニコーンガンダムは、全身のムーバブルフレームがサイコフレームで構成されている。



※5 NT-D 「ニュータイプ・デストロイヤー」システムの略。RX-0 ユニコーンガンダムに搭載されている特殊OSで、ニュータイプ (NT) の存在 (感応波) を察知することで発動する。その目的は敵NTの殲滅であり、発動時デストロイモードに変身したユニコーンガンダムは圧倒的な戦闘力を発揮する。しかし、パイロットへの負担が大きく、最大稼働時間は5分と言われる。



注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

組み立てる時の注意

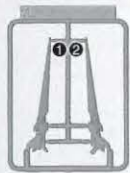
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な水性塗料のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには充分ご注意ください。

パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

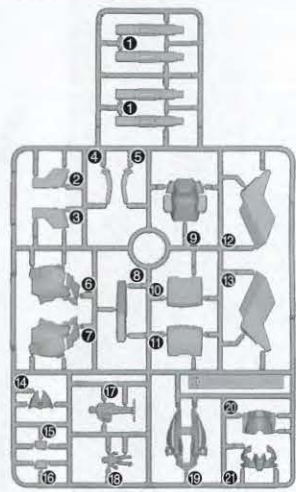
Aパーツ(ホワイト)

金属インサートパーツ
(スチロール樹脂:PS)



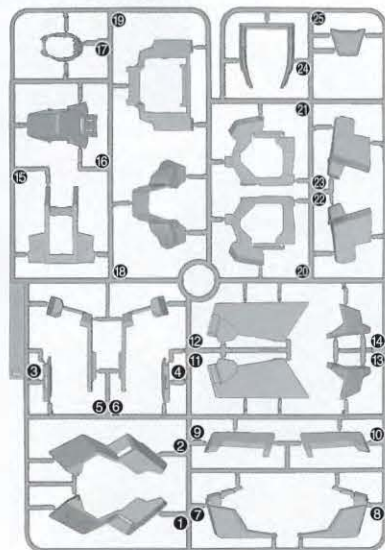
Bパーツ(ホワイト)

(スチロール樹脂:PS)



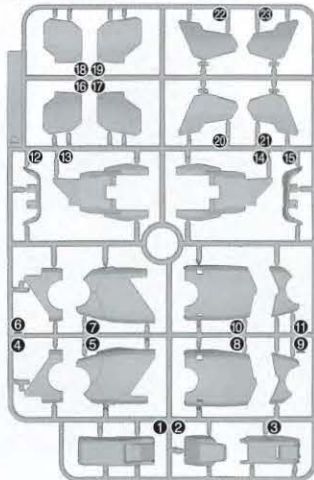
Cパーツ(ホワイト)

(スチロール樹脂:PS)



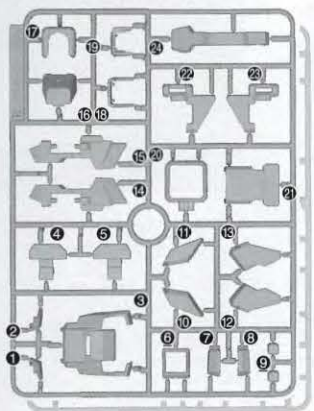
Dパーツ(ホワイト)

(スチロール樹脂:PS)



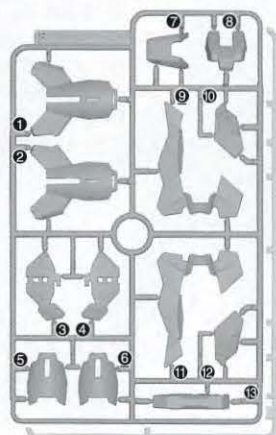
Eパーツ(ホワイト) (x2)

(スチロール樹脂:PS)



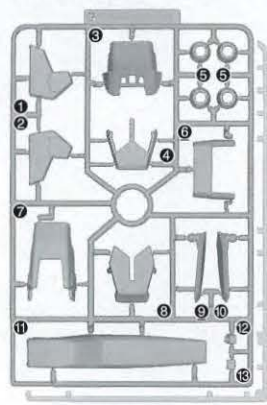
Fパーツ(ホワイト) (x2)

(スチロール樹脂:PS)



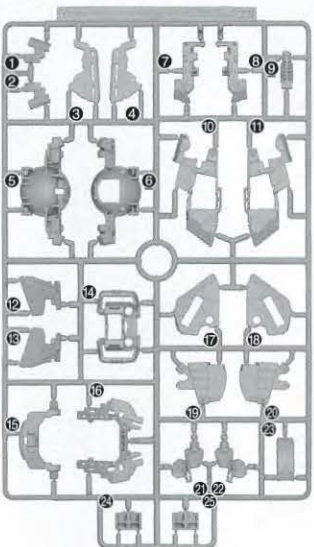
Gパーツ(ホワイト) (x2)

(スチロール樹脂:PS)



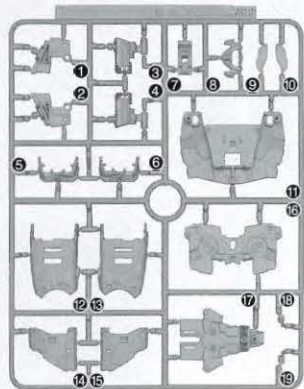
Hパーツ(クリアレッド)

(ABS樹脂:ABS)



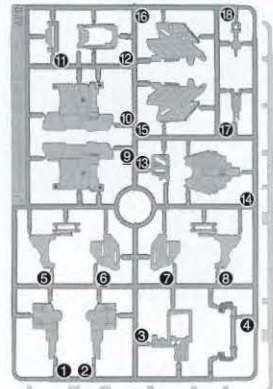
Iパーツ(クリアレッド)

(ABS樹脂:ABS)



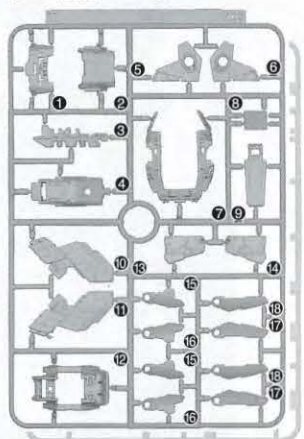
Jパーツ(クリアレッド) (x2)

(ABS樹脂:ABS)



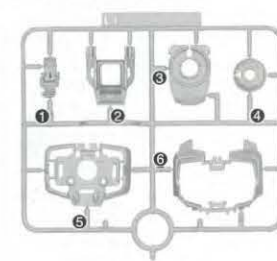
Kパーツ(クリアレッド) (x2)

(ABS樹脂:ABS)



L1パーツ(グレー)

(スチロール樹脂:PS)



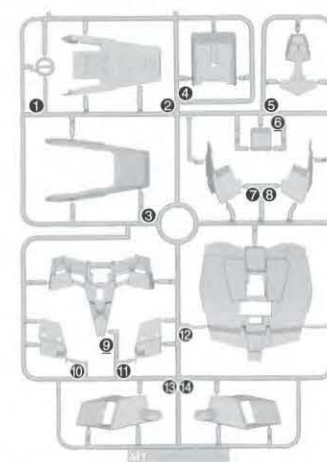
L2パーツ(グレー)

(スチロール樹脂:PS)



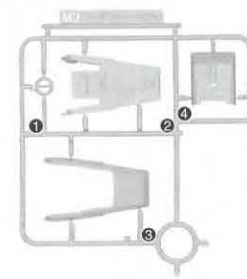
M1パーツ(ダークブルー)

(スチロール樹脂:PS)

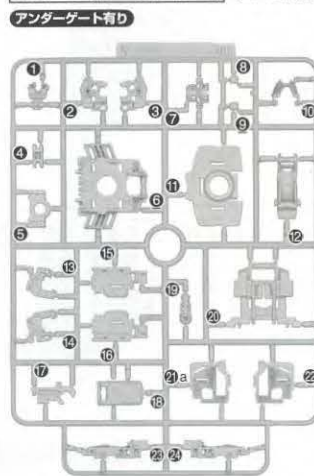


M2パーツ(ダークブルー)

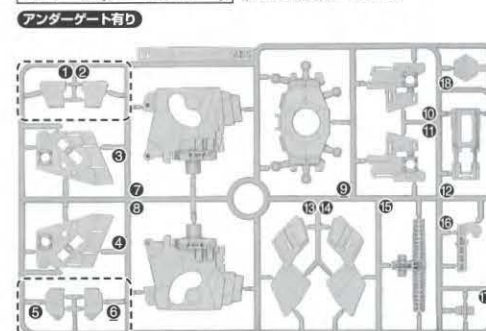
(スチロール樹脂:PS)



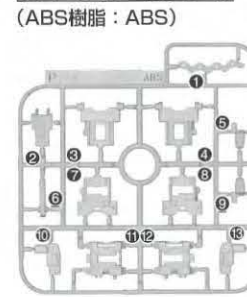
Nパーツ(ダークグレー)



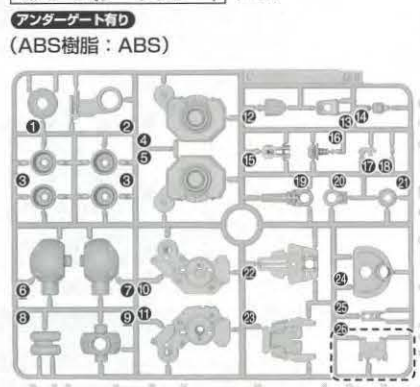
Oパーツ(ダークグレー)



Pパーツ(ダークグレー)

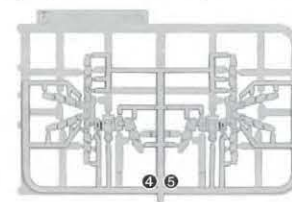


Qパーツ(ダークグレー) (x2)

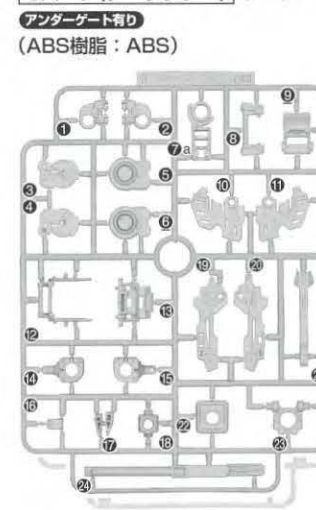


Rパーツ(ダークグレー)

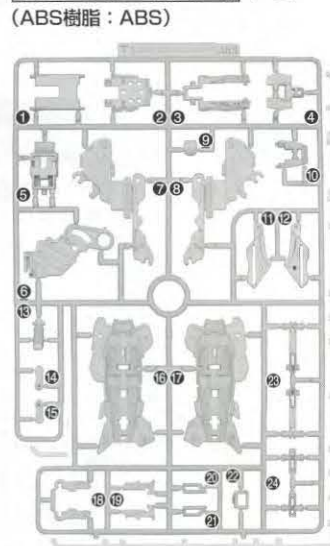
(ポリプロピレン:PP)



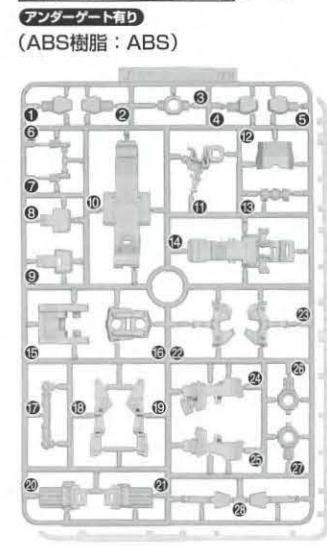
Sパーツ(ダークグレー) (x2)



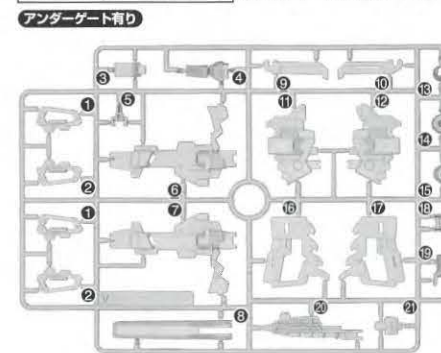
T1パーツ(ダークグレー) (x2)



Uパーツ(ダークグレー) (x2)



Vパーツ(ダークグレー)

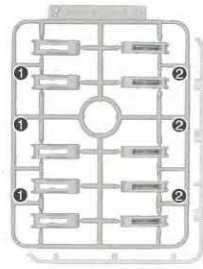


※O1, O2, O3, O4はPG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む場合に使用しますのでとっておいてください。

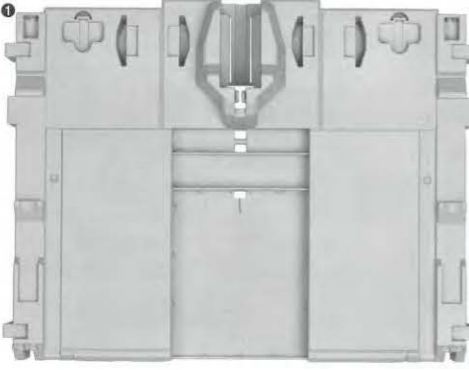
※QはPG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む場合に使用しますのでとっておいてください。

※説明書の中ではT1と表記しています。

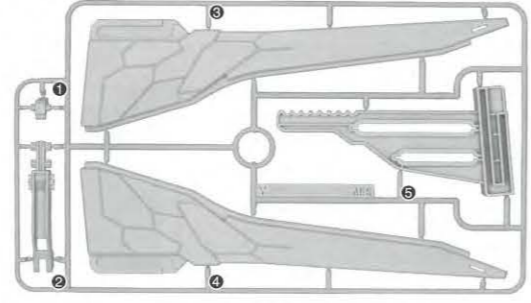
Wパーツ(グリーン) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



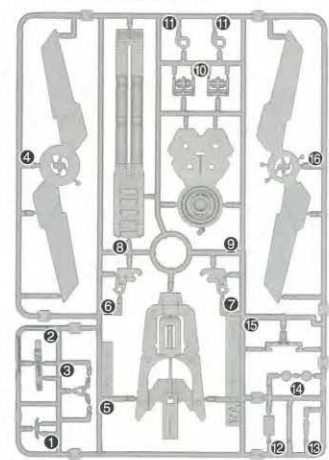
Xパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



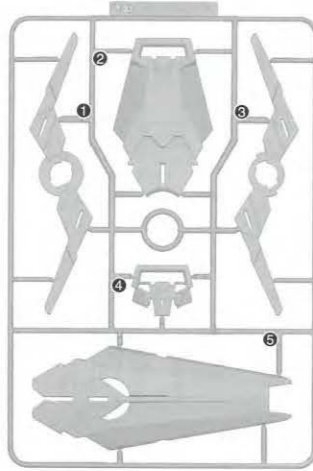
Yパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)
アンダーゲート有り



WAパーツ(イロバラ)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



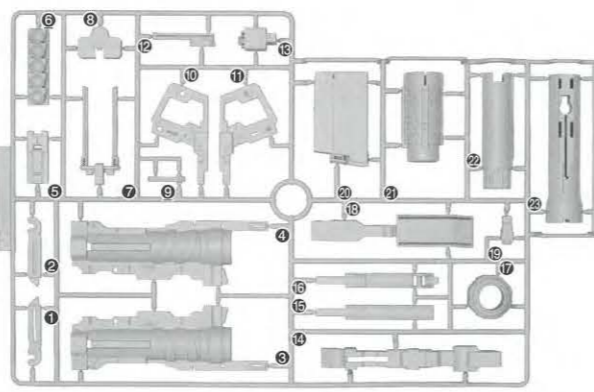
WBパーツ(ホワイト)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



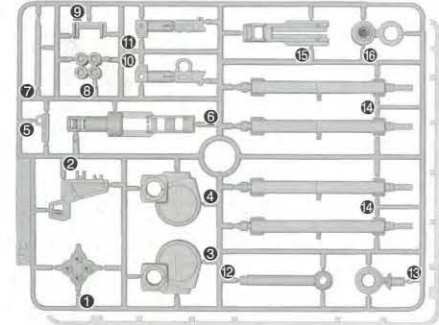
Zパーツ(クリアピンク) (スチロール樹脂: PS)



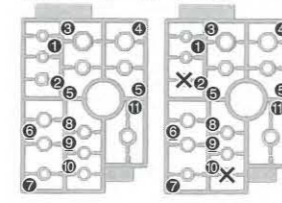
WCパーツ(ダークグレー) (スチロール樹脂: PS)
アンダーゲート有り



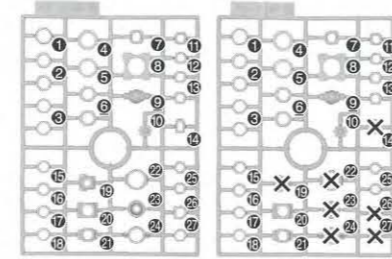
WDパーツ(ダークグレー) (×2)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



POM-0(ライトグレー) (×2)
(ポリアセタール: POM)



PC-0(ダークグレー) (×2)
(ポリエチレン: PE)

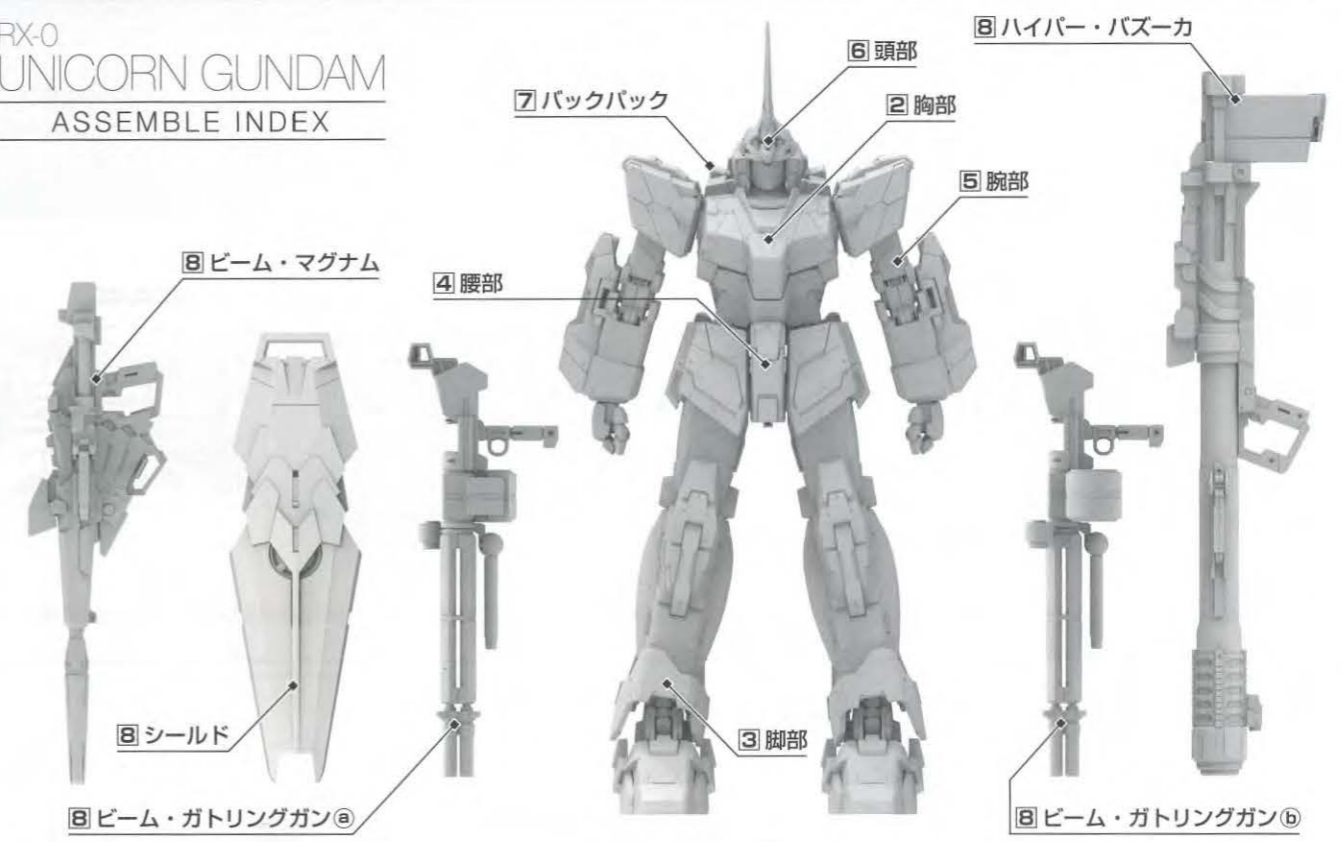


シルバーシール.....1枚
メタリックシール.....1枚
マーキングシール.....1枚

※メタリックシール7はPG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用) (別売り)を組み込む場合に使用しますのでおいてください。
※シルバーシール8(1枚)、9(4枚)は、PG RX-0 ユニコーンガンダム用 FA拡張ユニット(別売り)で使用するのでおいてください。

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますが、性能に問題はございません。

RX-0 UNICORN GUNDAM ASSEMBLE INDEX



組み立て前の基本説明

必要な道具

〈ニッパー(プラスチック用)〉
・パーツをランナーから切りはなすのに使います。



〈ピンセット〉
・小さい部品を取り付けたりシールを貼るのに便利です。



〈パーツセパレーター〉
・パーツを外すときに使います。

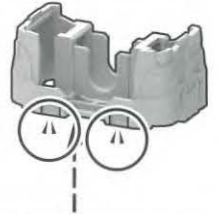


※この商品に道具類は入っていませんので、別にご用意ください。

※PG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用) (別売り)に付属。

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



マーキングシールの貼りかた

①ピンセット等でつまみ、形を合わせてマーキングシールを貼ります。



②浮いている部分は指等で押さえます。



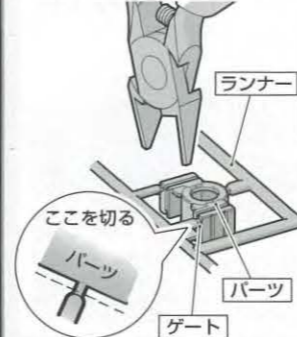
捨てランナーについて

※パーツに付いている捨てランナーは、切り取ってください。

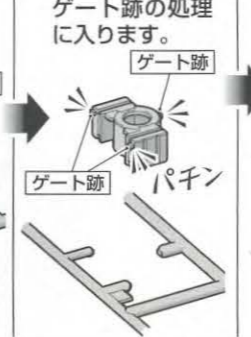


パーツの切り取りかた

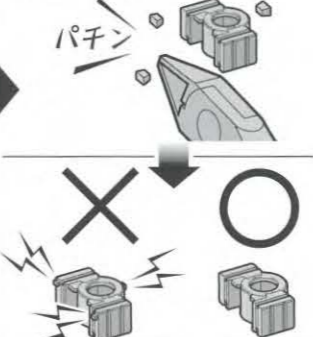
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

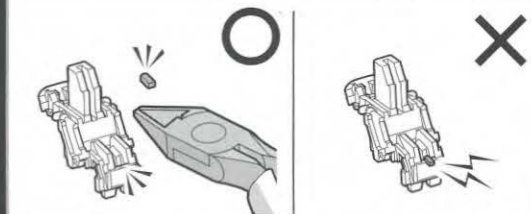
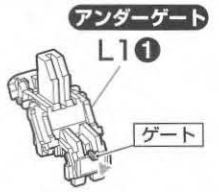


③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



アンダーゲートの切り取りかた

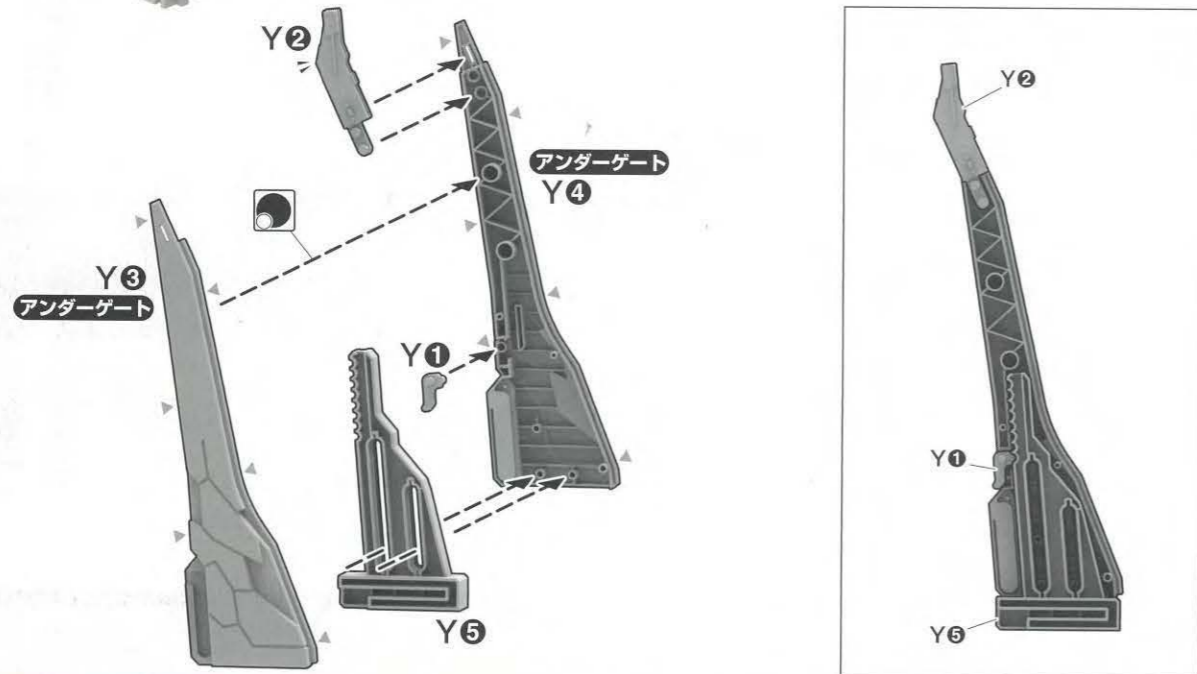
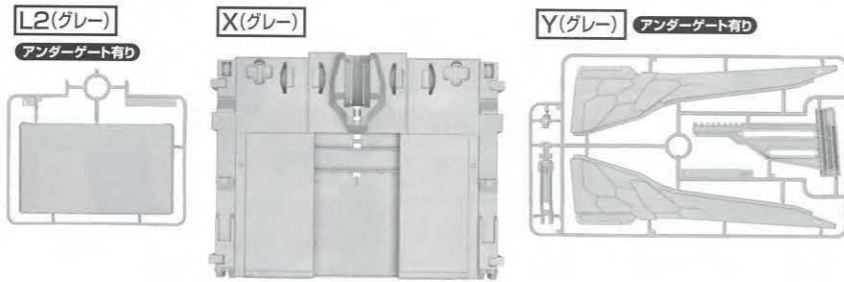
※説明書でアンダーゲートと表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



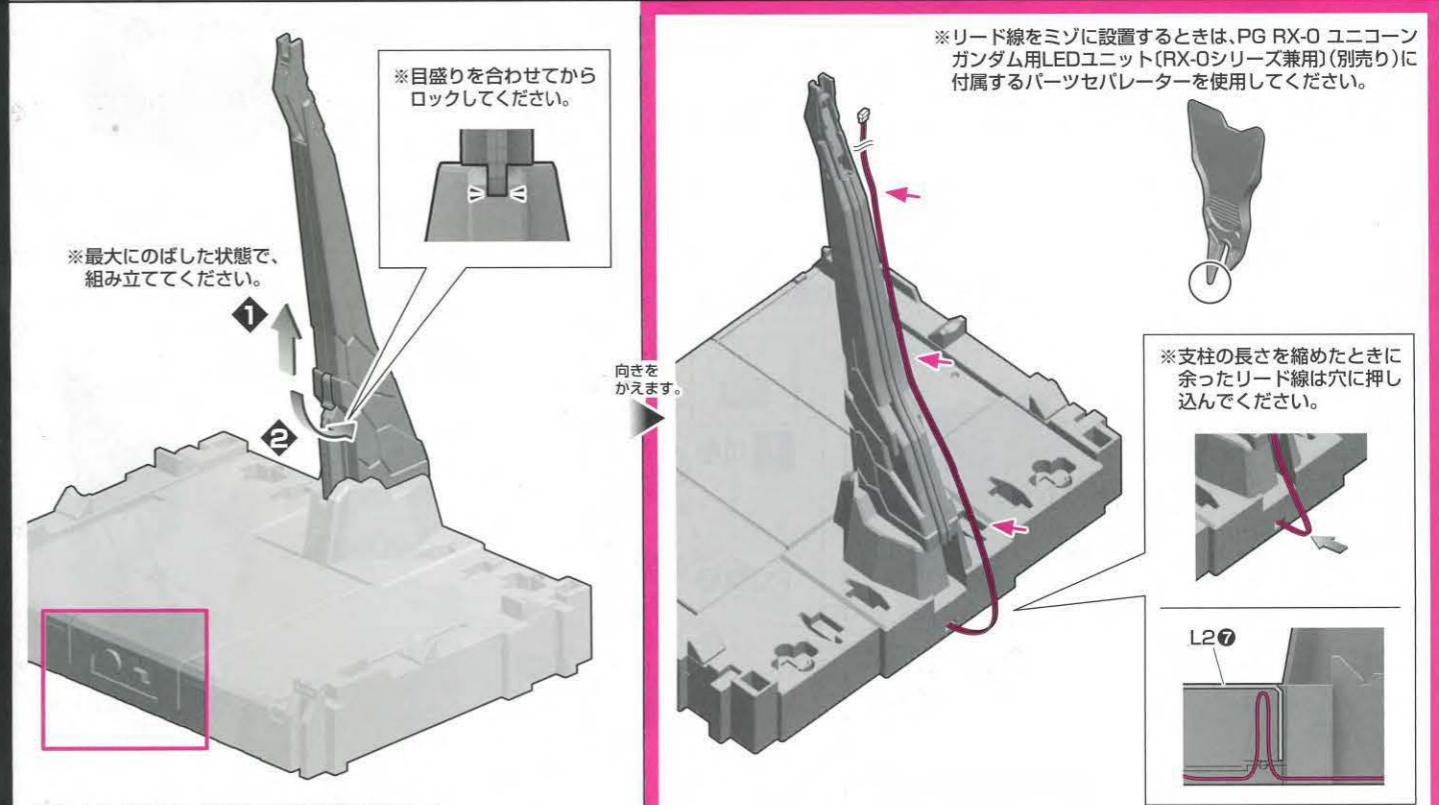
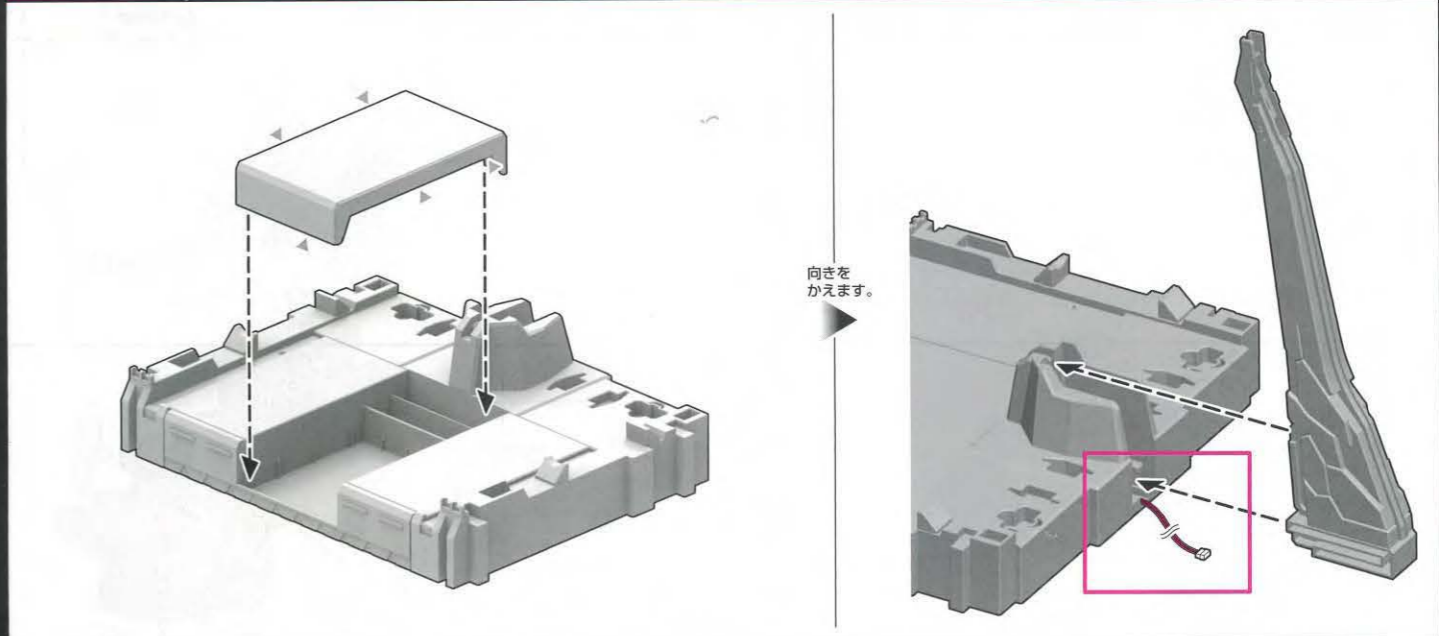
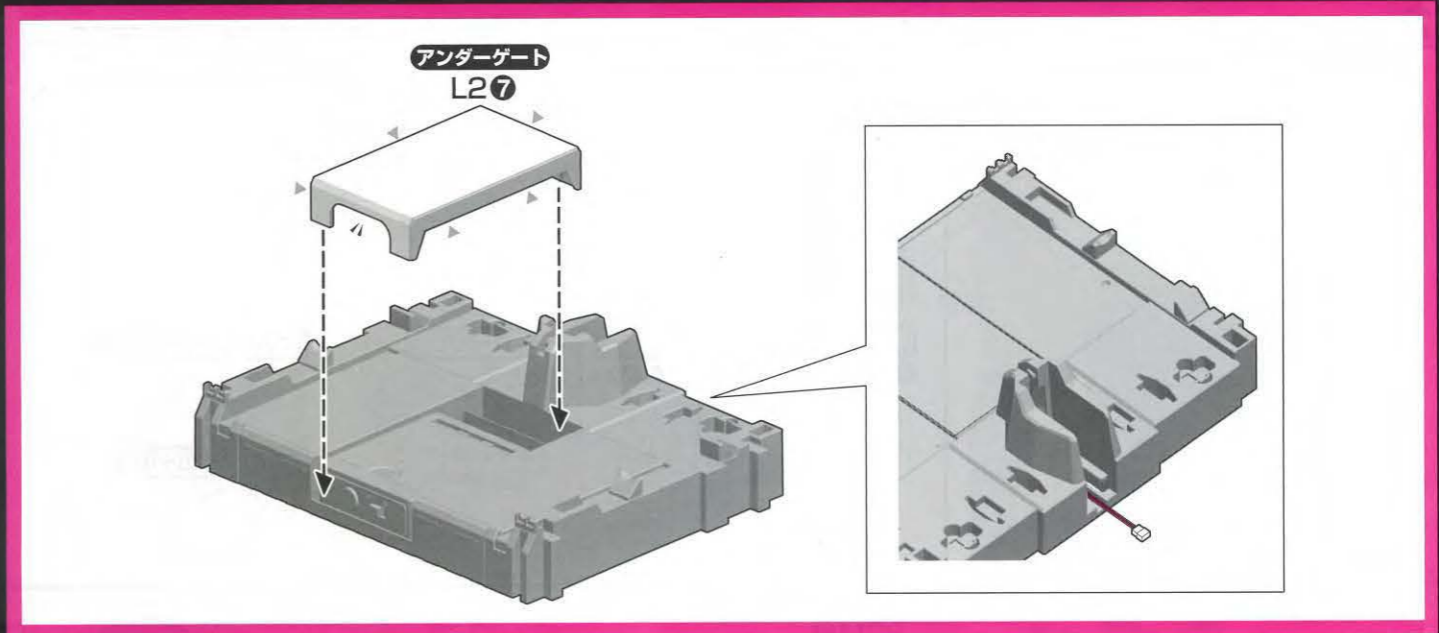
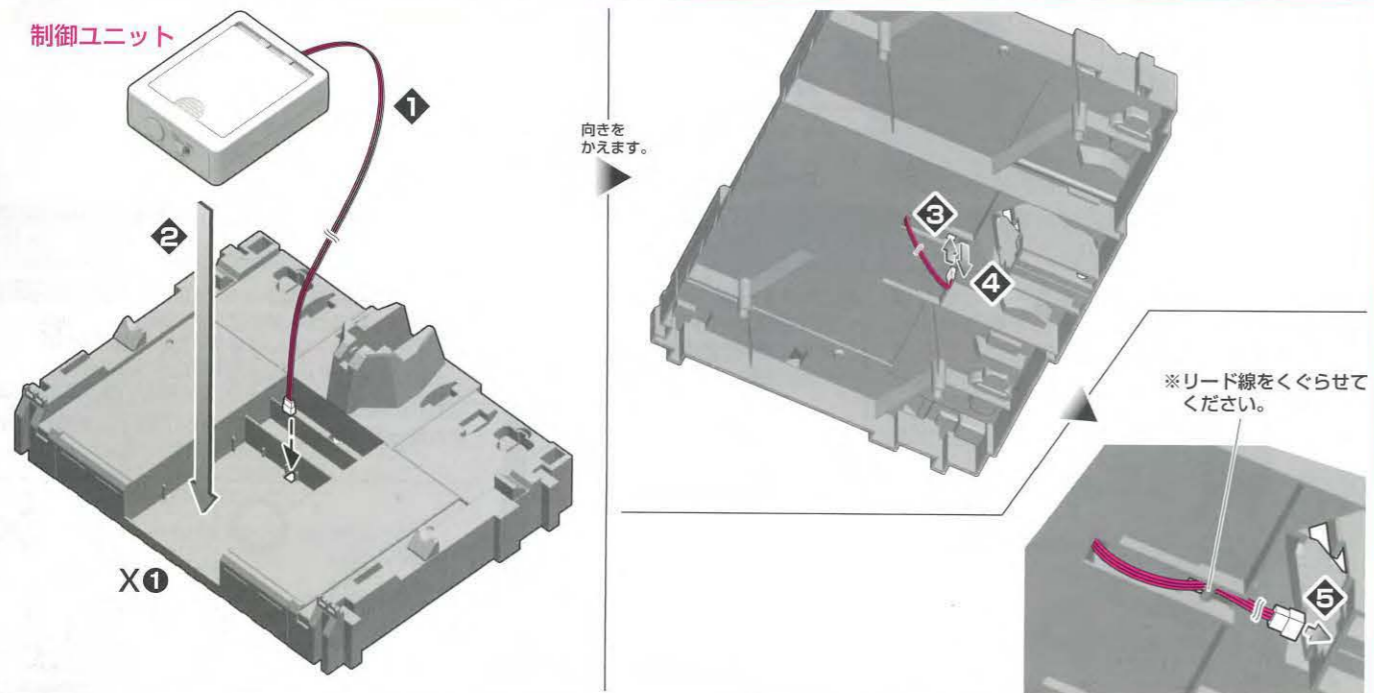
※説明のため、画像やイラストは商品と多少異なりますのでご了承ください。
 ※PG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む方は、赤い枠のイラスト部分も組み立ててください。
 ※PG RX-0ユニコーンガンダムを組み立てた後に、PG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む場合は、56ページからの分解手順を参考にPG RX-0 ユニコーンガンダムを分解後、LEDユニットを組み込んでください。

1 台座の組立

・組立1で使用するパーツ



制御ユニット



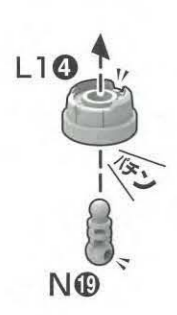
2 胸部の組立



・組立2で使用するパーツ

B(ホワイト) アンダーゲート有り	C(ホワイト) アンダーゲート有り	G(ホワイト) (x2)	H(クリアレッド) アンダーゲート有り	J(クリアレッド) (x2)
L1(グレー) アンダーゲート有り	N(ダークグレー) アンダーゲート有り	Q(ダークグレー) (x2)	POM-O(ライトグレー) (x2)	PC-O(ダークグレー) (x2)

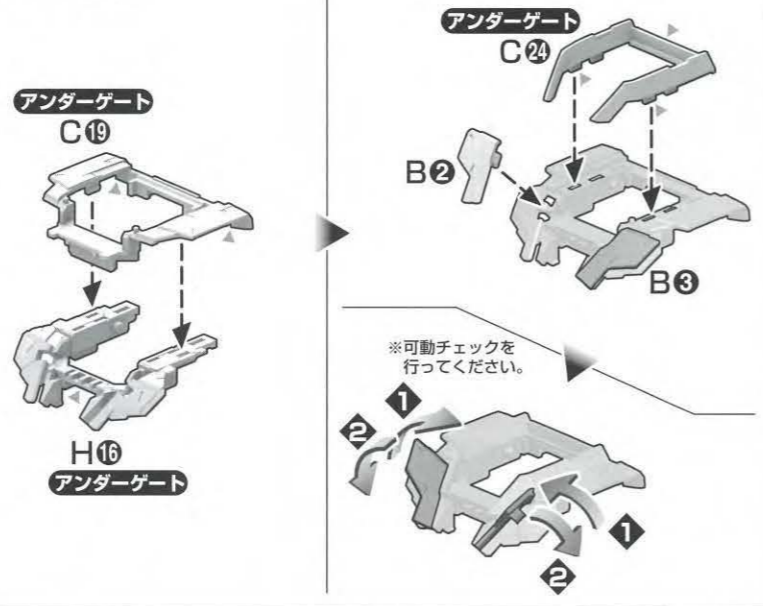
胸部Aの組立



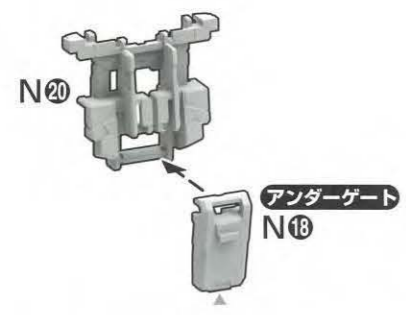
胸部Bの組立



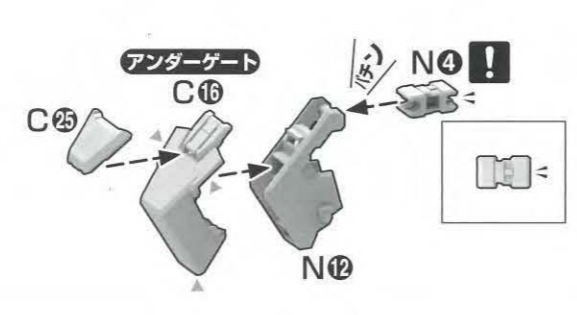
胸部Cの組立



胸部Dの組立



胸部Eの組立



胸部へのLEDユニット組み込み (赤い枠のイラストは、PG RX-0 ユニコンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む場合の説明です。)

※配線は一部省略しています。

ユニット(a)
(胸部ユニット)

※「カチッ」と音がするまで開きます。

※画像は説明のため、黒色のリード線を使用しています。

※画像は説明のため、黒色のリード線を使用しています。
※配線は一部省略しています。

※画像は説明のため、黒色のリード線を使用しています。

※リード線は、1本ずつ通してください。

3 脚部の組立



・組立③で使用するパーツ

D (ホワイト) アンダーゲート有り	F (ホワイト) (×2) アンダーゲート有り	G (ホワイト) (×2) アンダーゲート有り	H (クリアレッド)	I (クリアレッド) アンダーゲート有り
K (クリアレッド) (×2) アンダーゲート有り	M1 (ダークブルー) アンダーゲート有り	M2 (ダークブルー) アンダーゲート有り	P (ダークグレー)	
Q (ダークグレー) (×2) アンダーゲート有り	T1 (ダークグレー) (×2)	U (ダークグレー) (×2) アンダーゲート有り	POM-O (ライトグレー) (×2)	PC-O (ダークグレー) (×2)

脚部④の組立

×2

U15
PC13 (ダークグレー) PC18 (ダークグレー)
U10 アンダーゲート
アンダーゲート U14
PC12 (ダークグレー) PC11 (ダークグレー)
U11 (ダークグレー)

×2

U19
U18
M14 (M24) アンダーゲート
アンダーゲート U3
PC7 (ダークグレー) PC21 (ダークグレー)
U24 アンダーゲート
アンダーゲート U25
U26 !
U4 (ライトグレー) POM5 (ライトグレー) U27 !
U6 (ダークグレー) PC2 (ダークグレー)

×2

アンダーゲート U12
U17 ※凹穴のある方
アンダーゲート K2
アンダーゲート G6
アンダーゲート (M23) M13
M12 ※きれいに (M22) 切り取ります。

×2

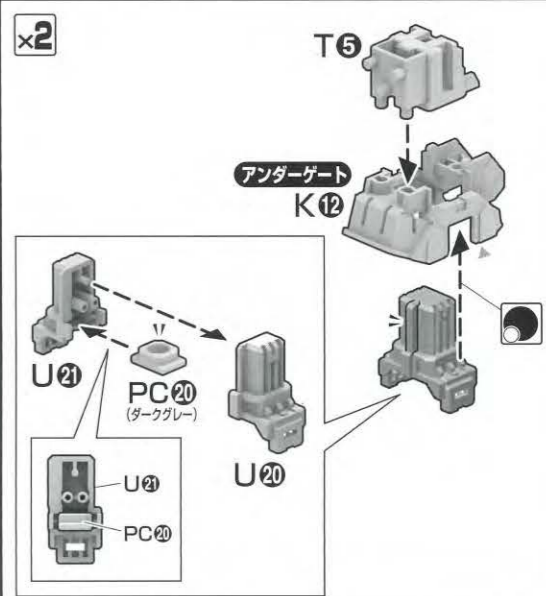
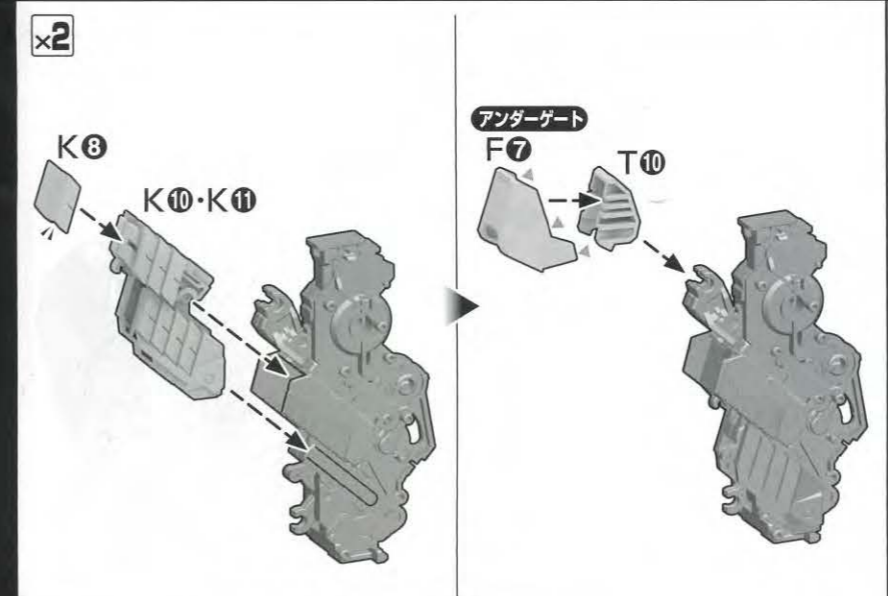
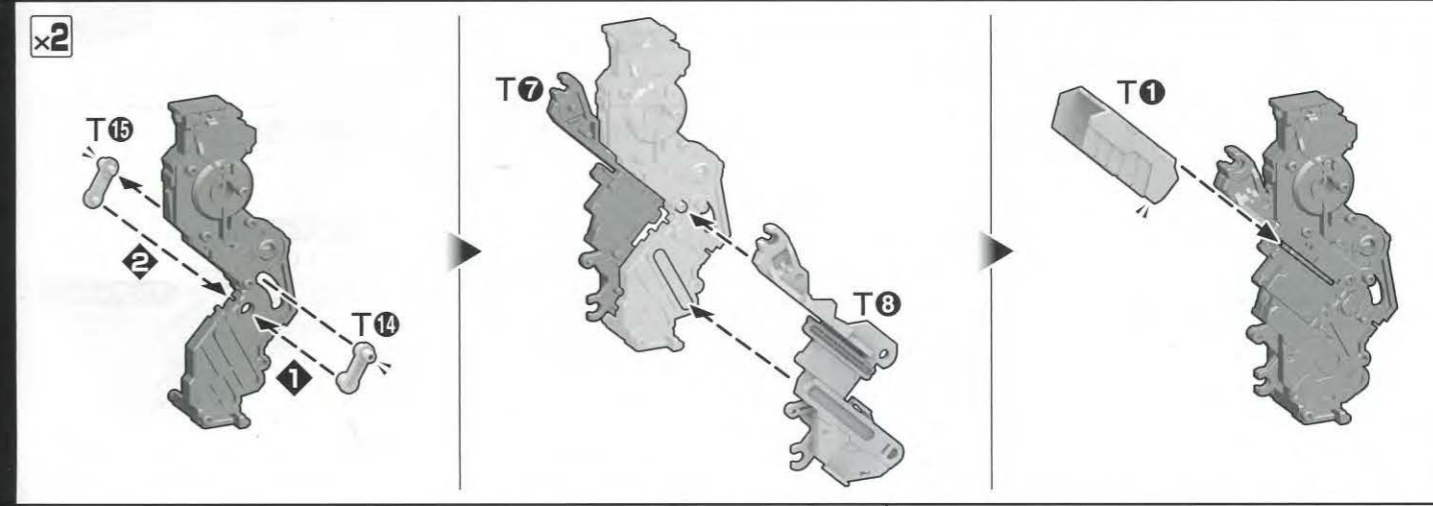
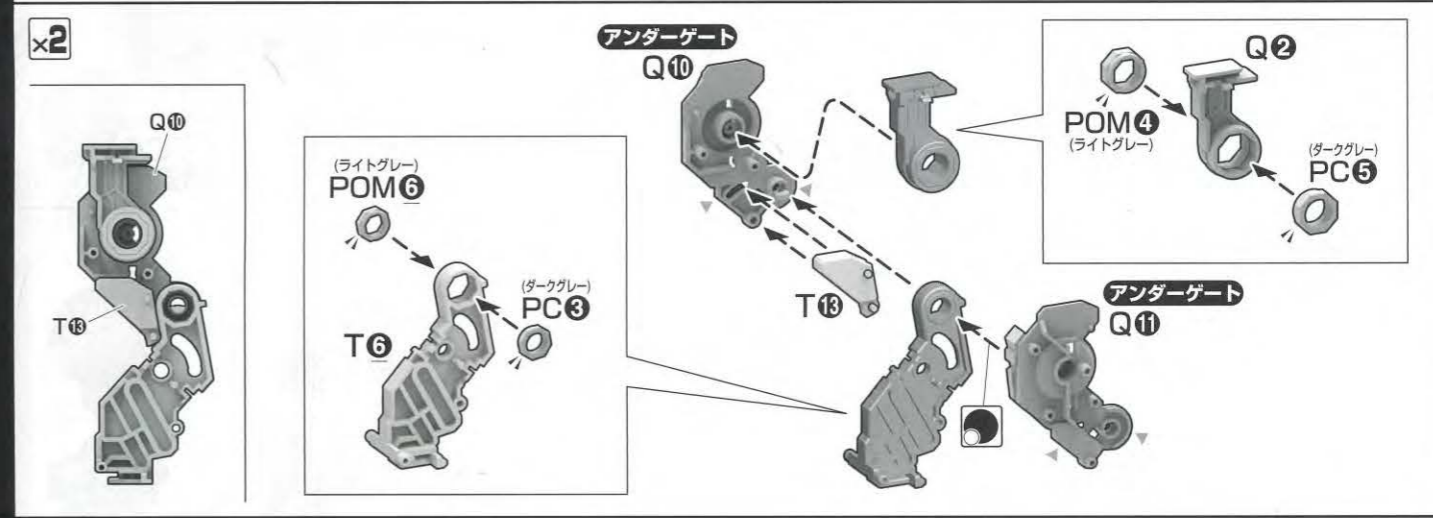
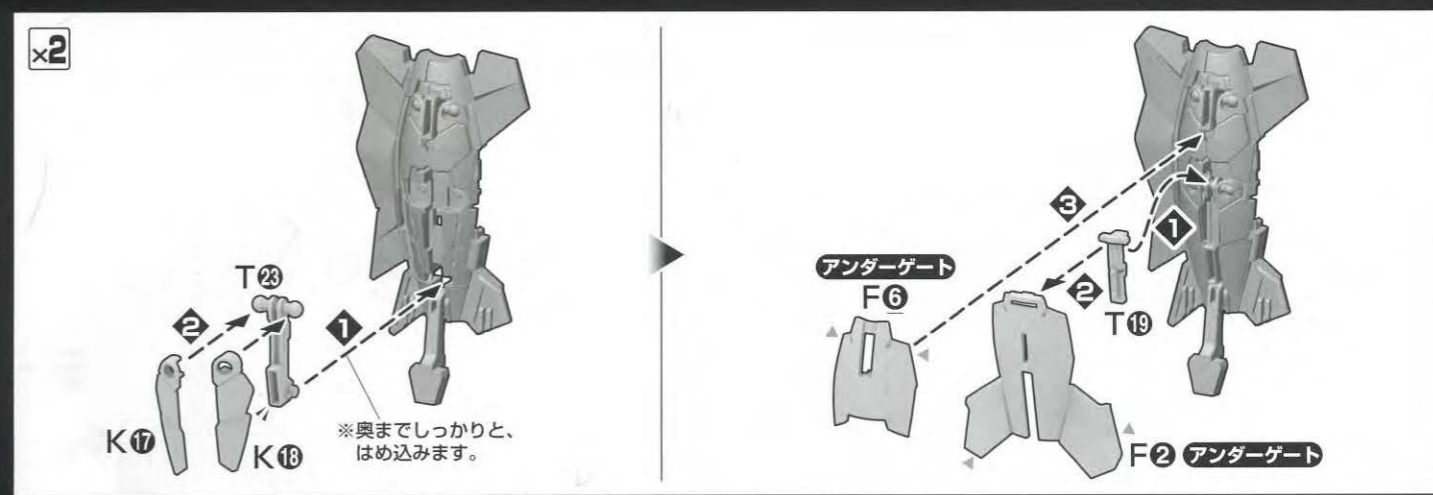
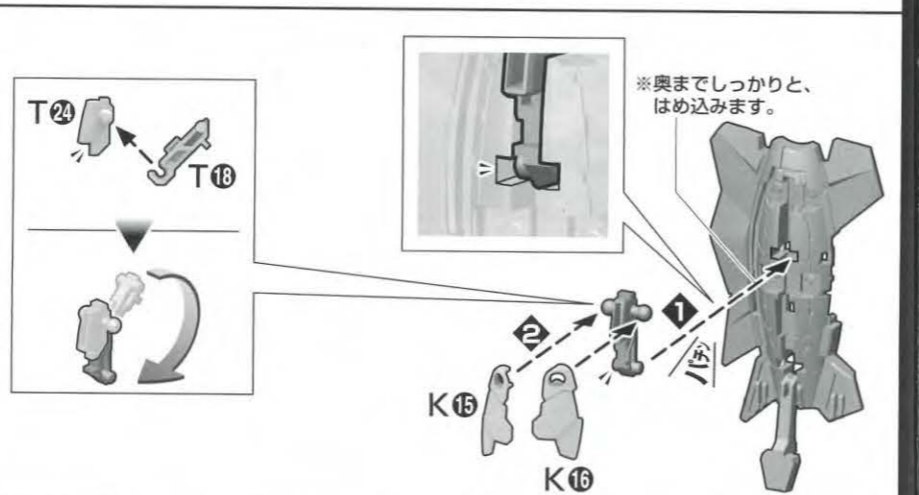
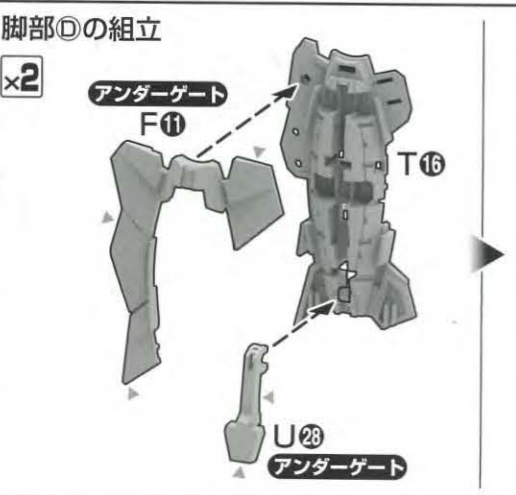
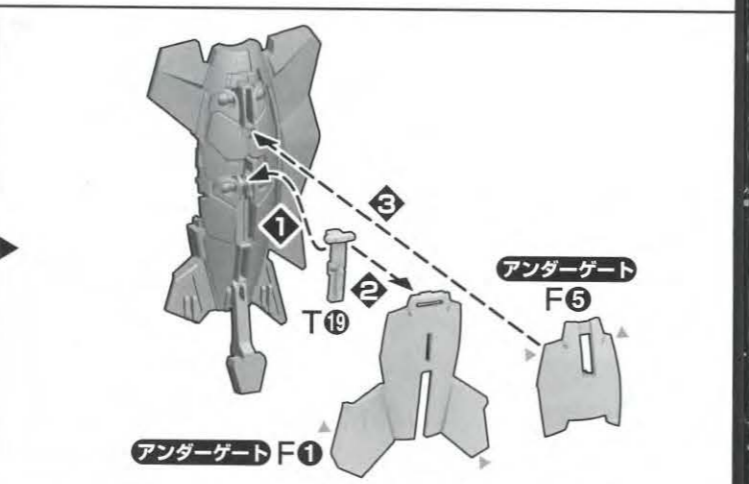
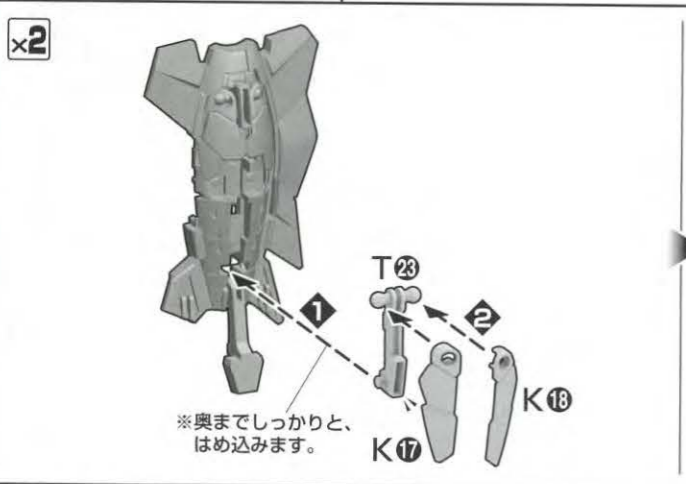
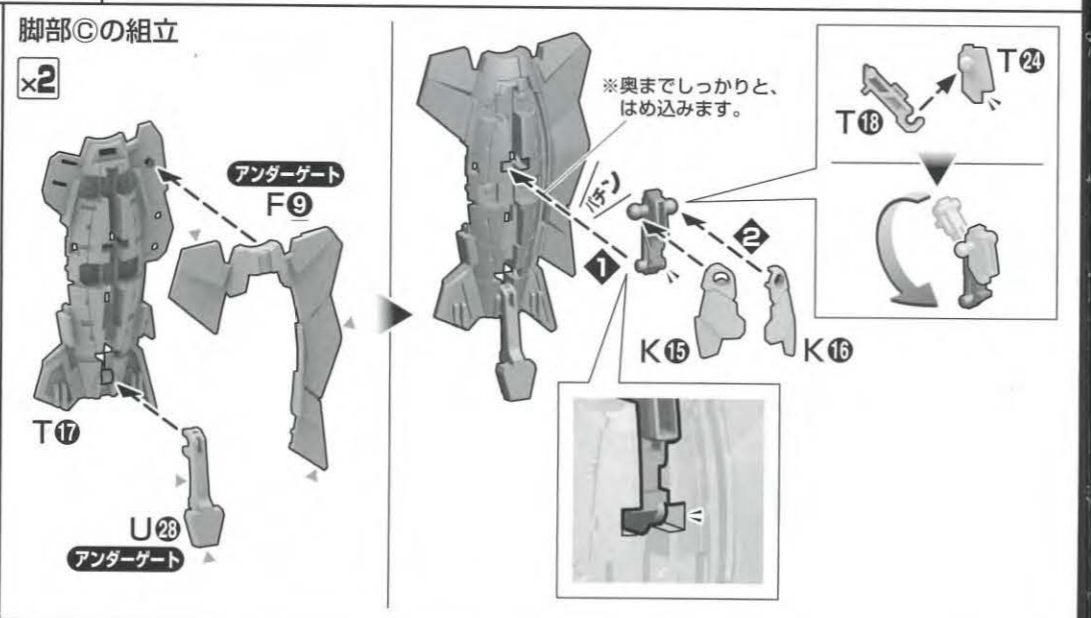
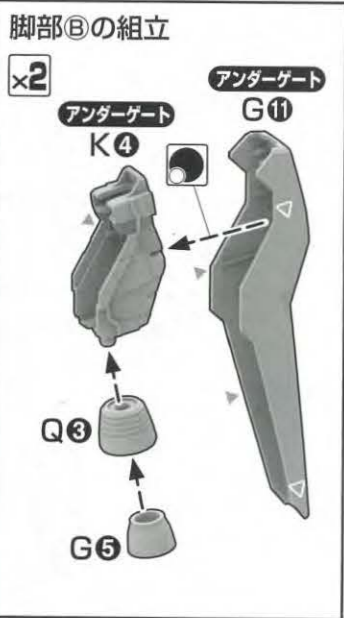
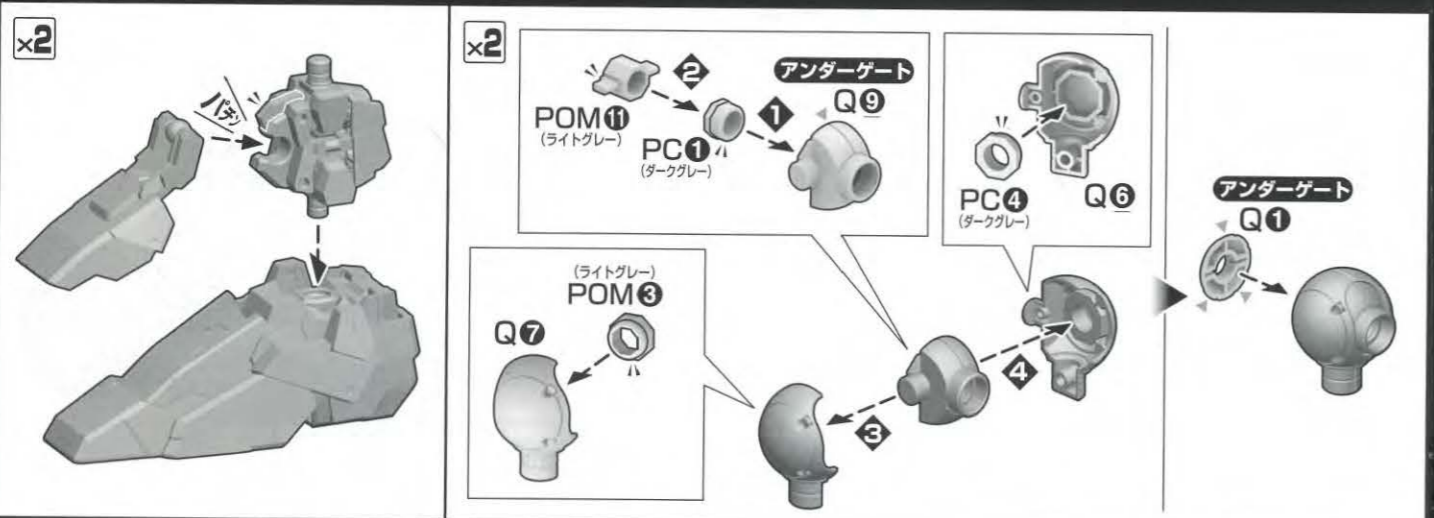
アンダーゲート G7
アンダーゲート G2 K6
向きをかえます。
G9
G10 アンダーゲート
アンダーゲート K6
アンダーゲート G1

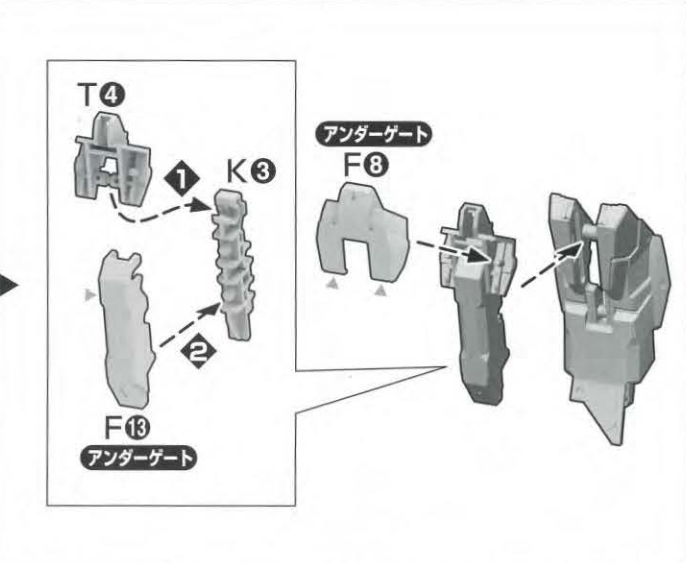
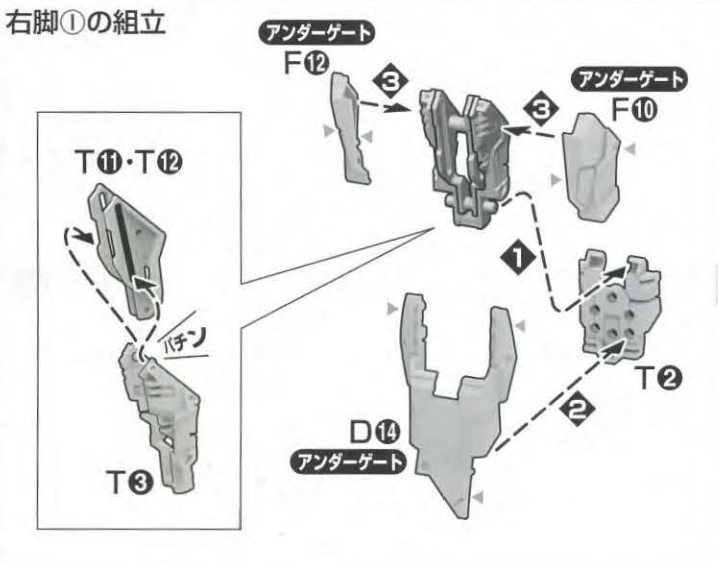
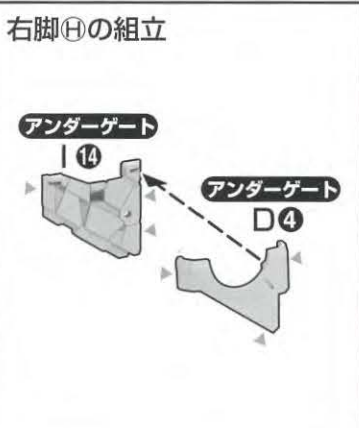
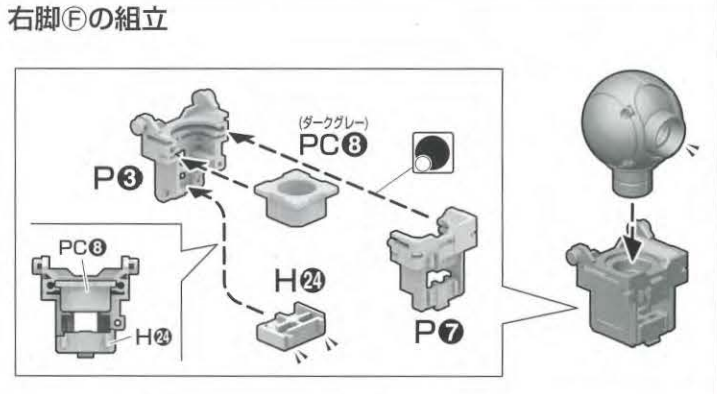
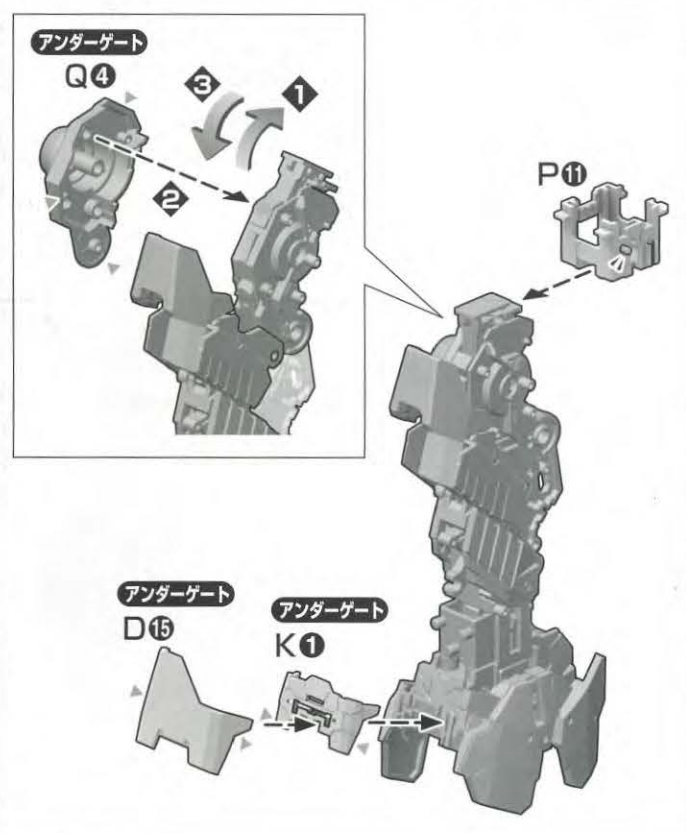
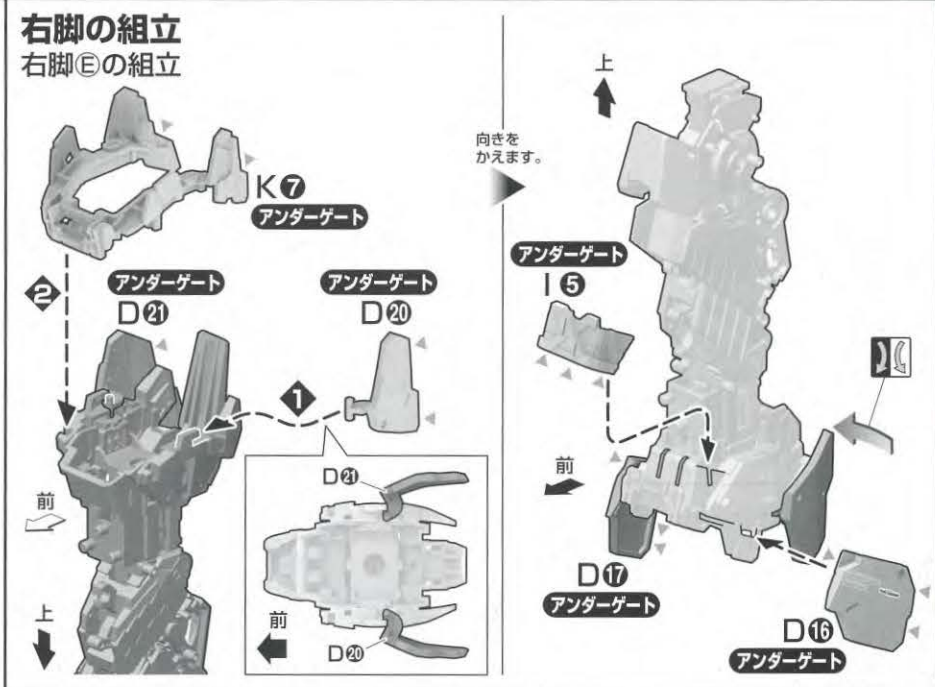
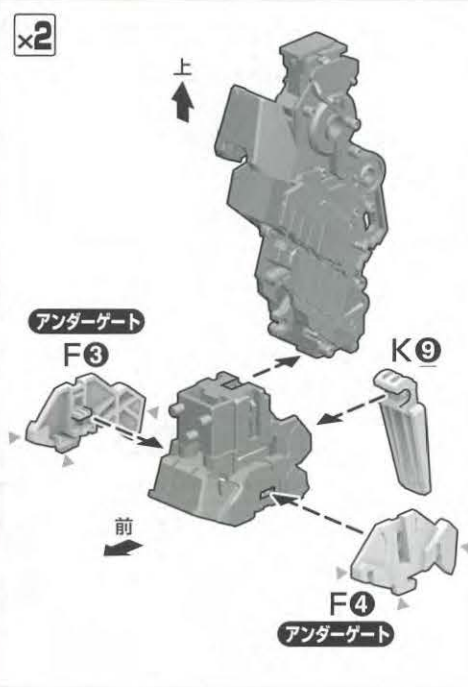
×2

アンダーゲート U8
アンダーゲート G3
※ミゾのある方が後ろ側
アンダーゲート U7 U6
U9

×2

(ダークグレー) PC2 (ダークグレー) U2
U1 POM6 (ライトグレー) U25 !
(ダークグレー) PC6 (ダークグレー) U16 アンダーゲート
U22・U23 アンダーゲート
広い方 広い方
U4 (ライトグレー) POM5 (ライトグレー) U27 !
(ダークグレー) PC2 (ダークグレー) U6





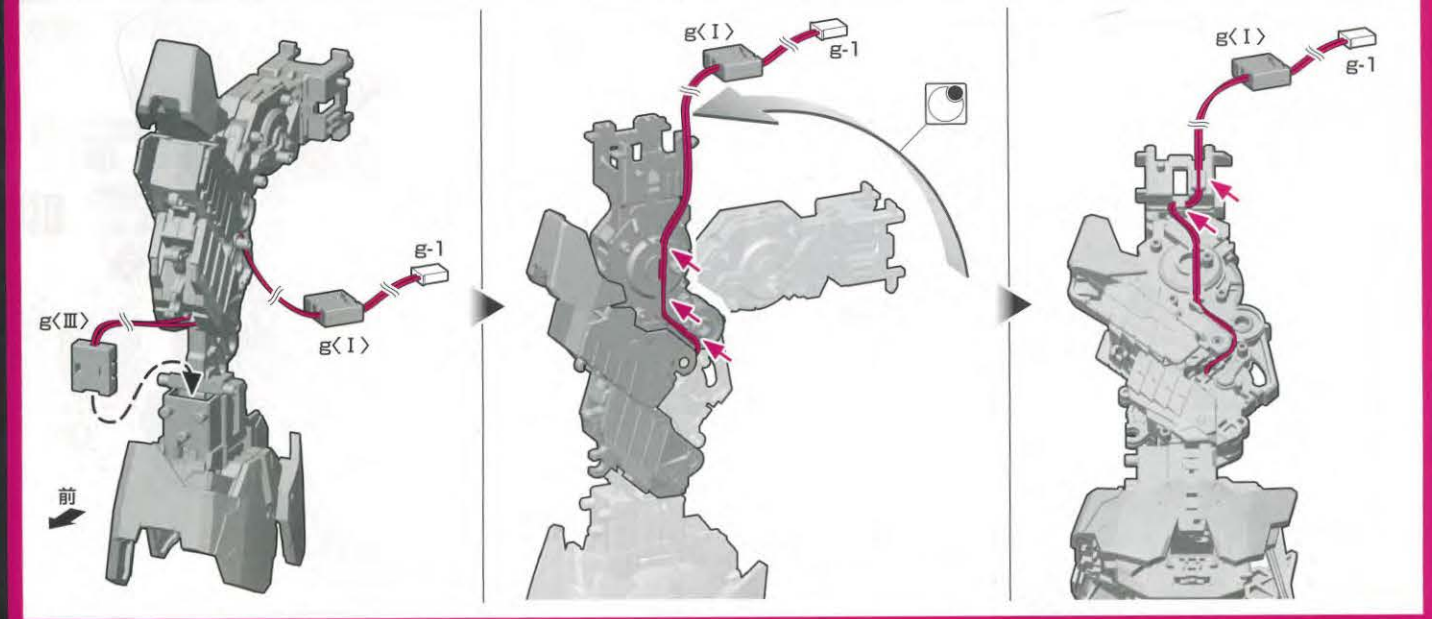
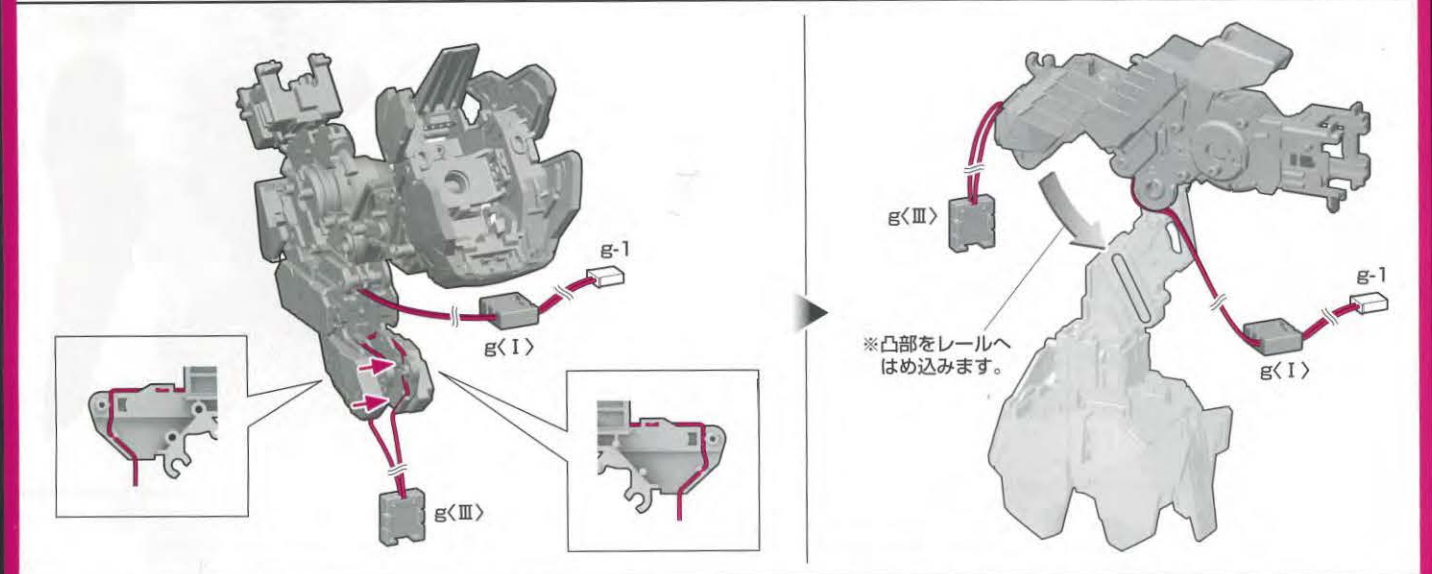
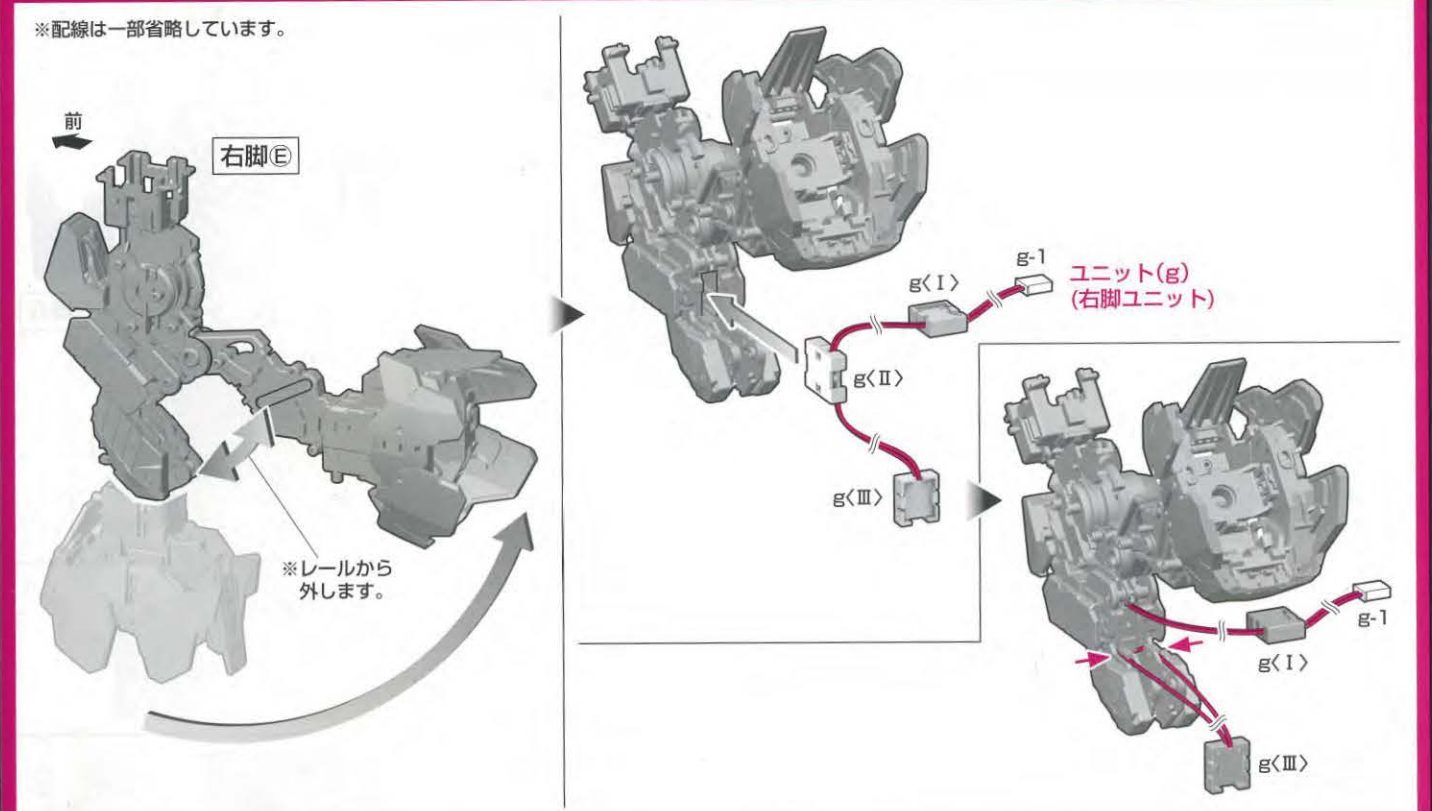
※組立図中の記号説明

x2 部品を数値の個数作る

両側を同じように動かす

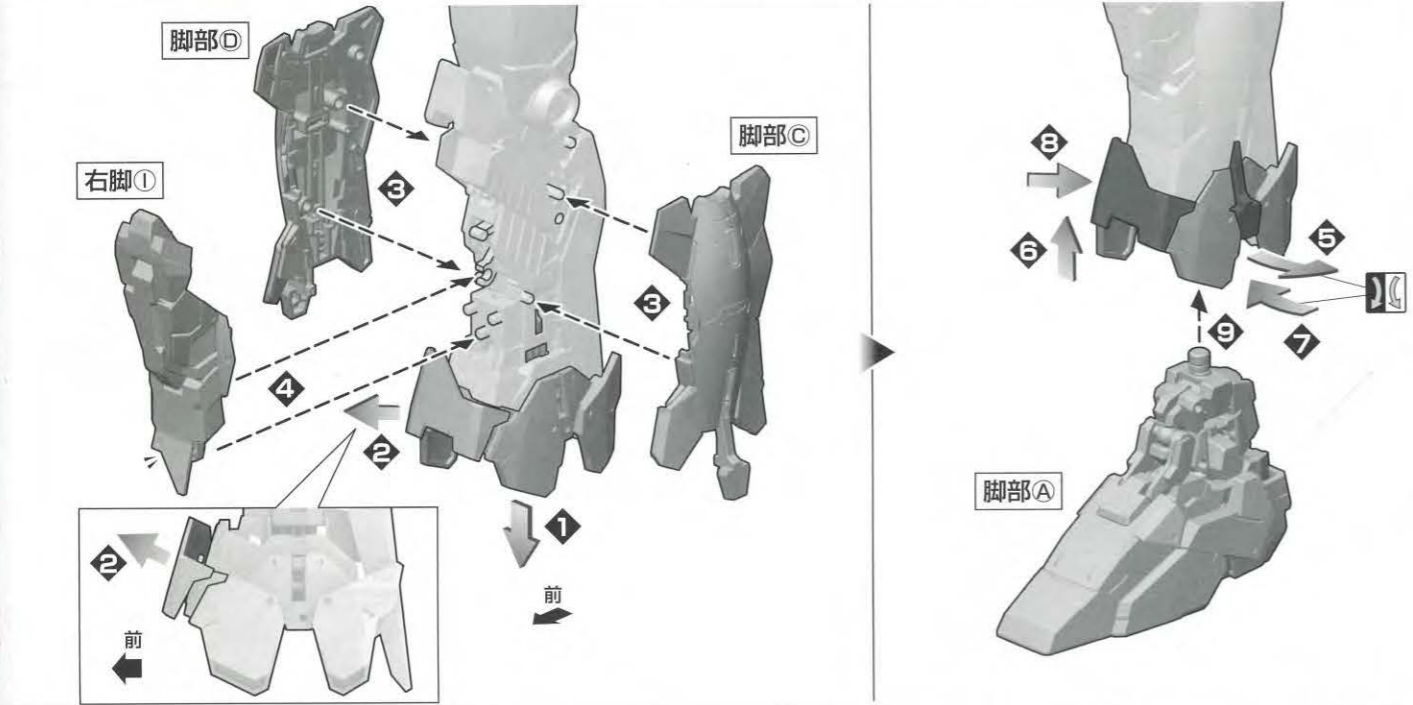
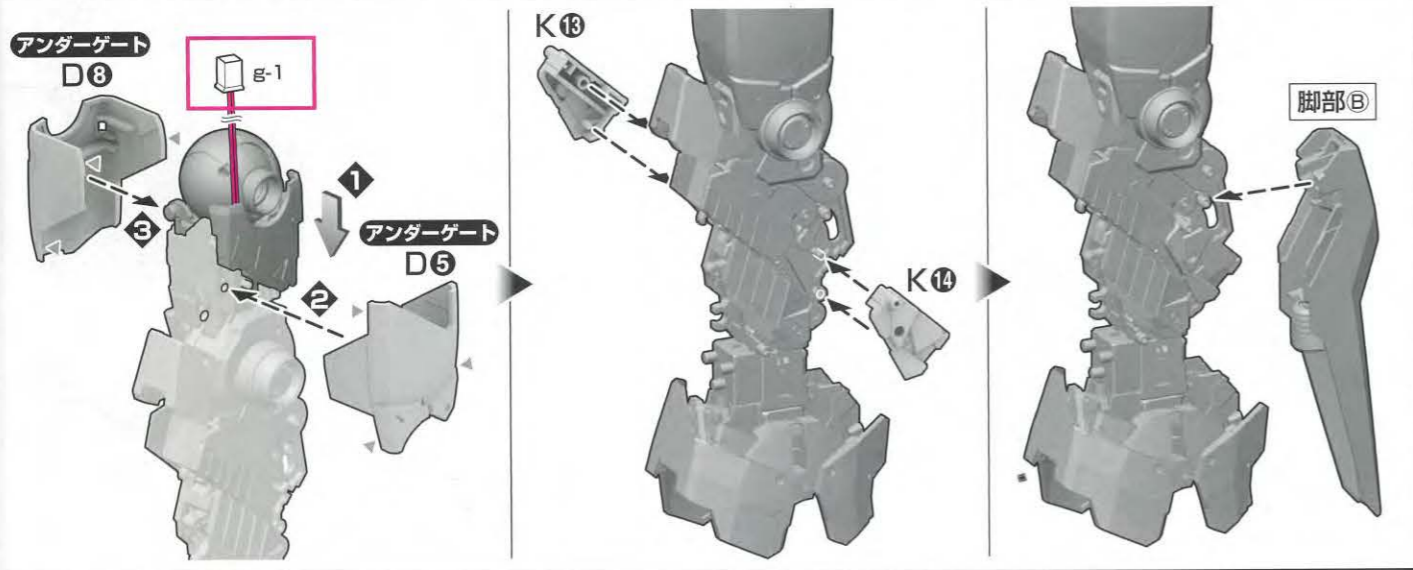
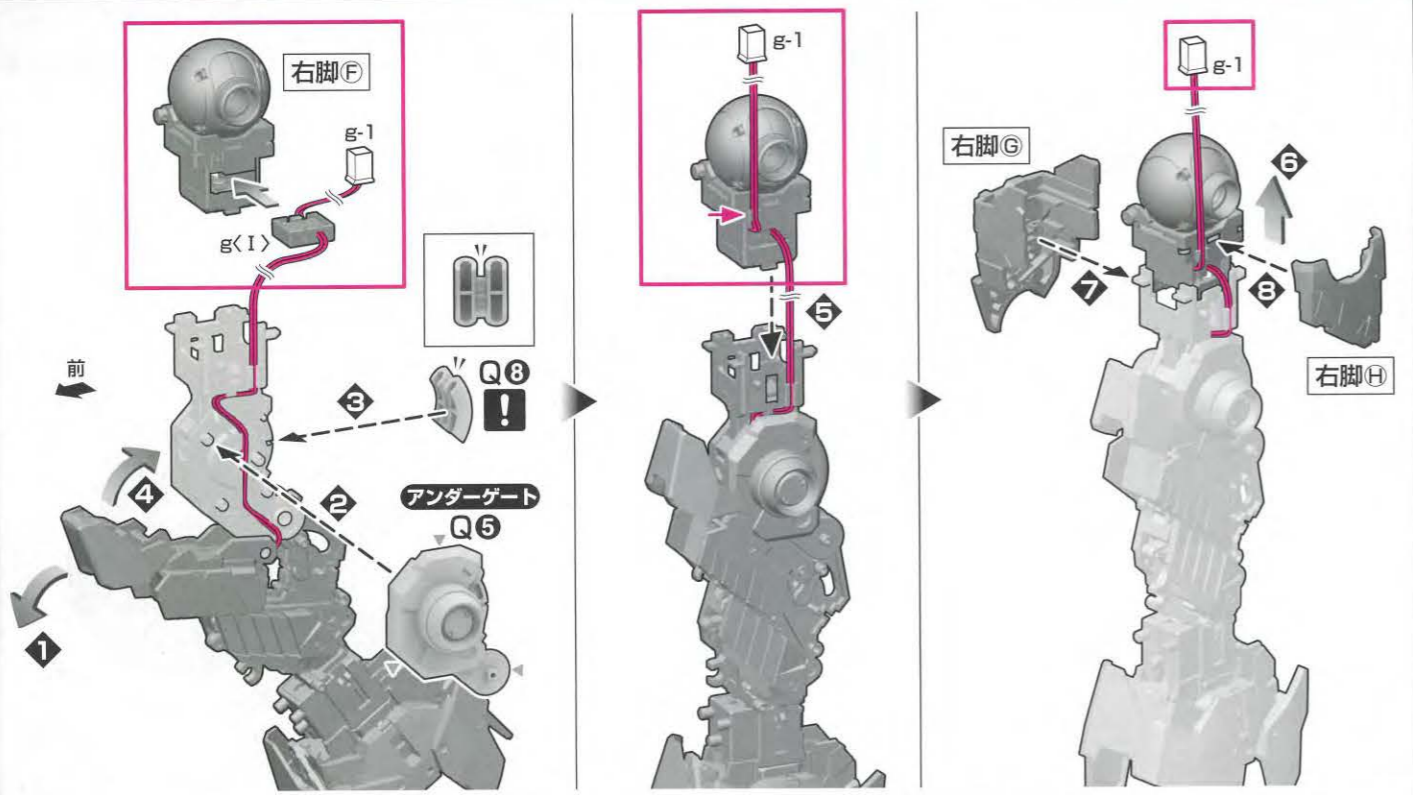
後から組み立てる

右脚へのLEDユニット組み込み (赤い枠のイラストは、PG RX-0 エニコンガンダム用LEDユニット[RX-0シリーズ兼用](別売り)を組み込む場合の説明です。)



※組立図中の記号説明

先に組み立てる

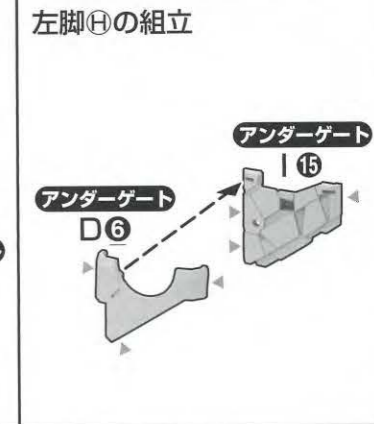
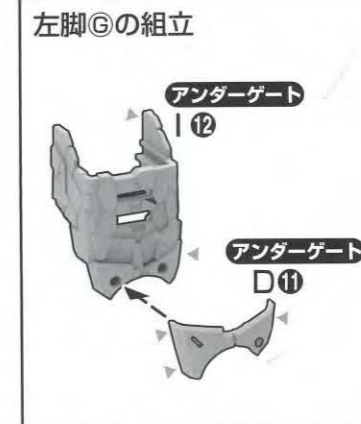
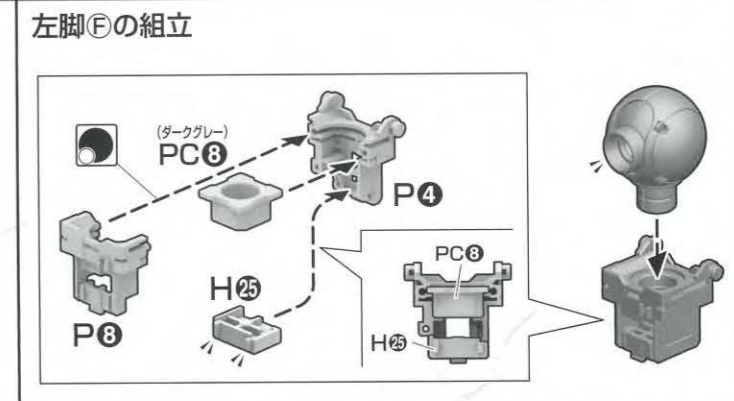
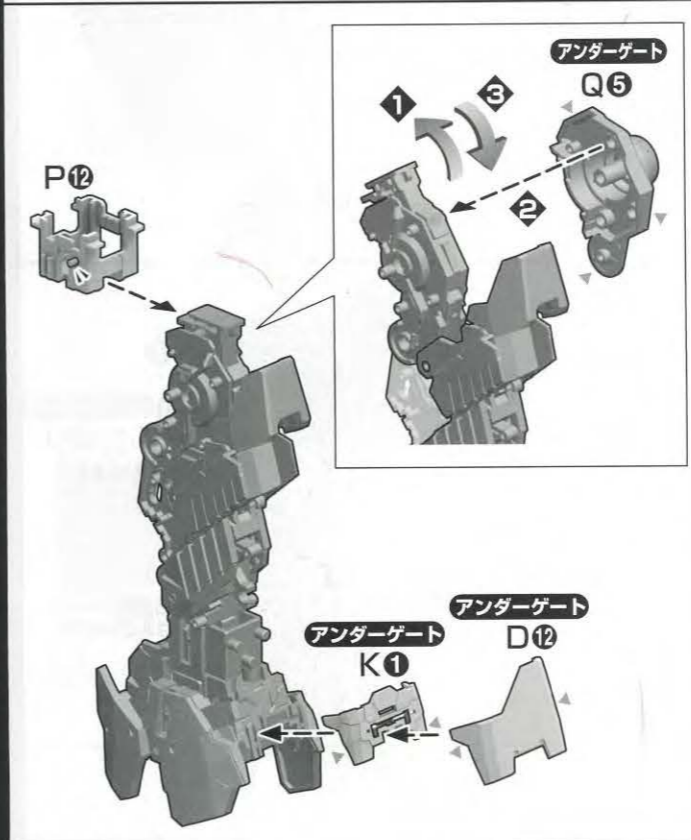
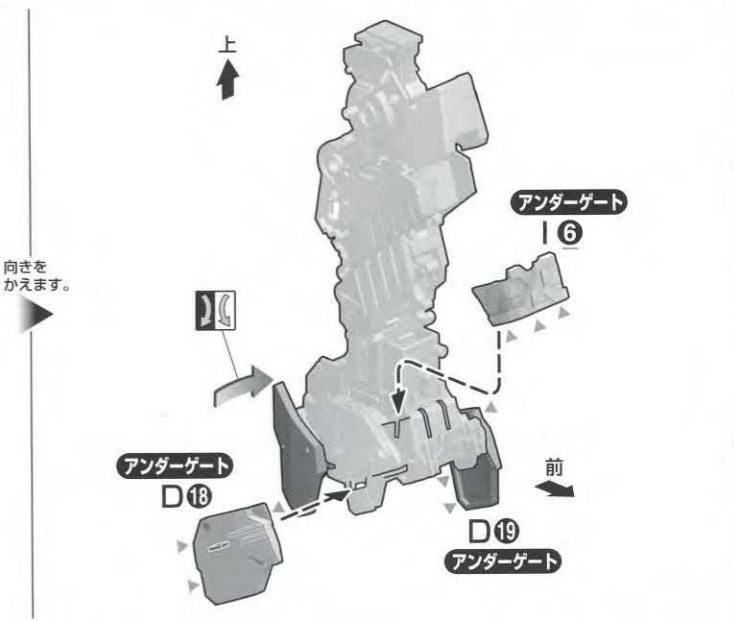
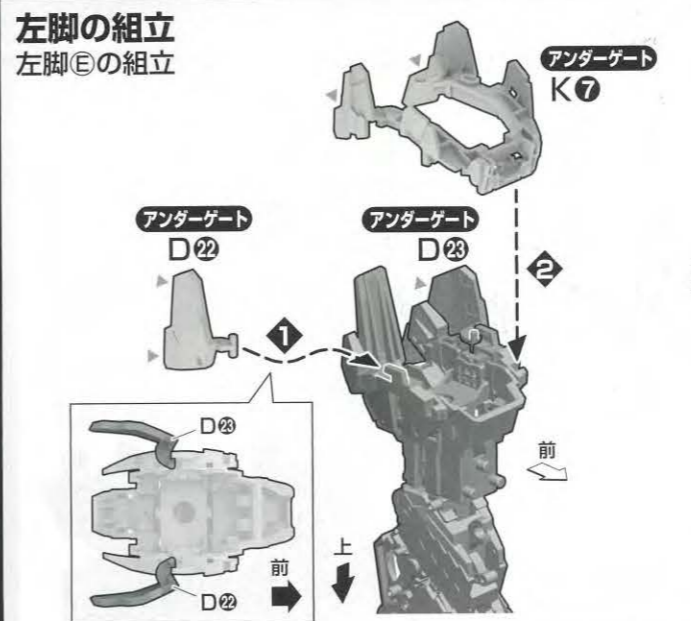


※組立図中の記号説明

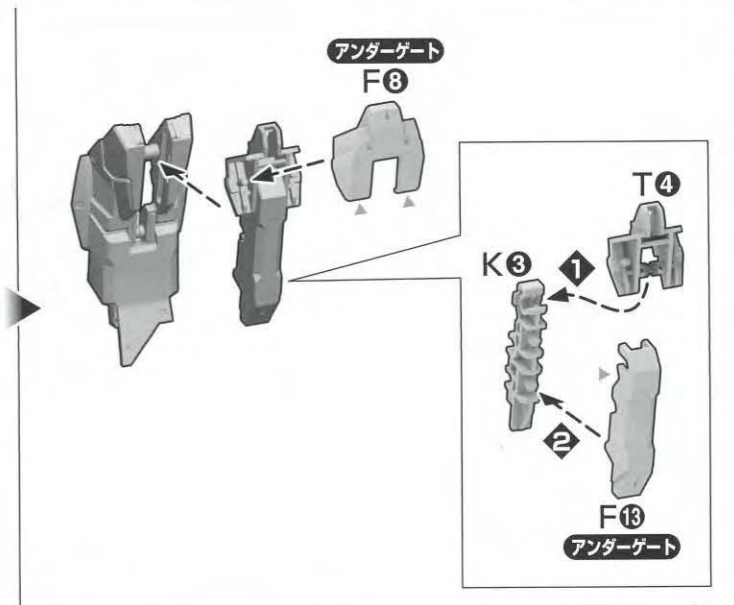
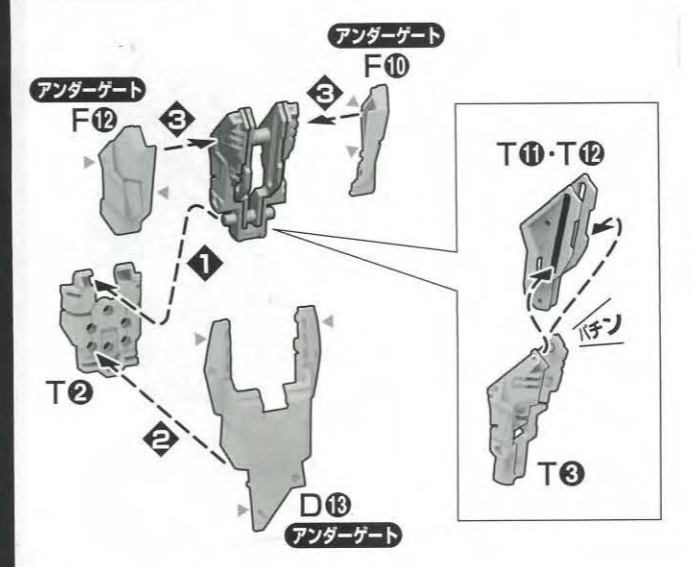
❗ 向きに注意して組み立てる

🔄 両側を同じように動かす

左脚の組立
左脚Eの組立



左脚Fの組立



※組立図中の記号説明

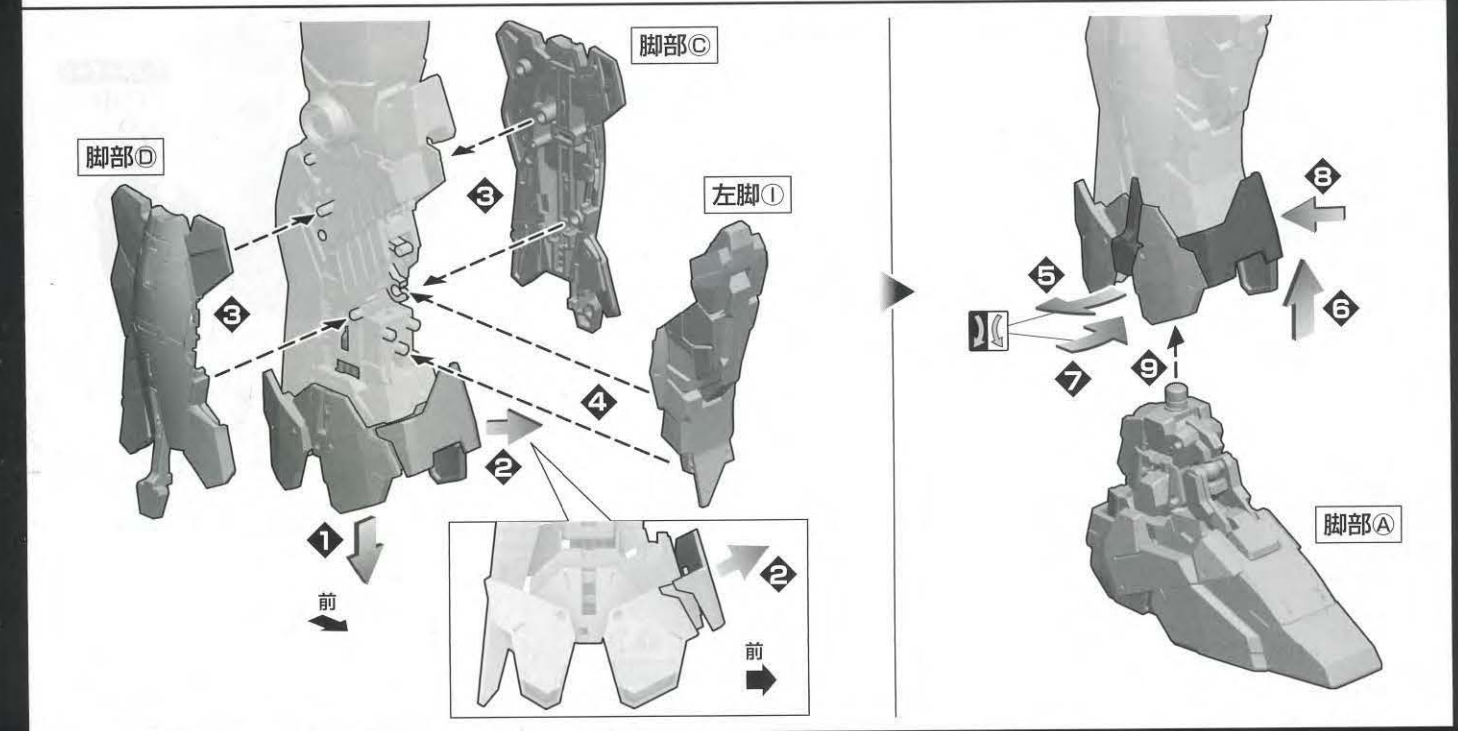
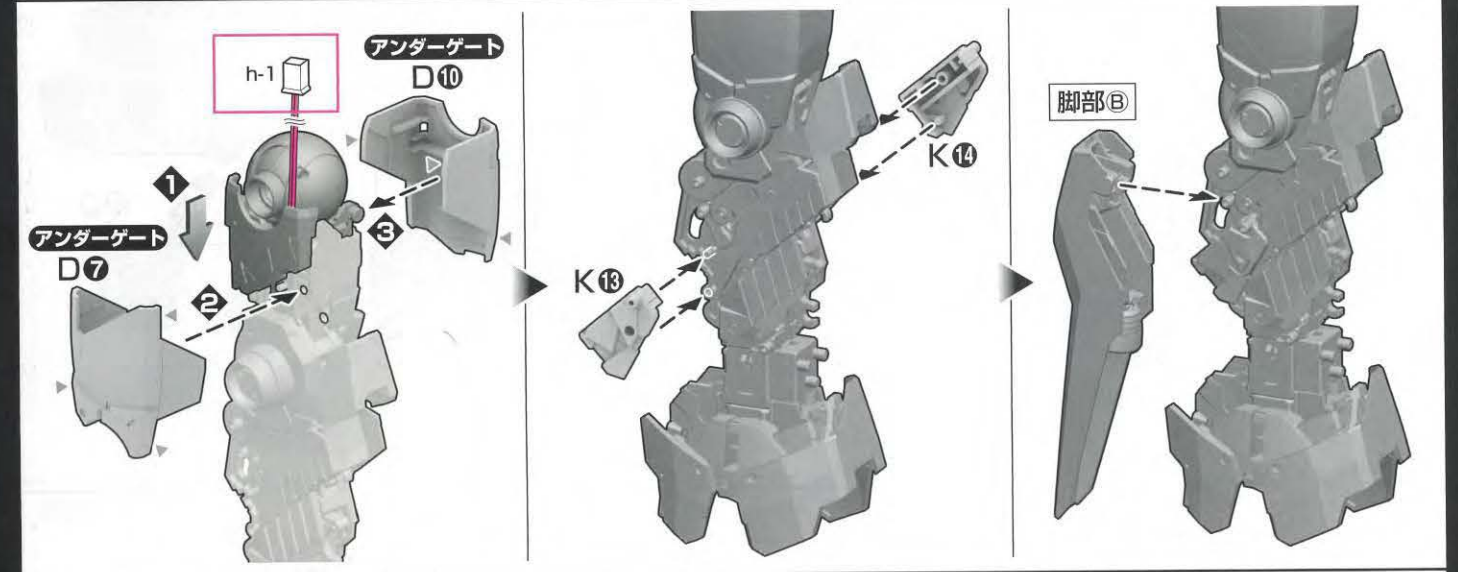
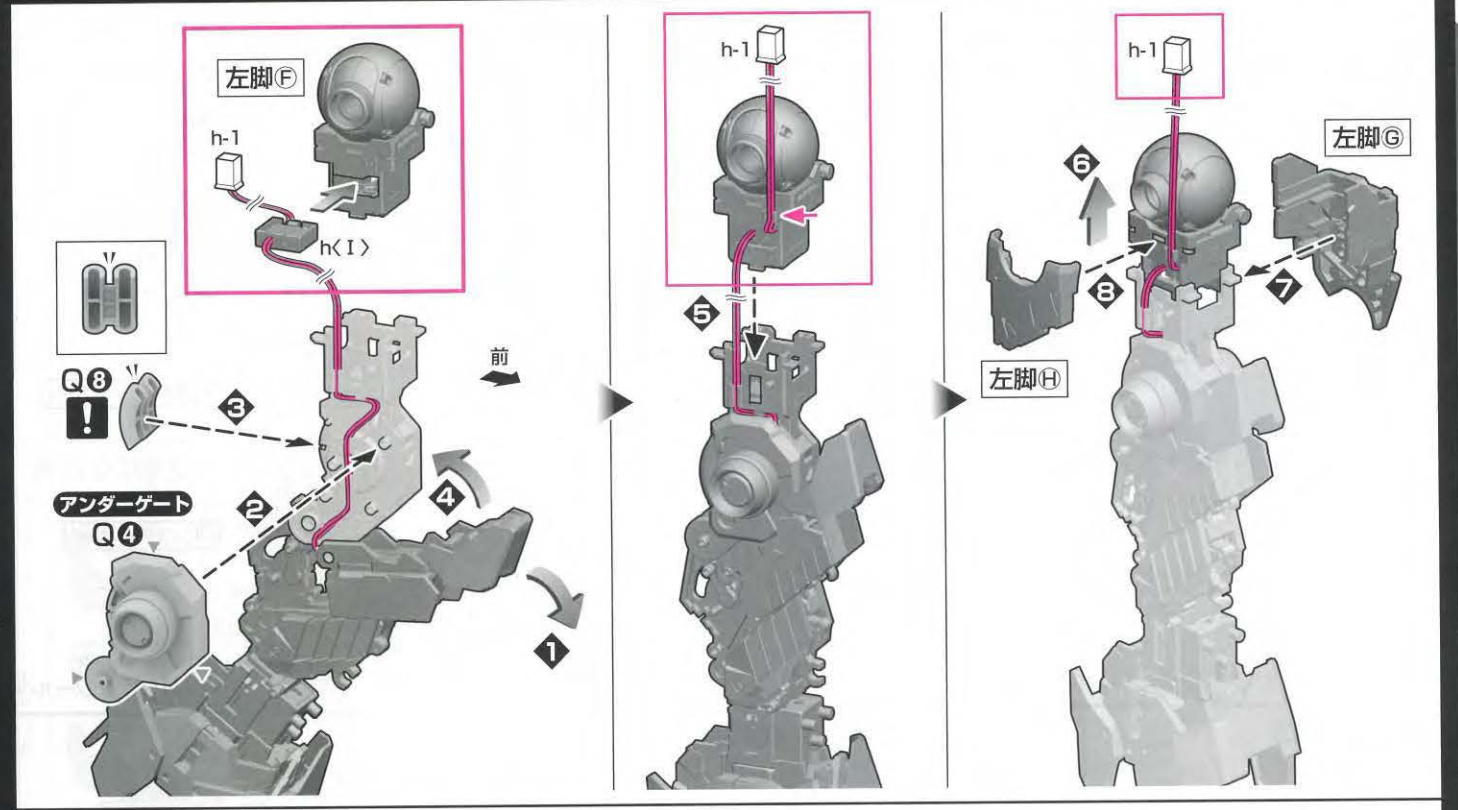
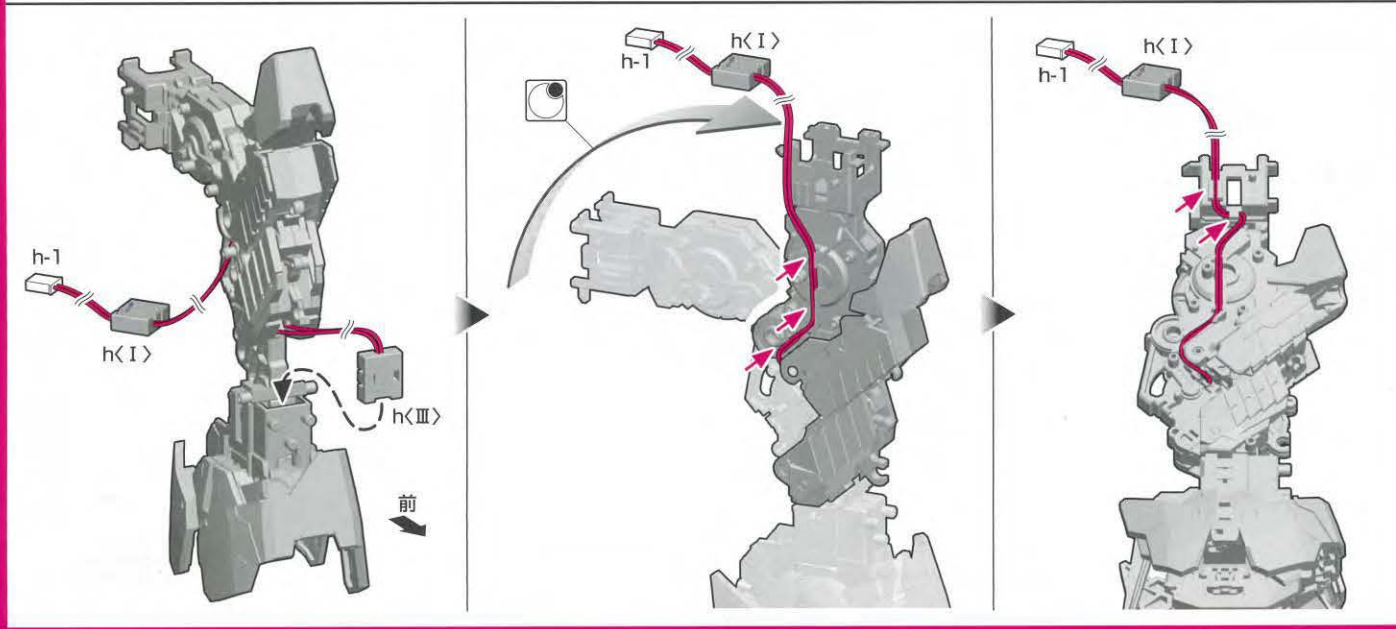
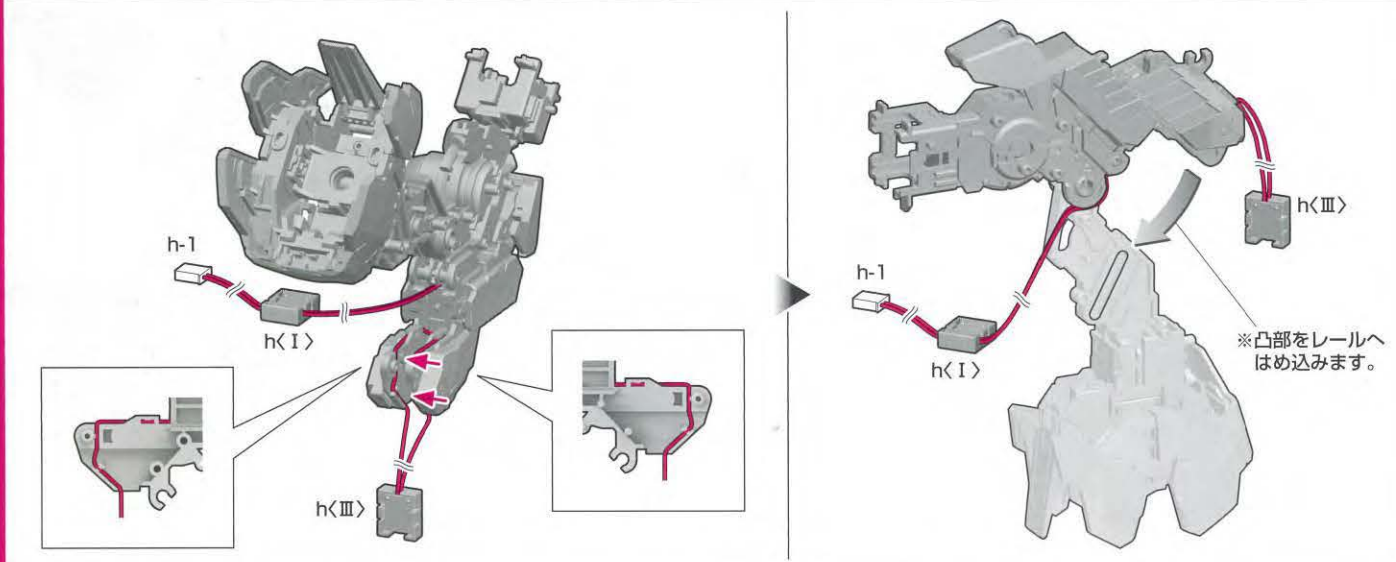
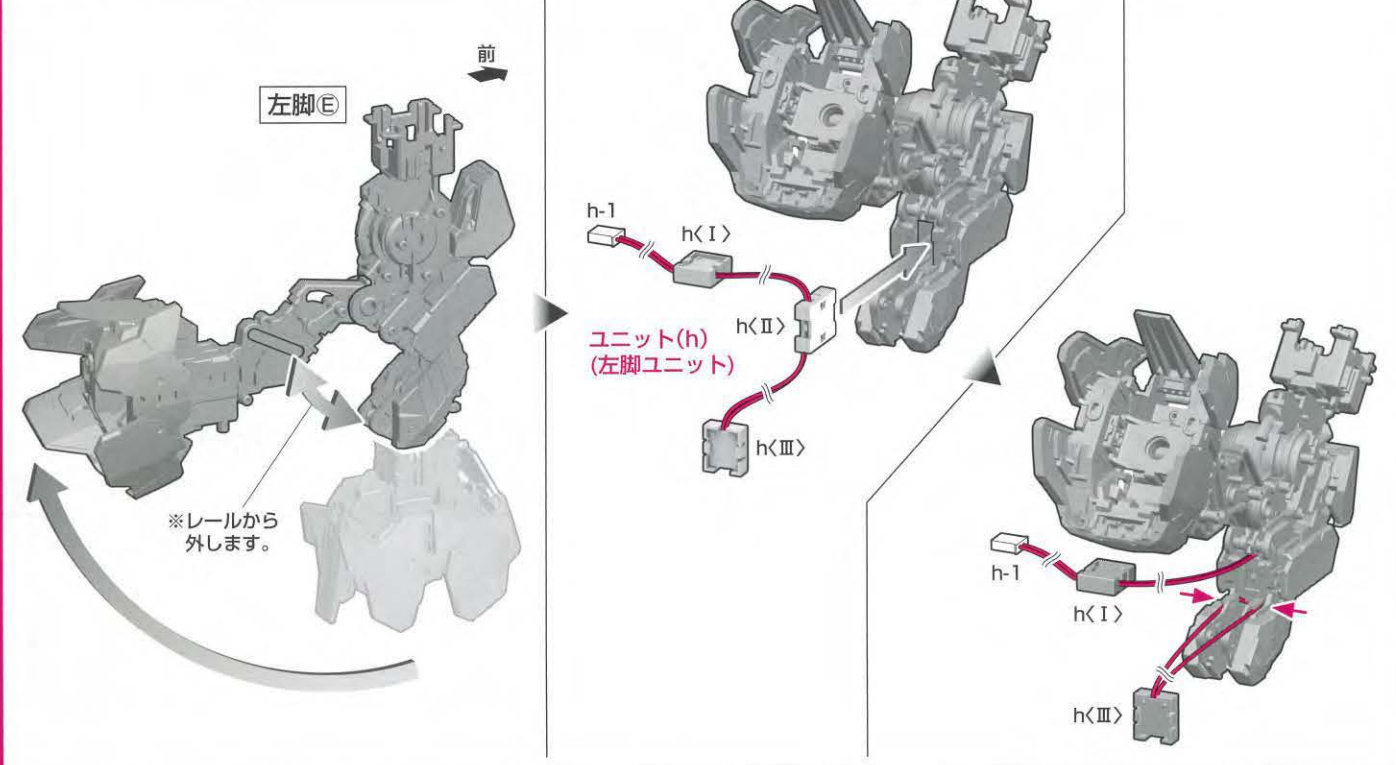
🔄 両側を同じように動かす

🔄 両側を同じように動かす

🔄 両側を同じように動かす

左脚へのLEDユニット組み込み (赤い枠のイラストは、PG RX-0 ユニコンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む場合の説明です。)

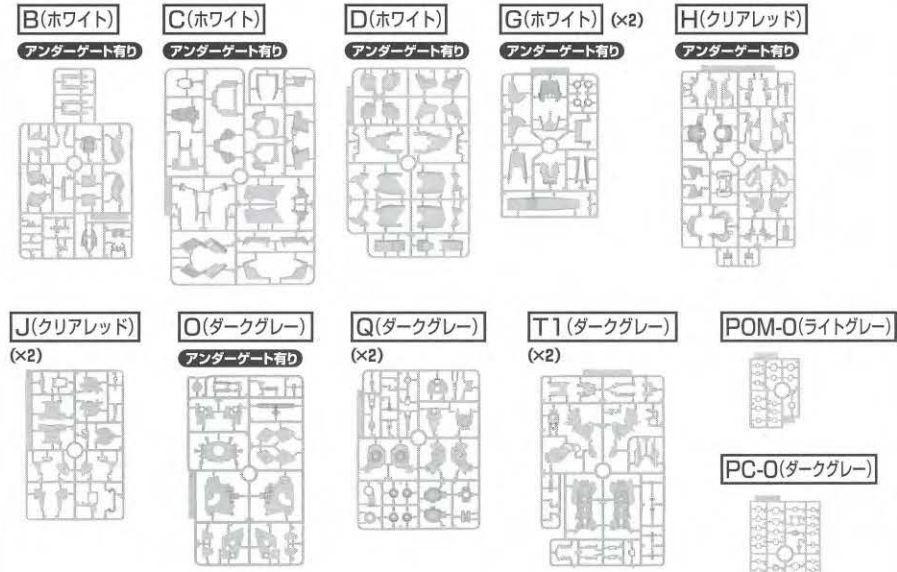
※配線は一部省略しています。



4 腰部の組立

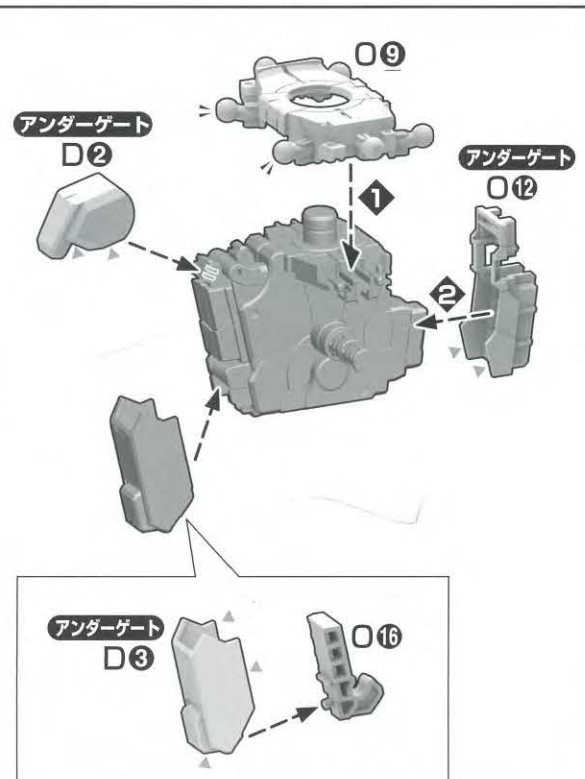
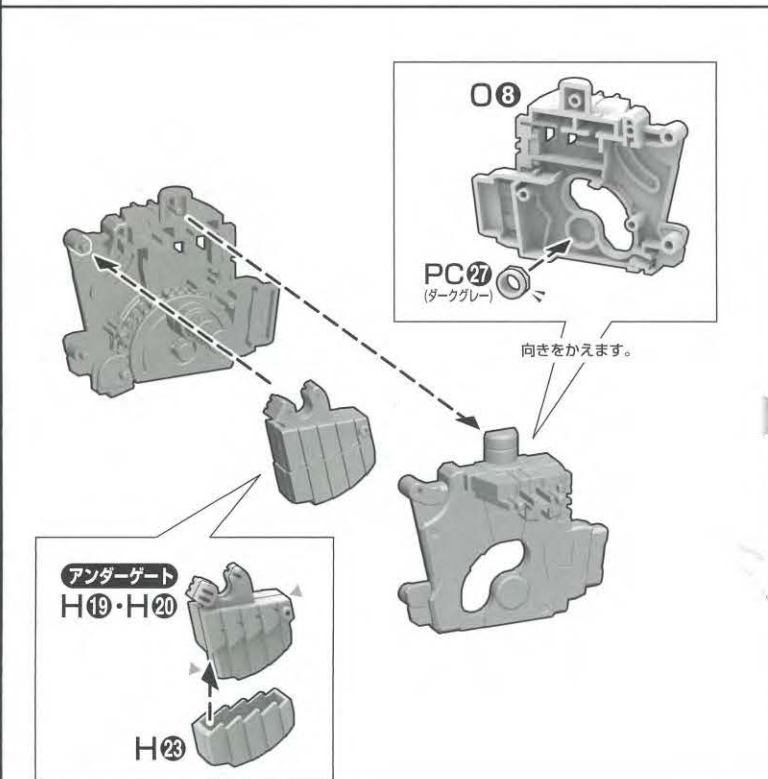
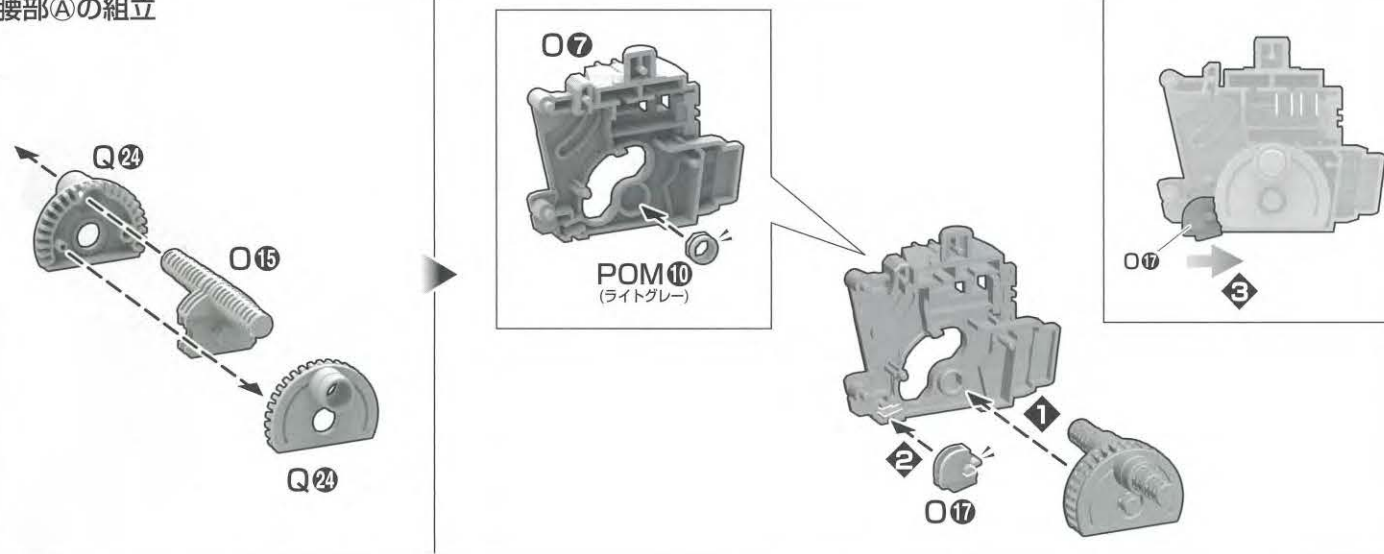


・組立④で使用するパーツ

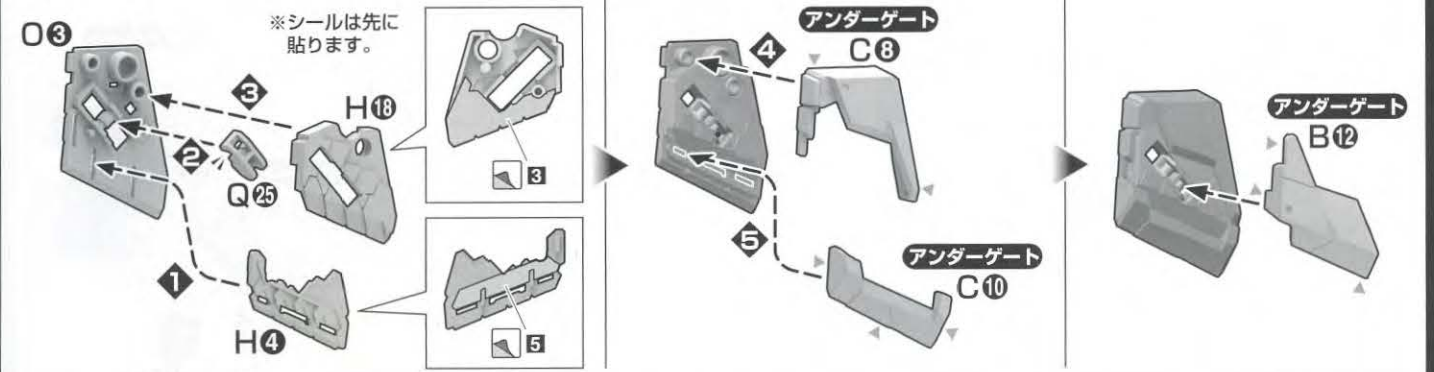


・メタリックシール

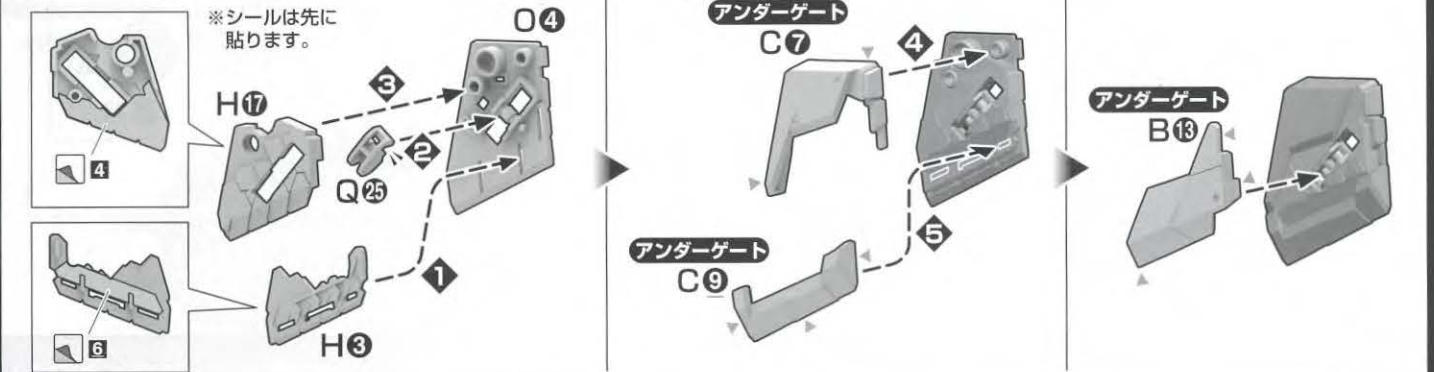
腰部Aの組立



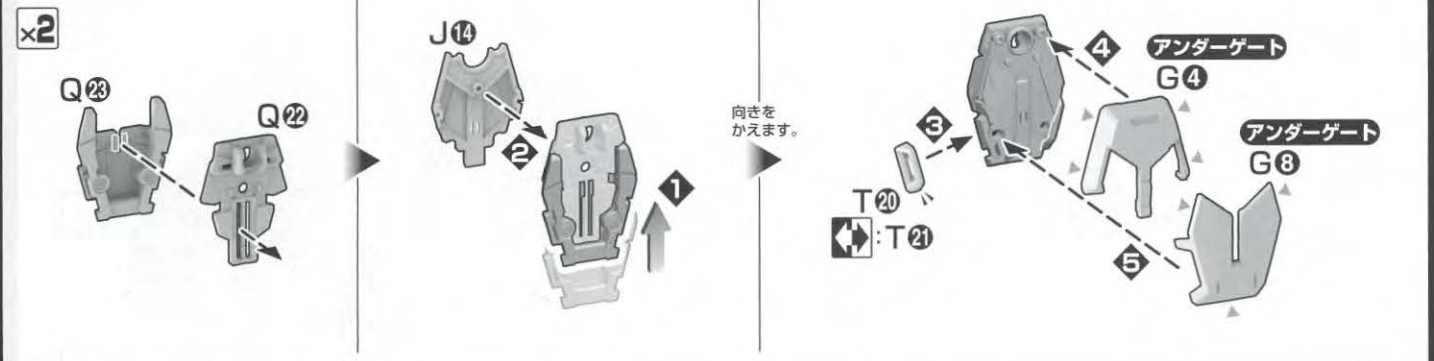
腰部Bの組立



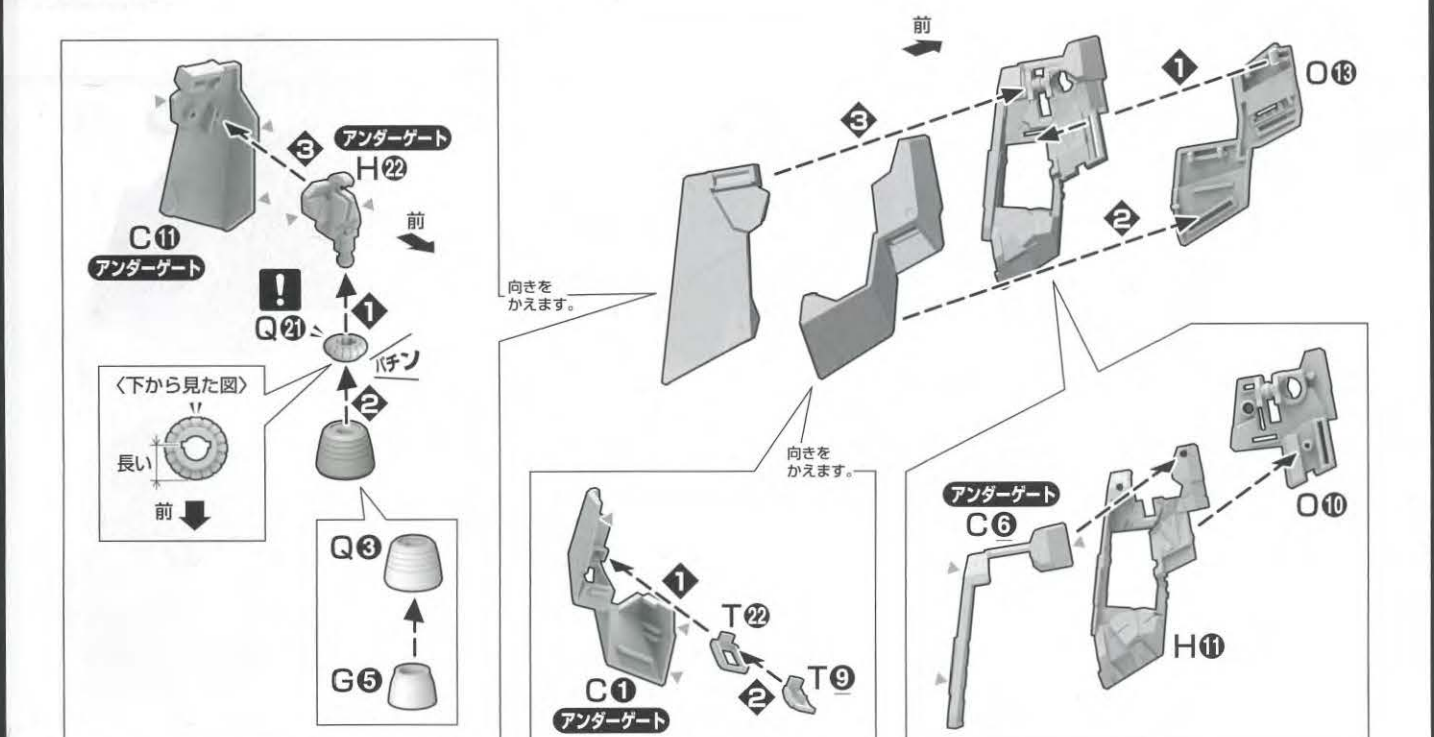
腰部Cの組立



腰部Dの組立



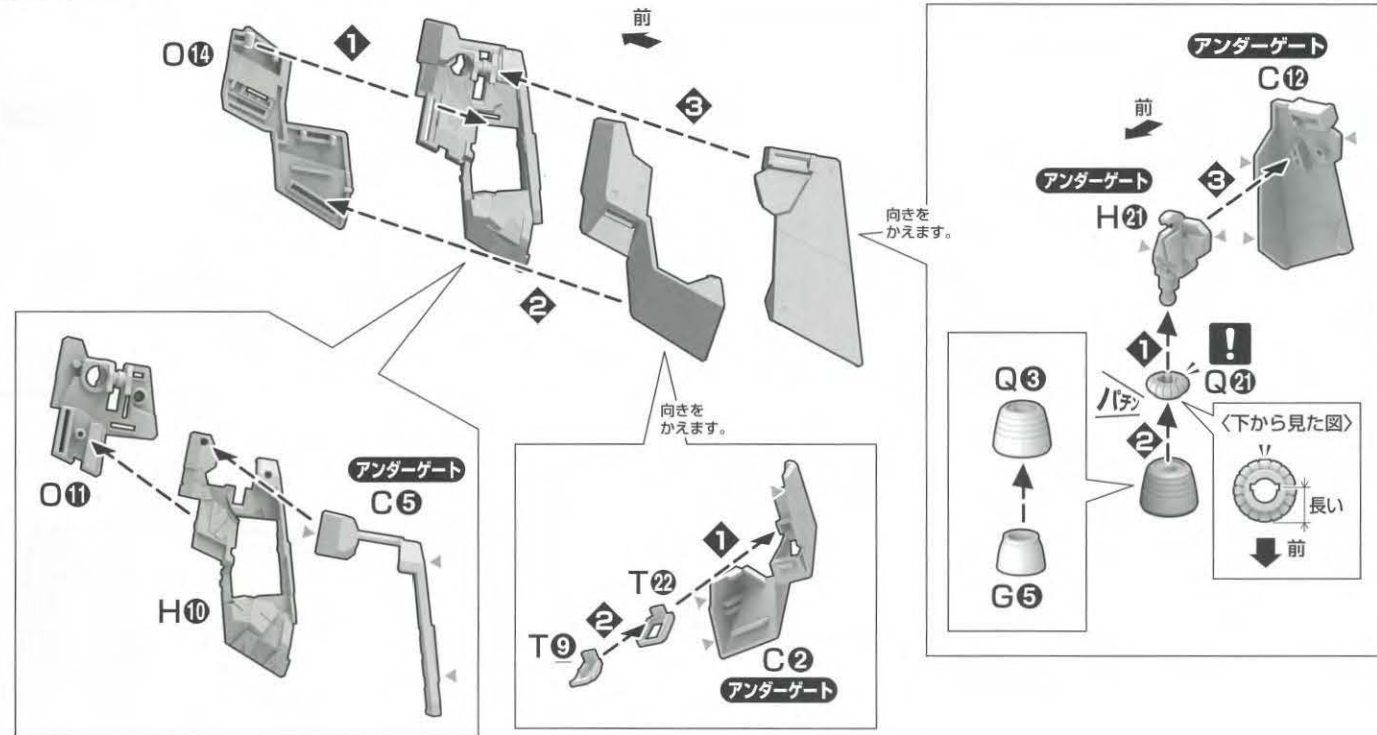
腰部Eの組立



※組立図中の記号説明

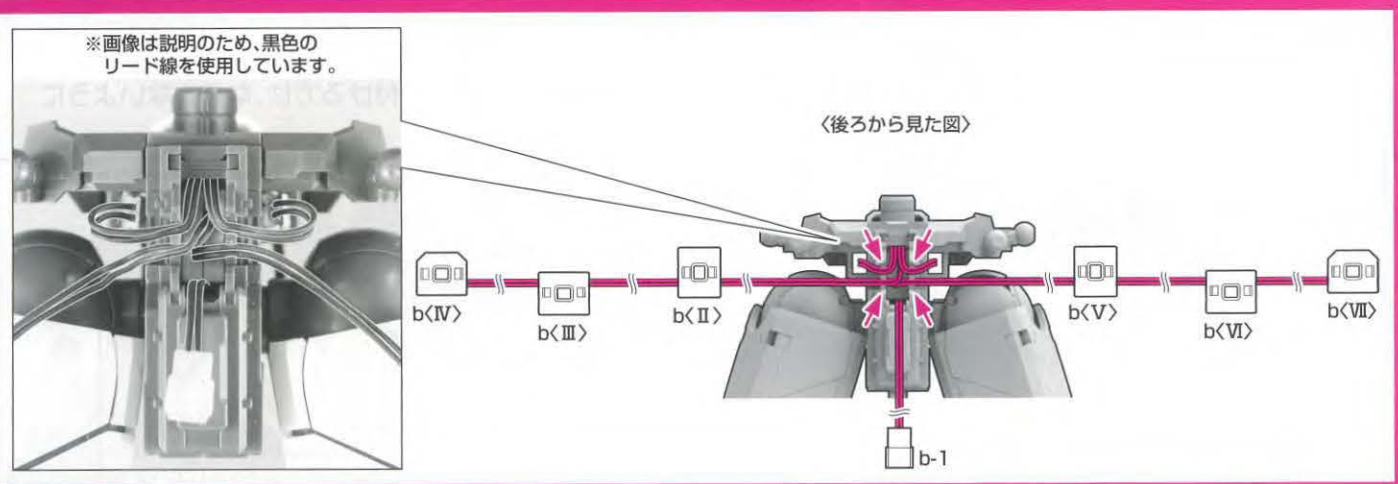
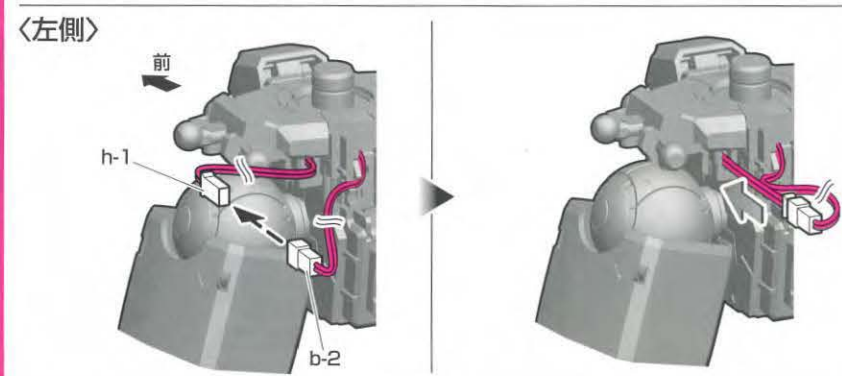
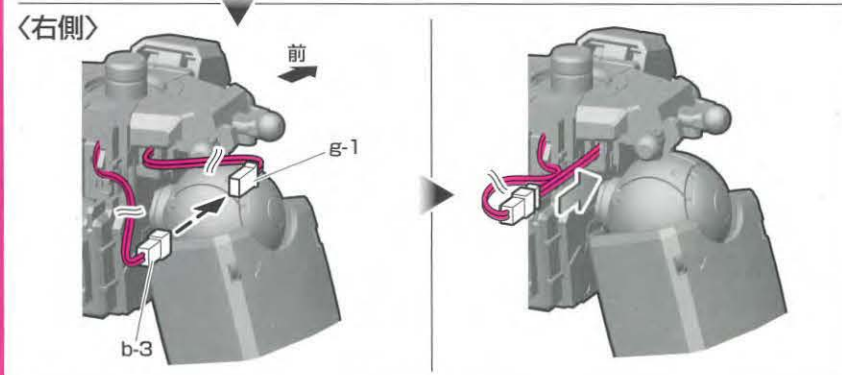
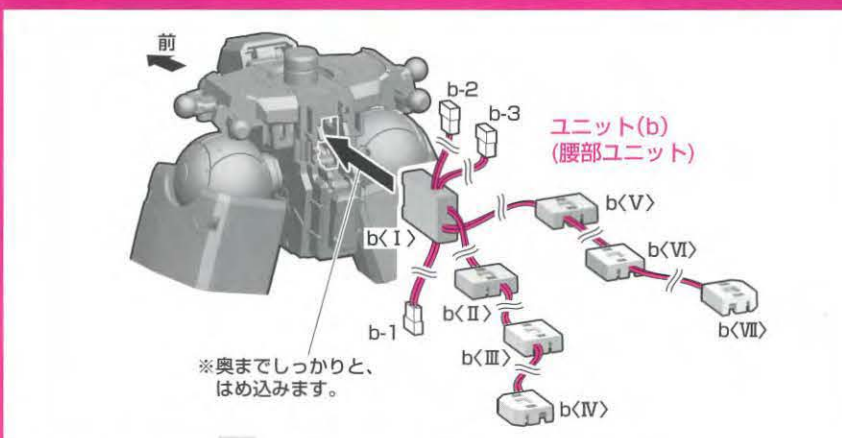
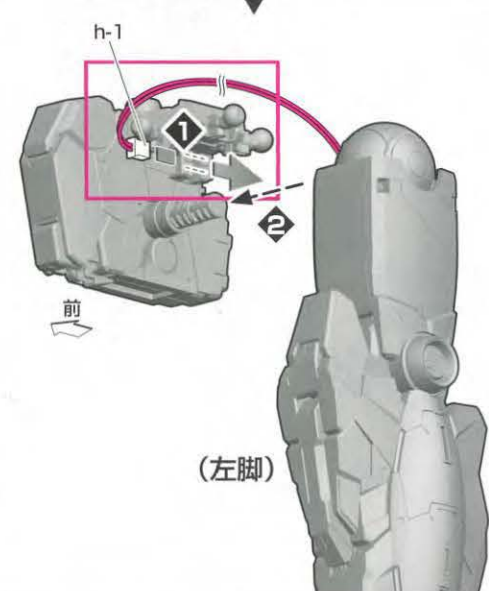
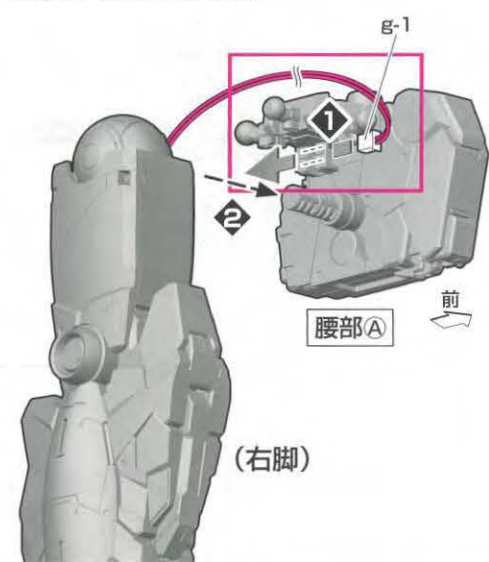
- 1 メタリックシールの番号
- ×2 部品を数値の個数作る
- ↔ 反対側に取り付けるパーツ
- ! 向きに注意して組み立てる

腰部⑥の組立

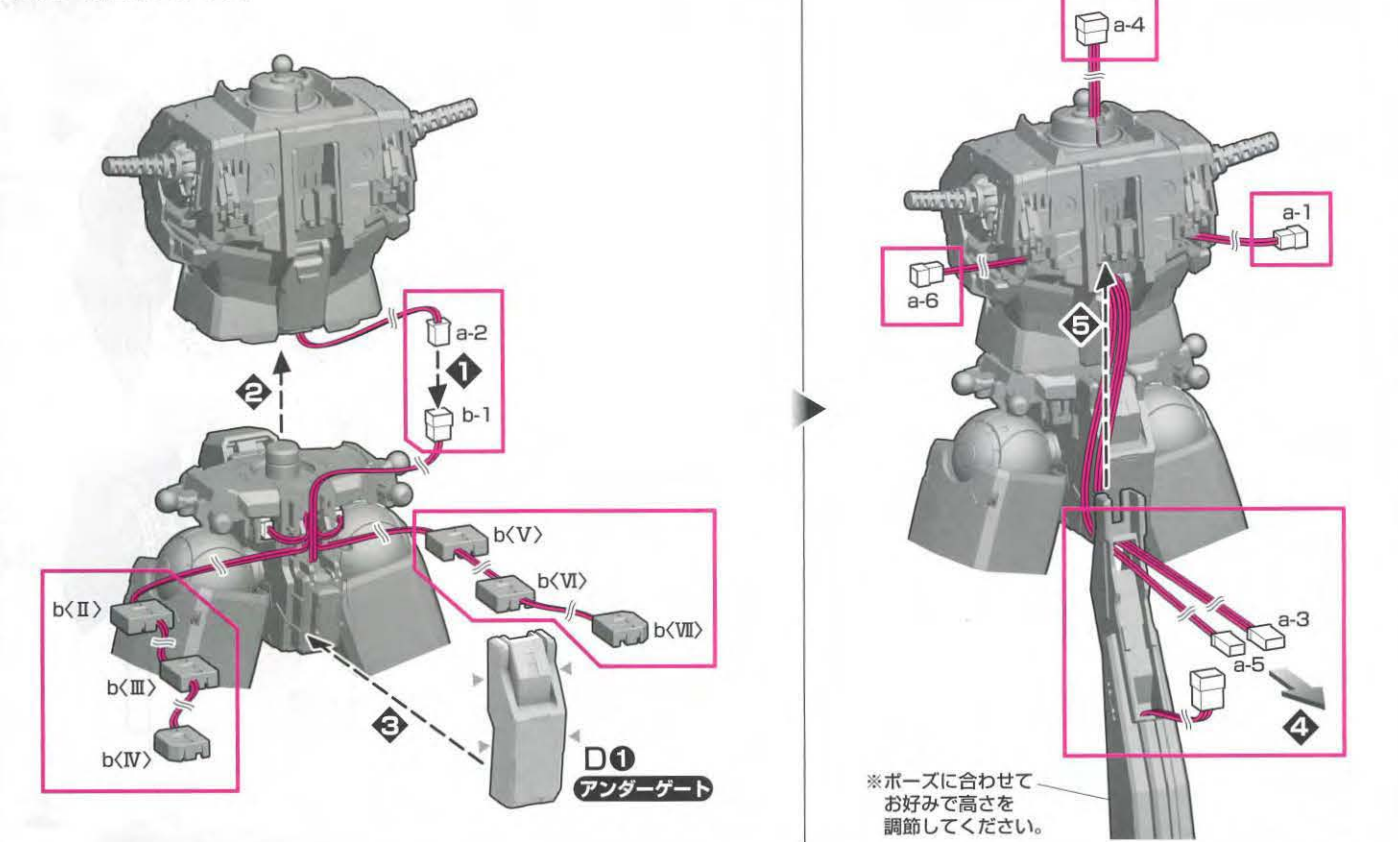


腰部へのLEDユニット組み込み (赤い線のイラストは、PG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む場合の説明です。)

※配線は一部省略しています。

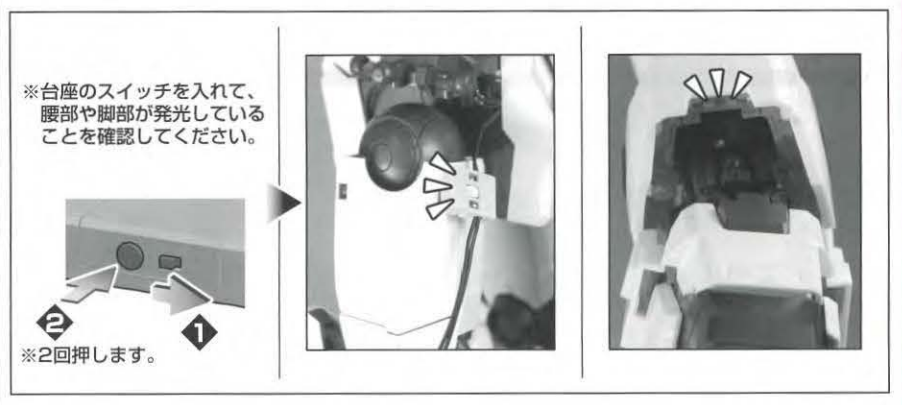
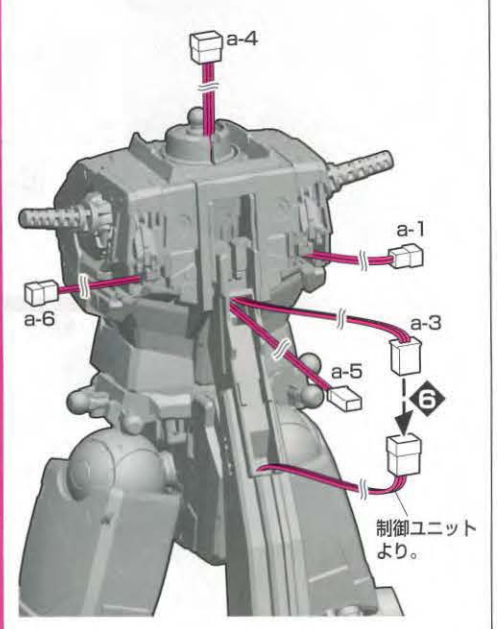


※配線は一部省略しています。



必ず点灯チェックを行ってください。

※LEDユニットの取り扱いについては、PG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)の取扱説明書をご参照ください。



※組立図中の記号説明

！ 向きに注意して組み立てる

- 01
- 02
- 05
- 06
- Q26 (x2)

左図のパーツは、PG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット (RX-0シリーズ兼用) (別売り) を組み込む場合に使用します。本体完成後にLEDユニットを取り付ける方は、なくさないようにとっておいてください。

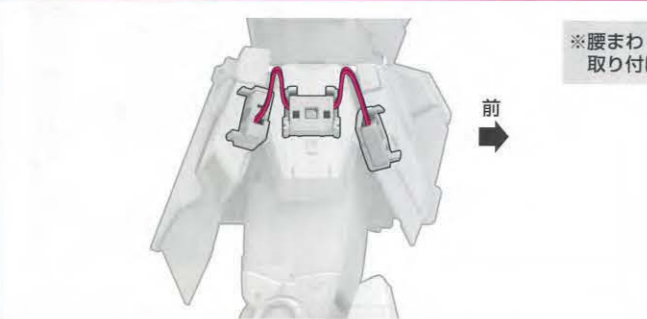
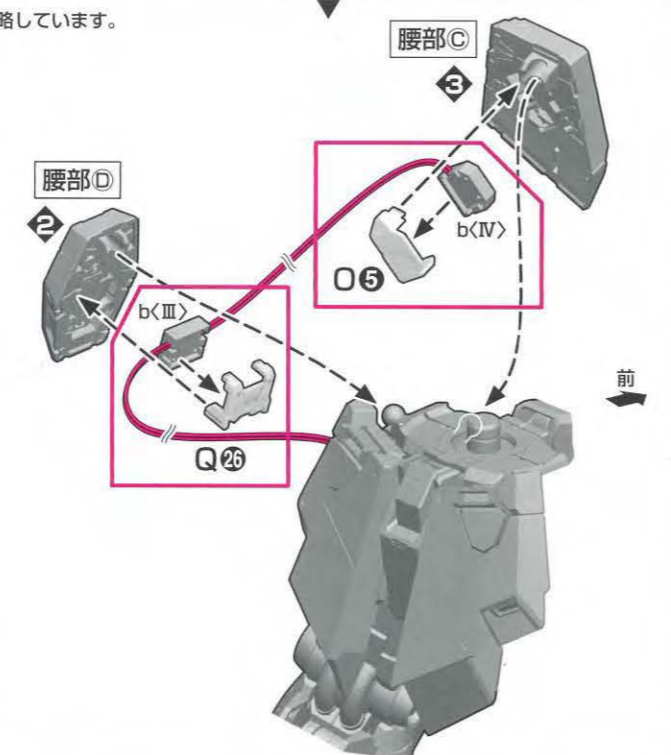
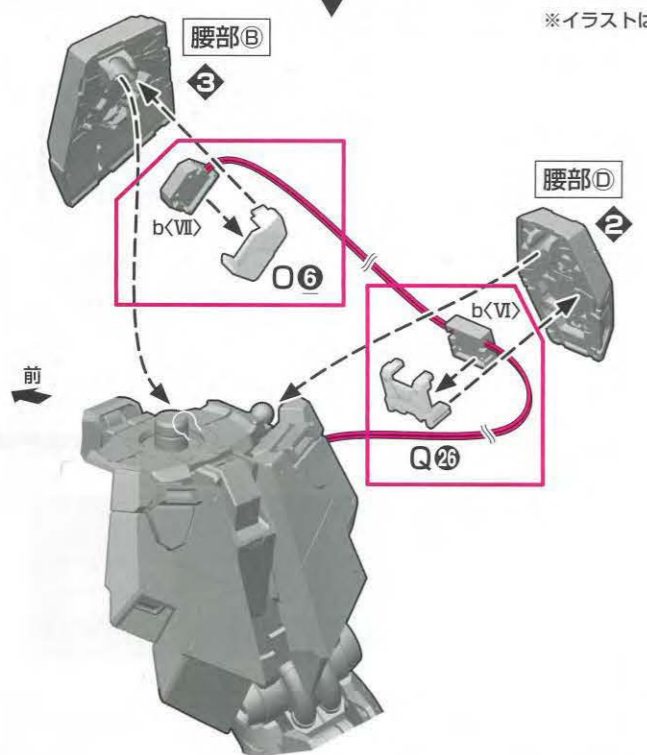
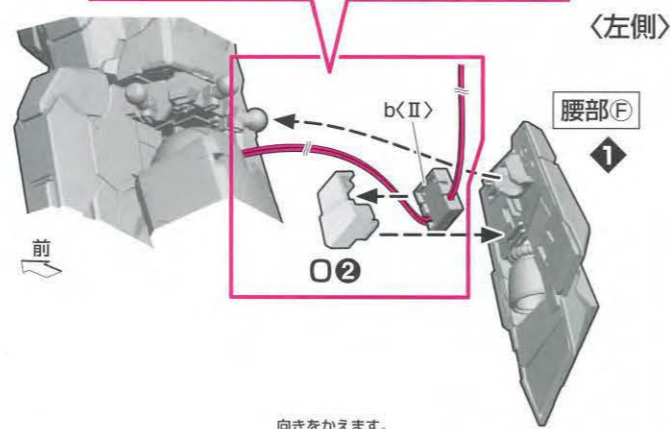
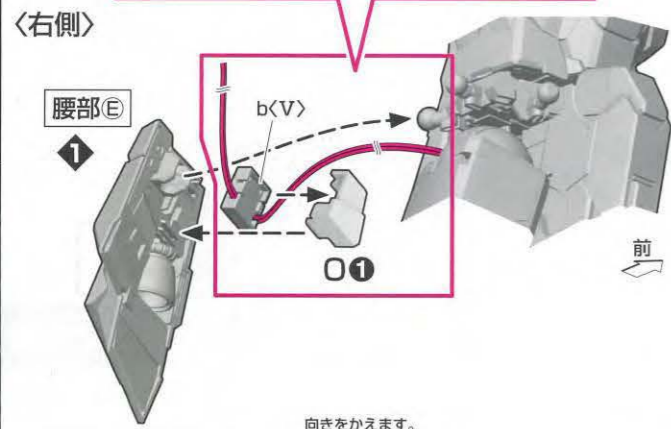


※画像は説明のため、黒色のリード線を使用しています。

※写真のように、リード線を曲げてくせをつけてください。



※画像は説明のため、黒色のリード線を使用しています。

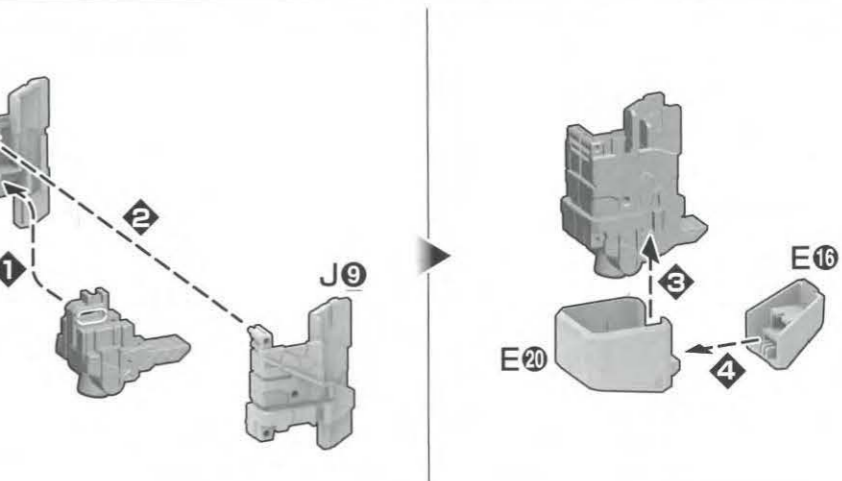
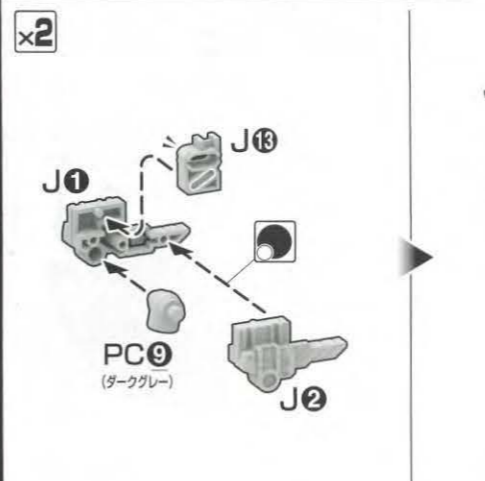
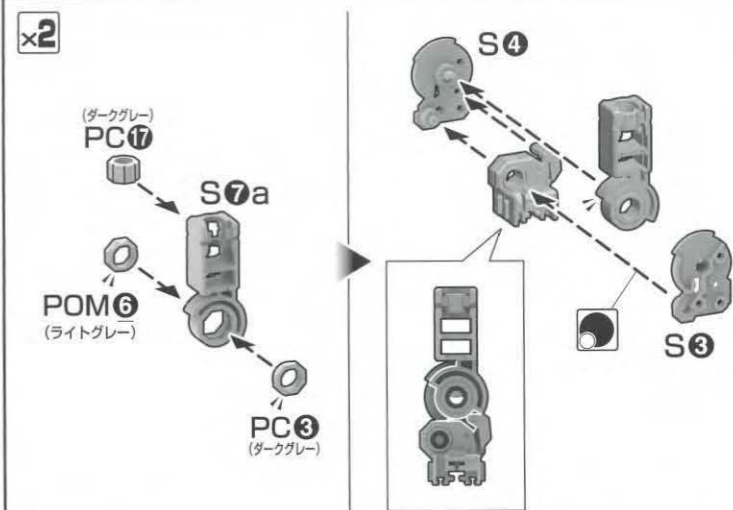
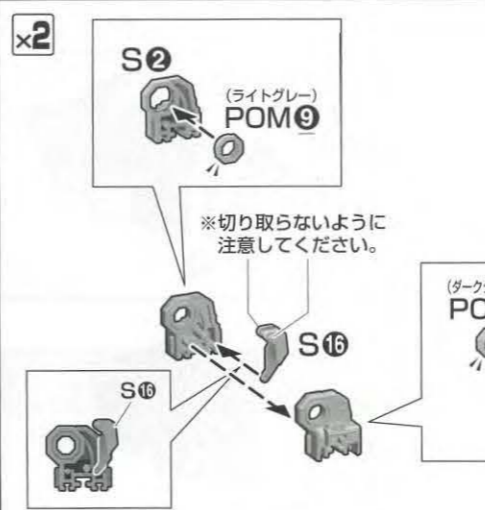
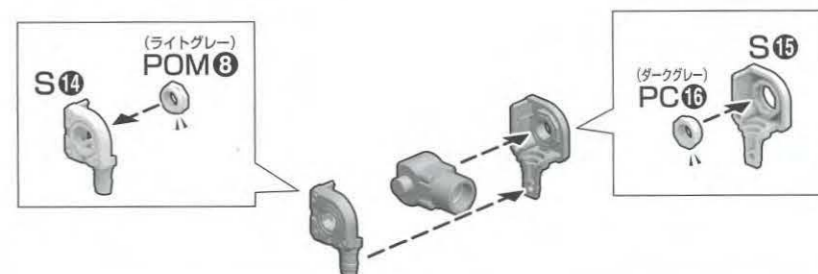
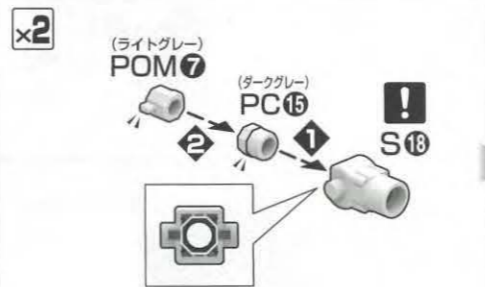


5 腕部の組立



・組立5で使用するパーツ

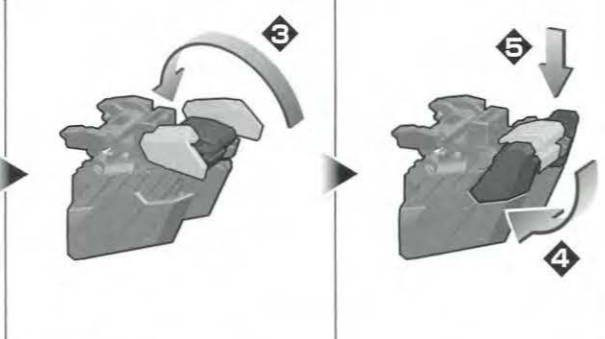
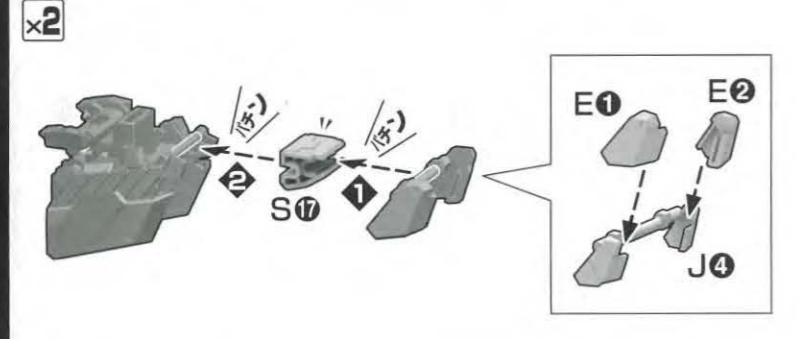
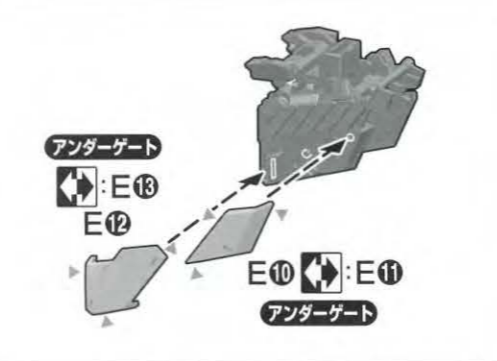
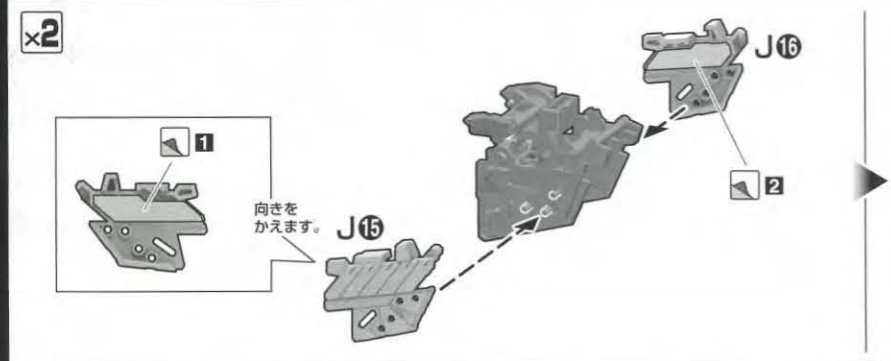
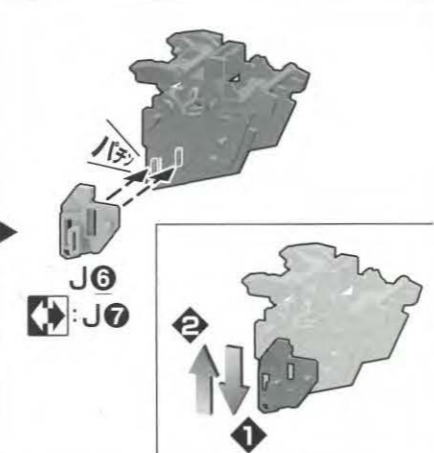
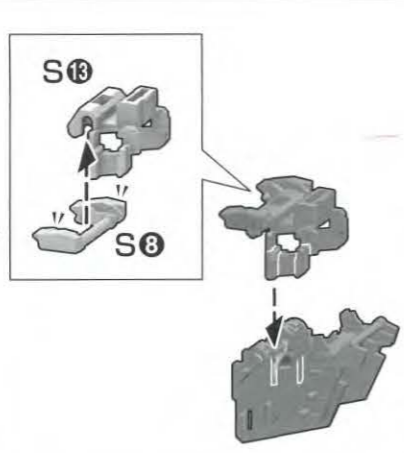
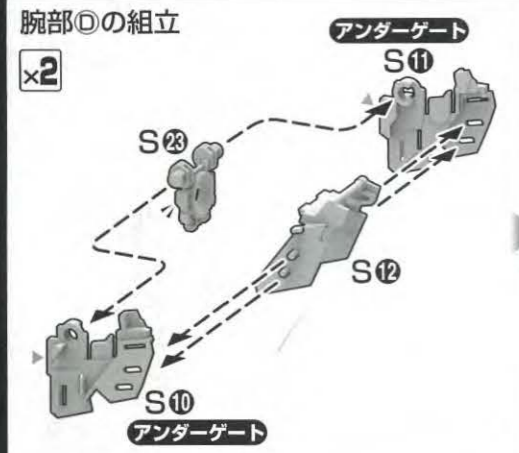
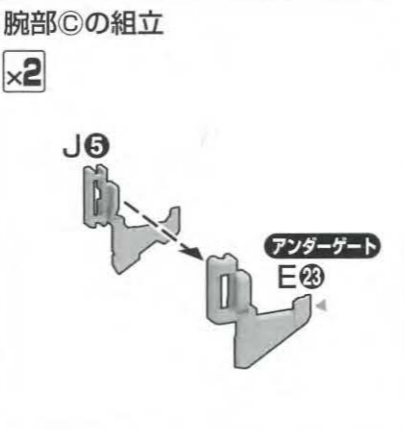
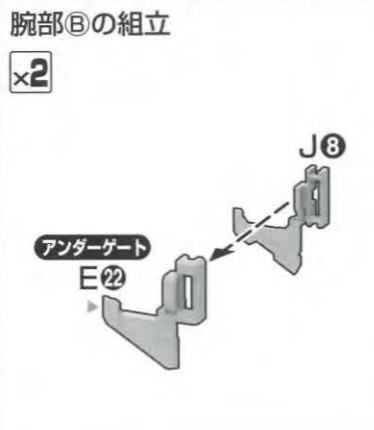
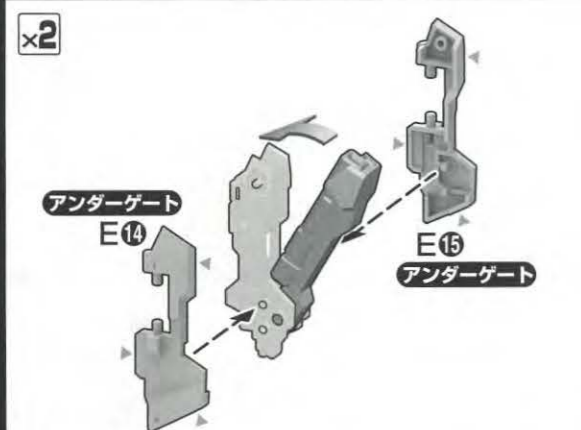
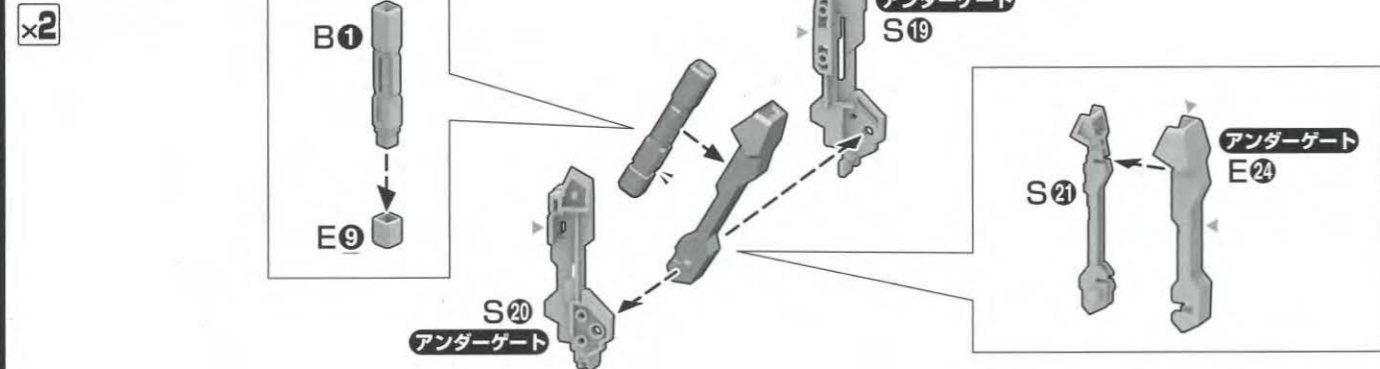
- B(ホワイト) アンダーゲート有り
- C(ホワイト) アンダーゲート有り
- E(ホワイト) (x2) アンダーゲート有り
- J(クリアレッド) (x2)
- P(ダークグレー)
- R(ダークグレー)
- S(ダークグレー) (x2) アンダーゲート有り
- POM-O(ライトグレー) (x2)
- PC-O(ダークグレー) (x2)
- ・メタリックシール



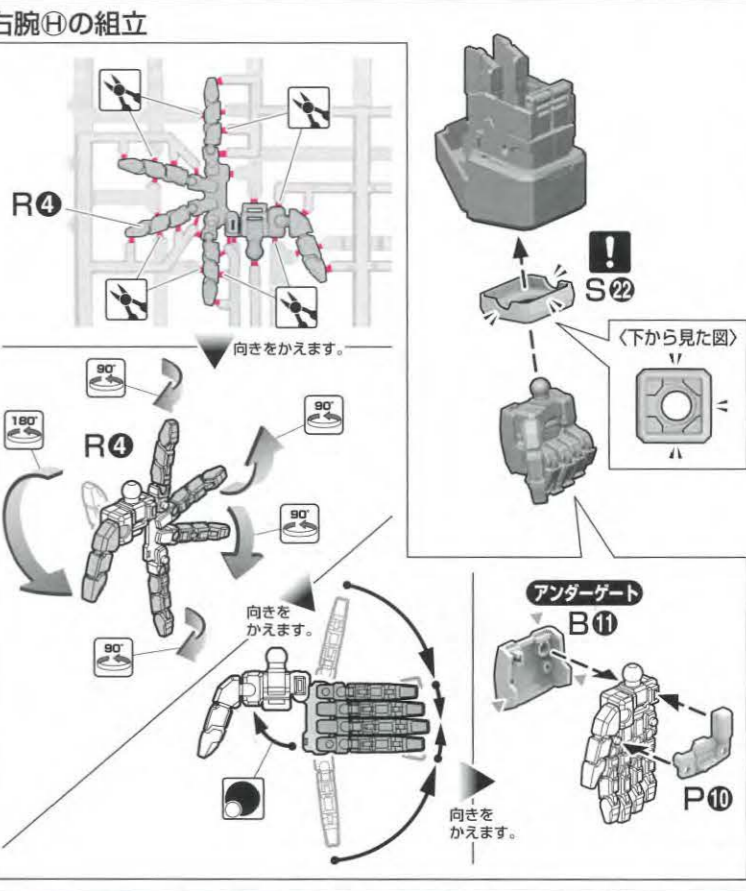
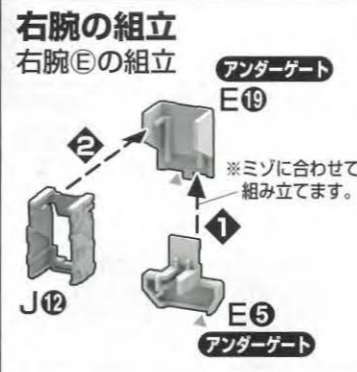
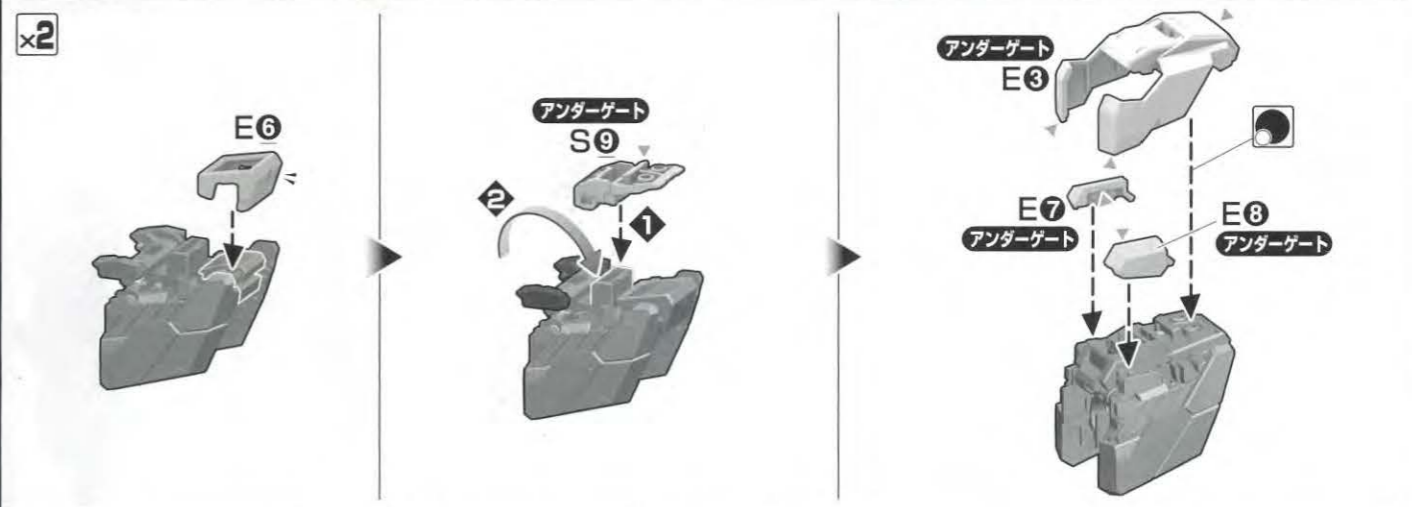
※組立図中の記号説明

- x2 部品を数値の個数作る
- ! 向きに注意して組み立てる
- ☺ 後から組み立てる

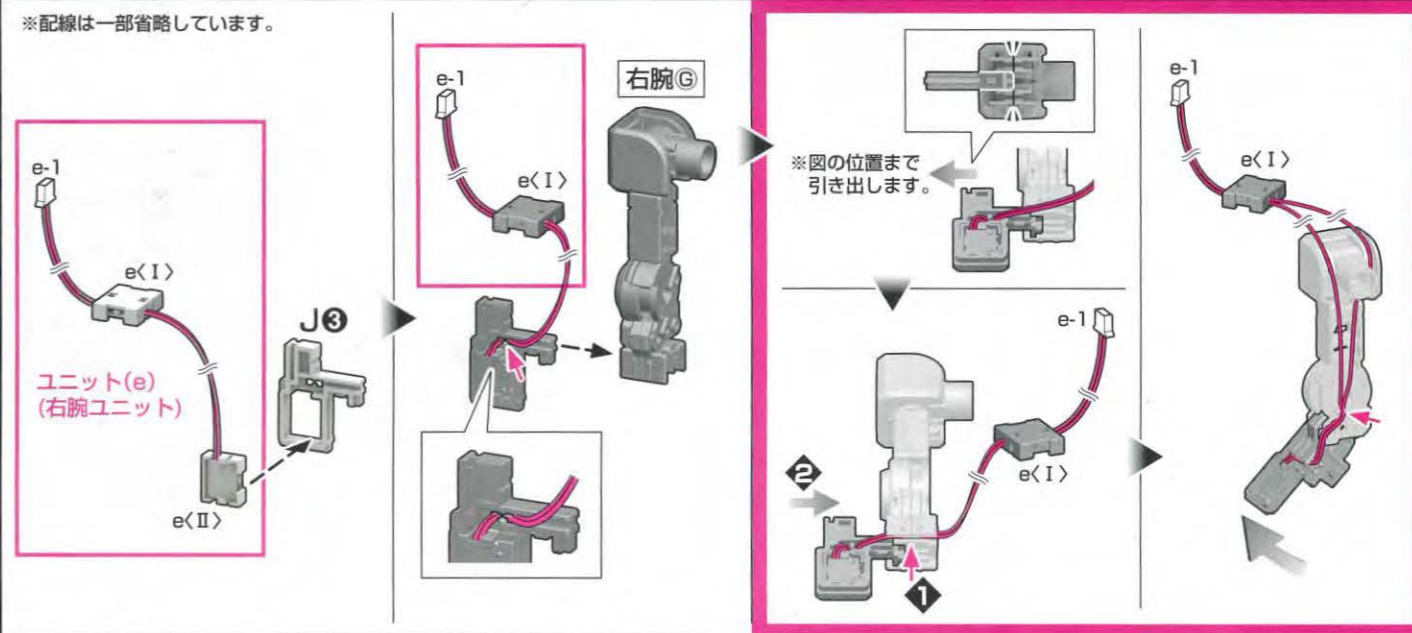
腕部Aの組立



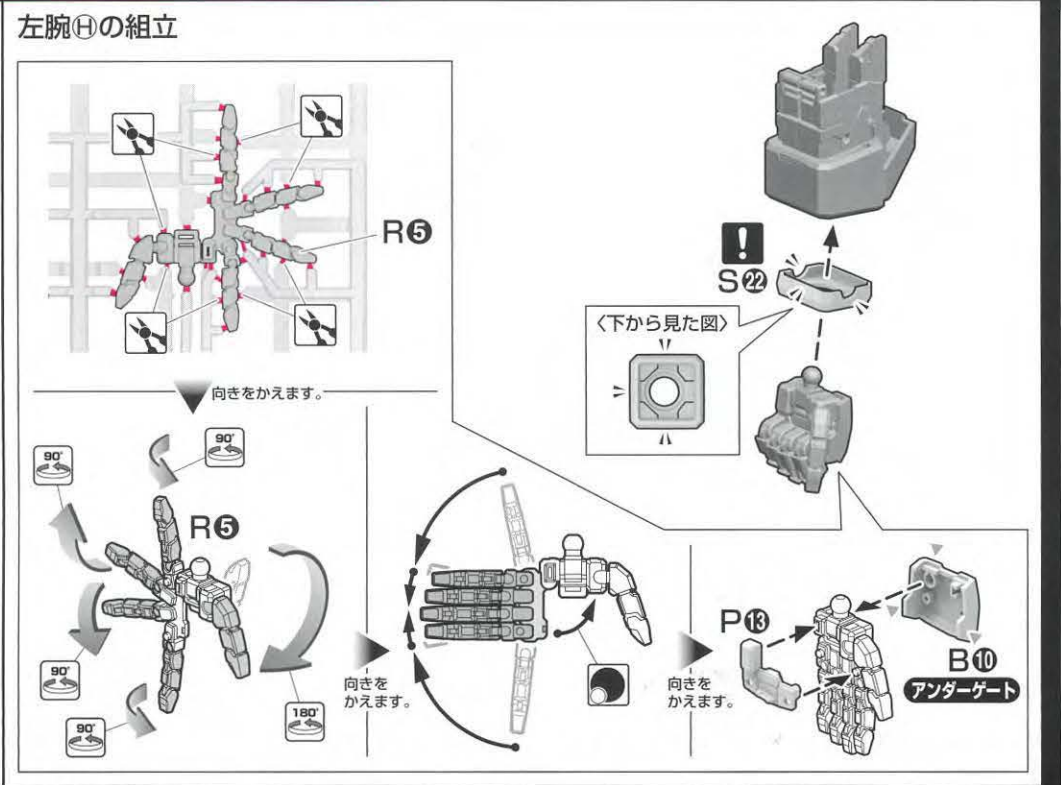
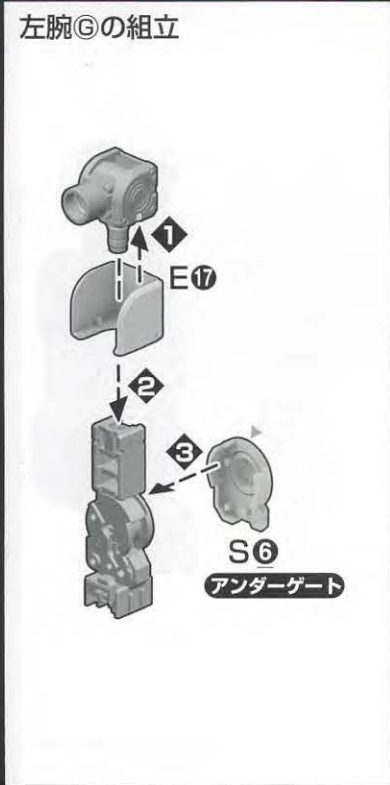
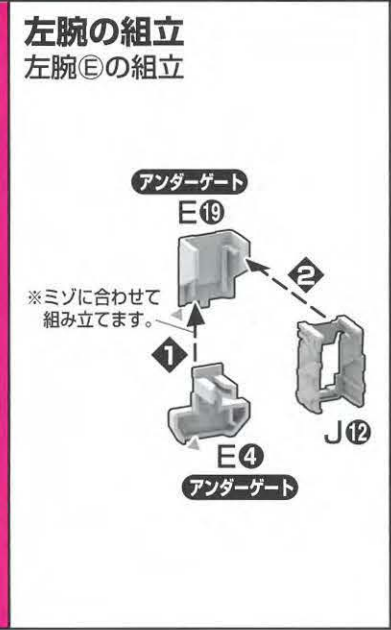
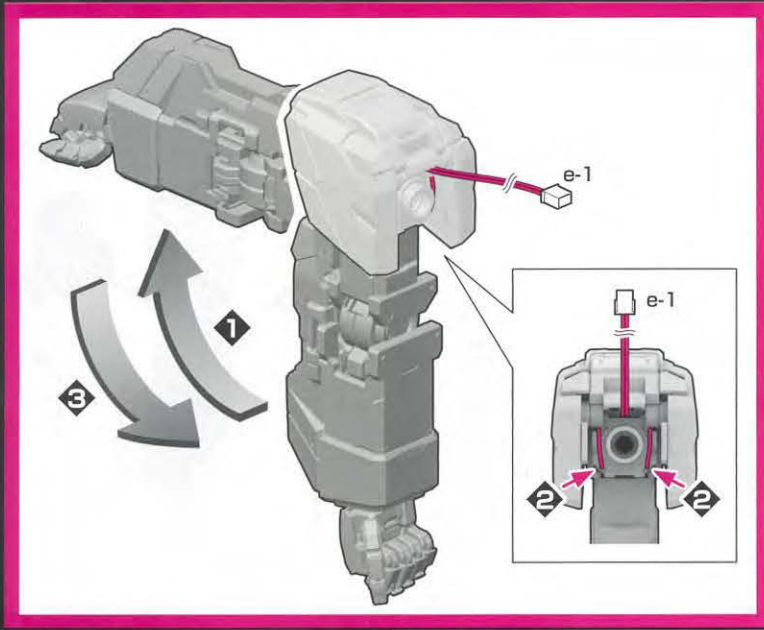
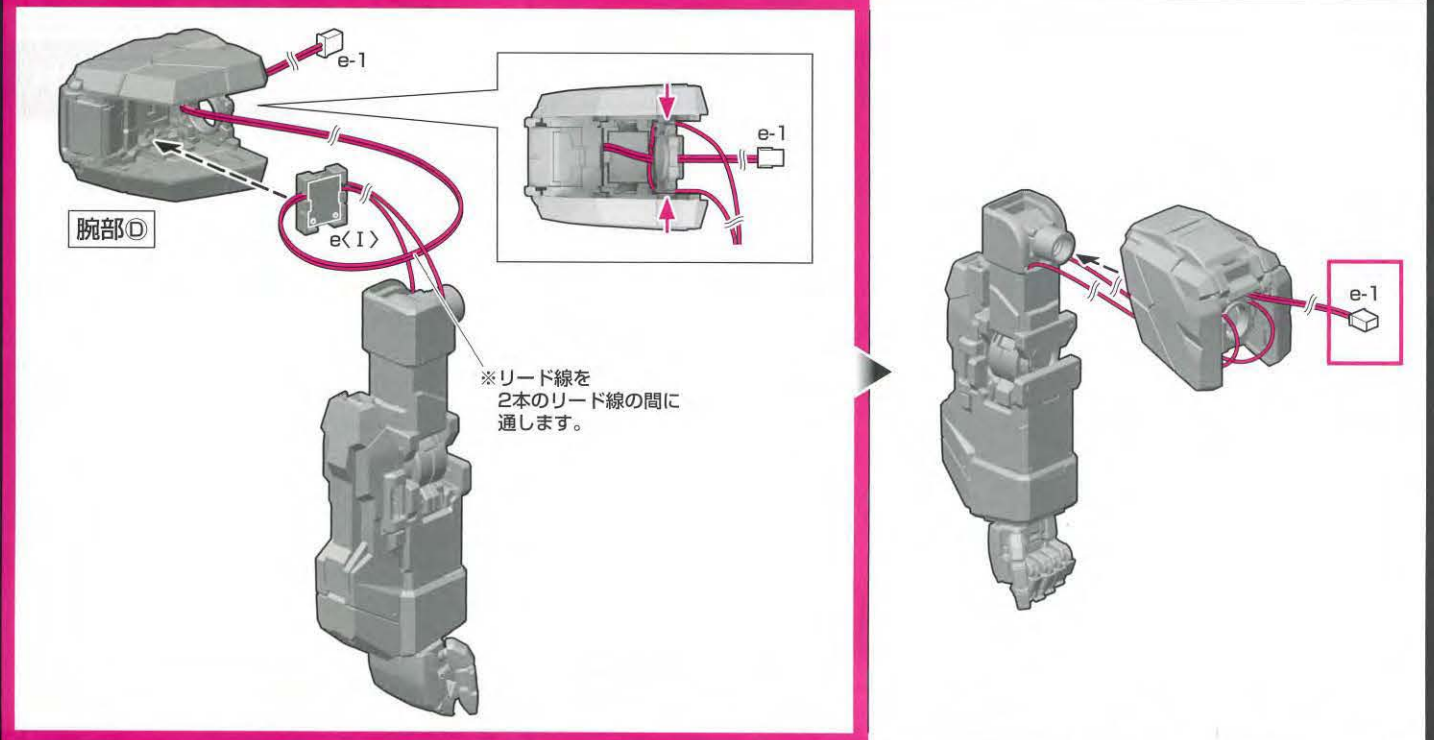
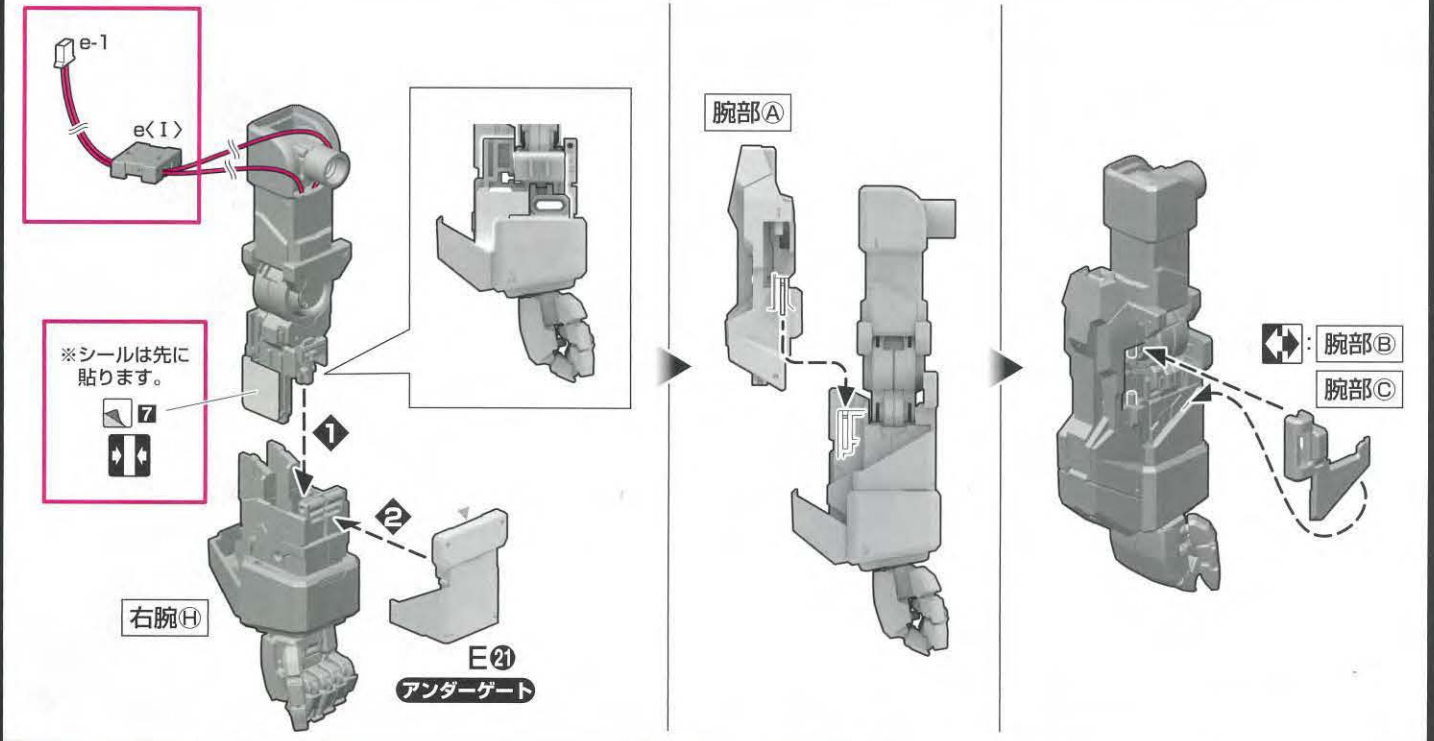
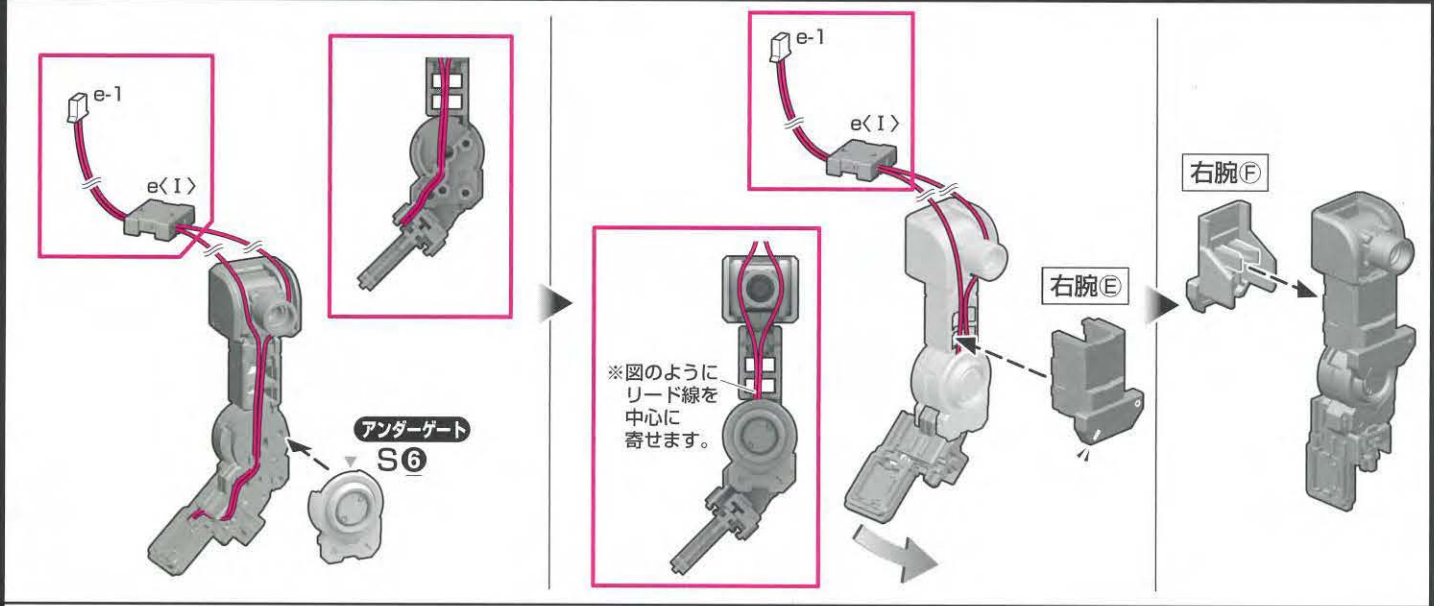
※組立図中の記号説明 x2 部品を数値の個数作る 反対側に取り付けるパーツ 1 メタリックシールの番号



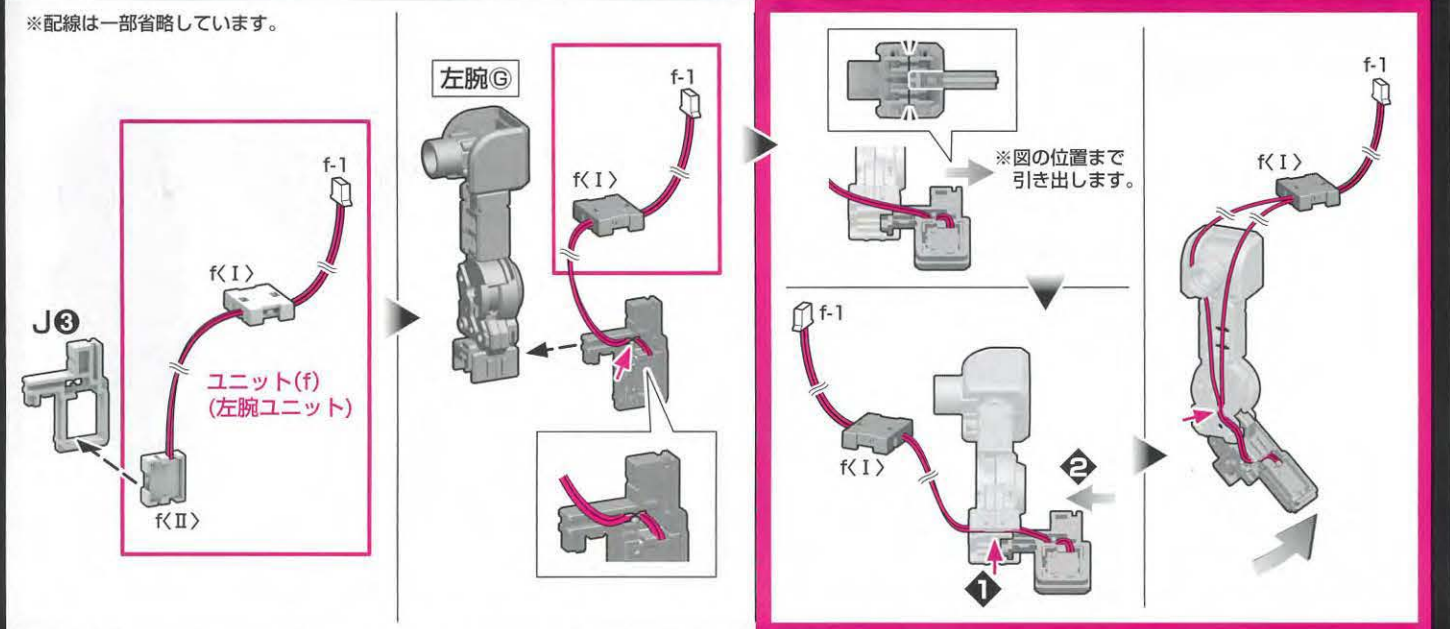
右腕へのLEDユニット組み込み

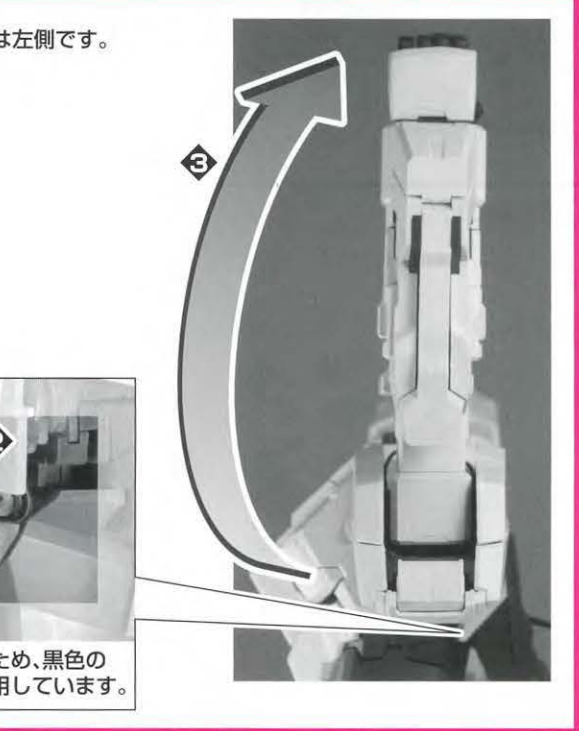
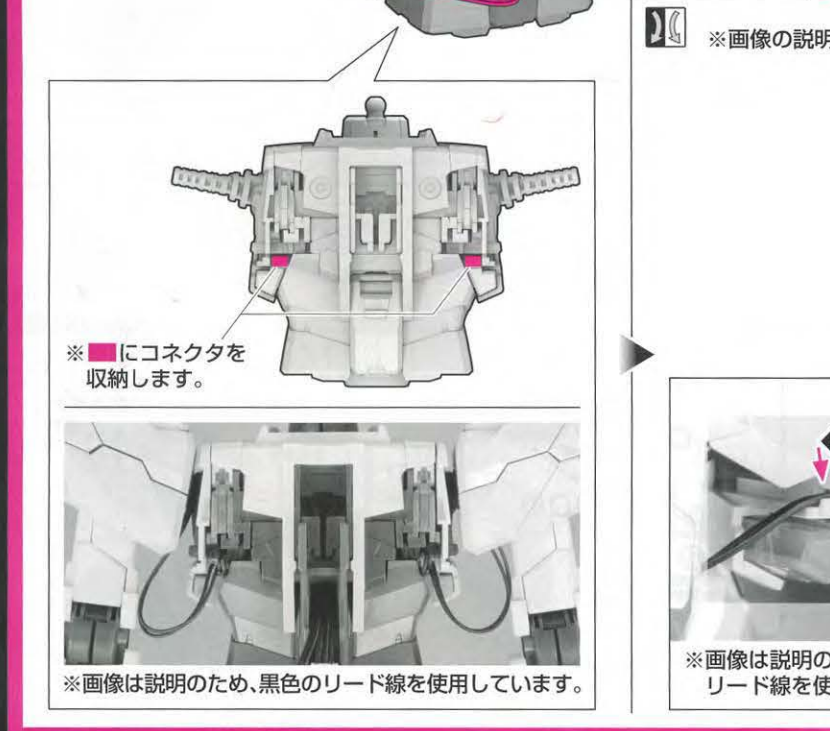
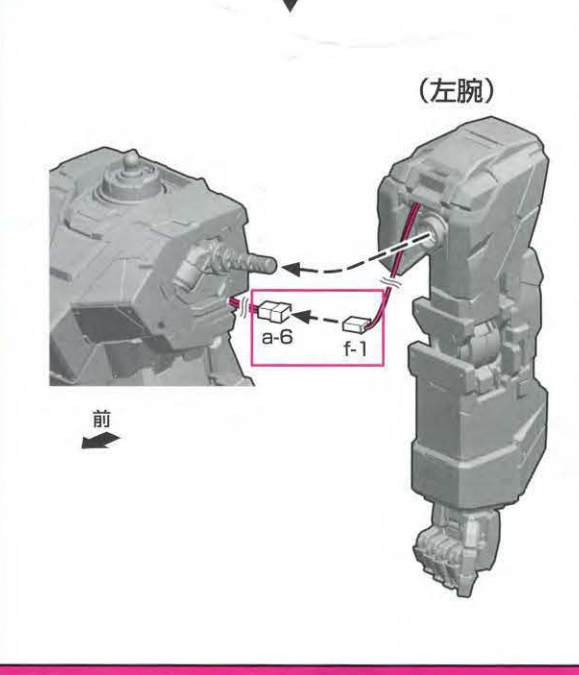
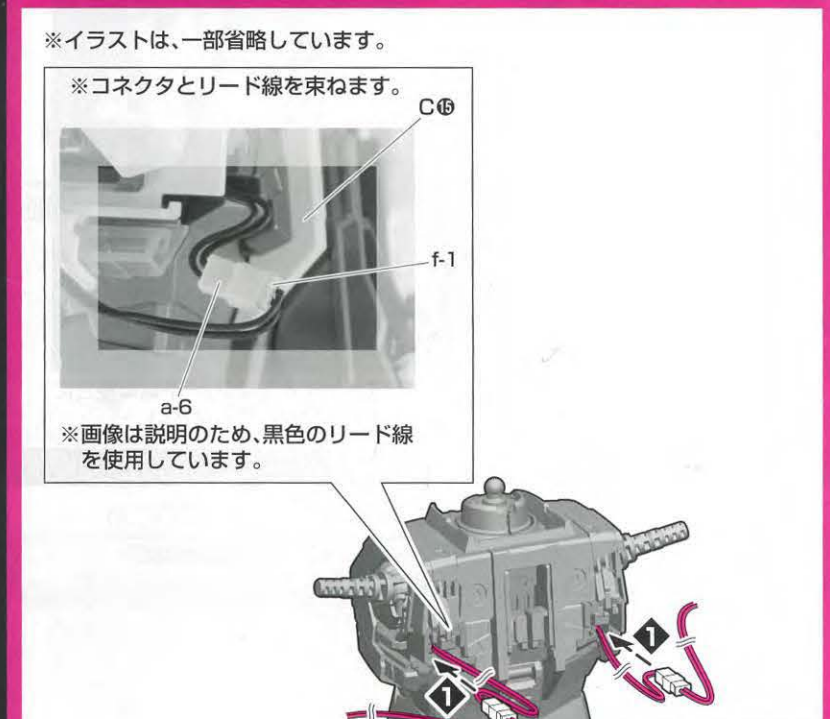
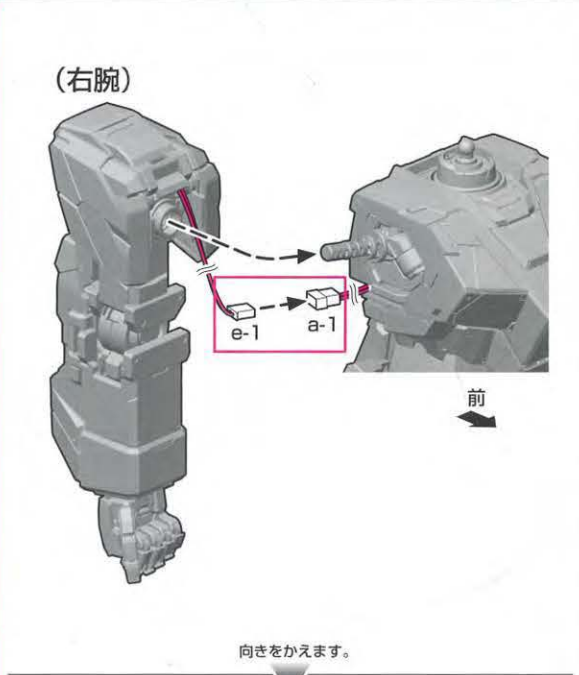
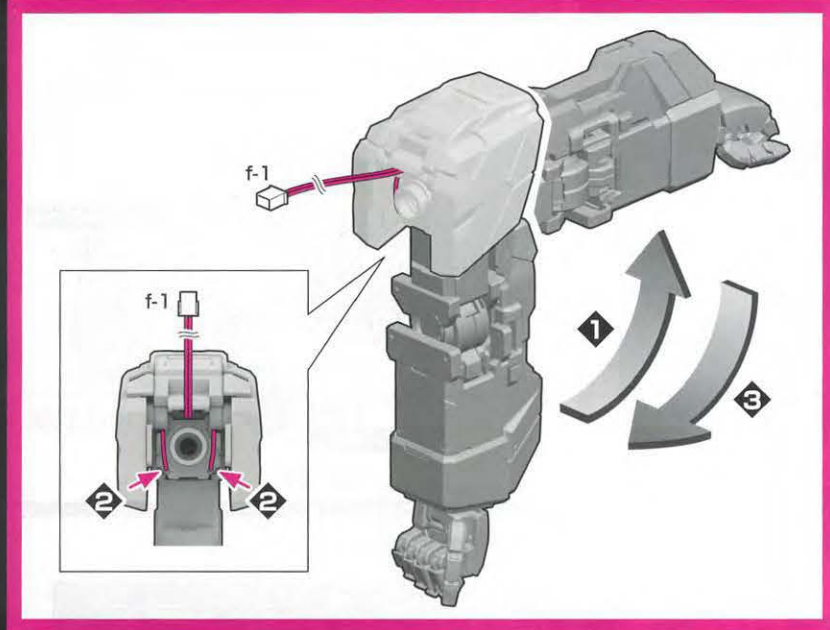
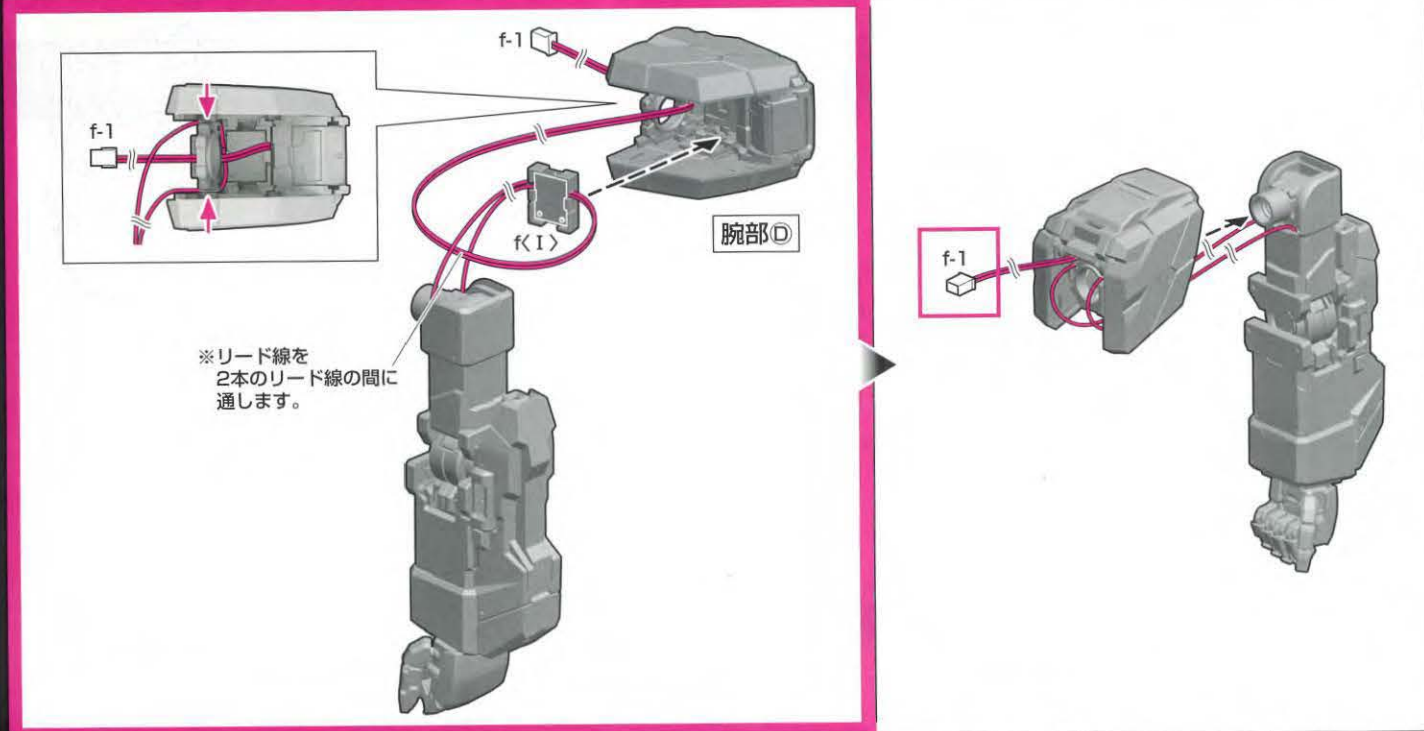
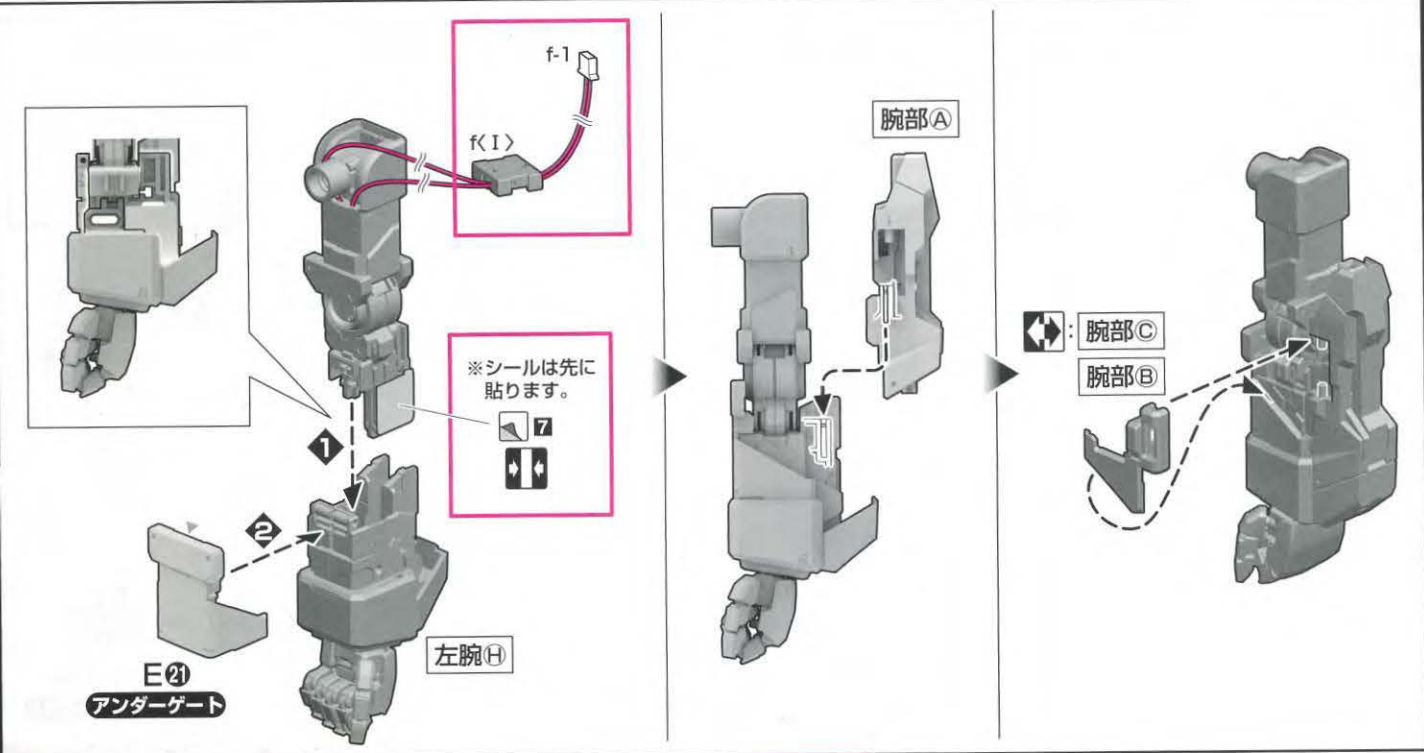
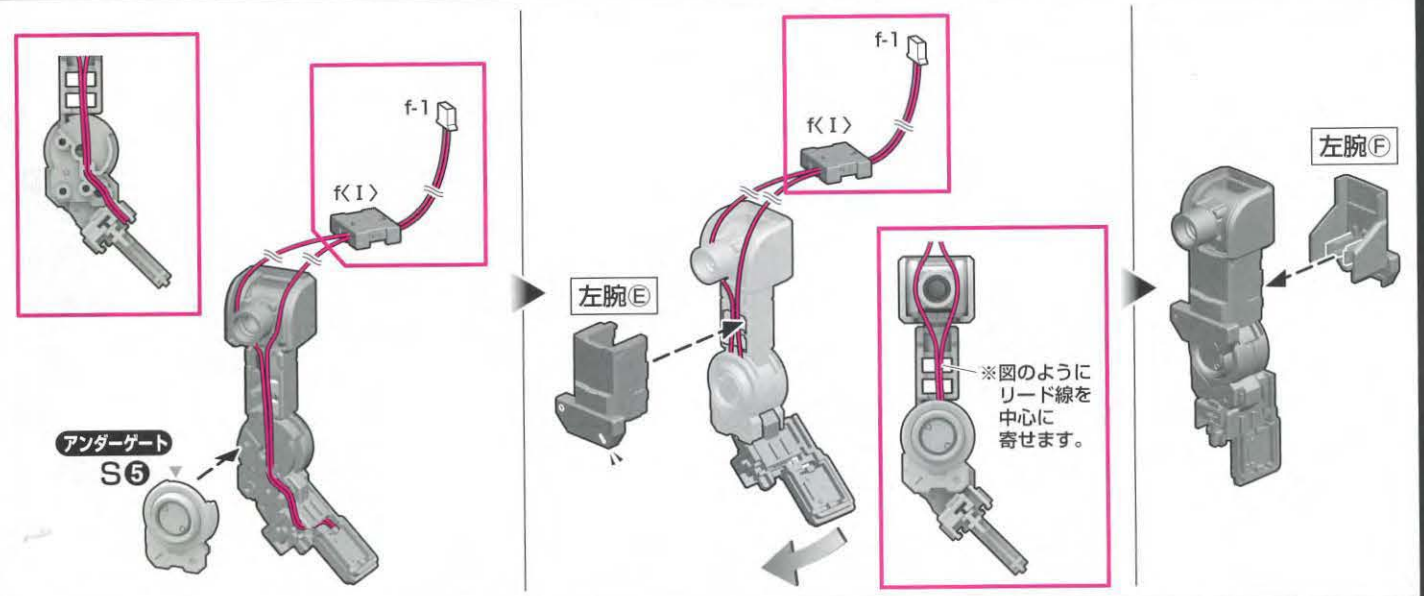


※組立図中の記号説明 x2 部品を数値の個数作る 後から組み立てる 切り取る部分 90° 数値に合わせて回転させる ! 向きに注意して組み立てる



左腕へのLEDユニット組み込み (赤い枠のイラストは、PG RX-0 エニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む場合の説明です。)





4 ※イラストは、一部省略しています。
(画像の説明は左側です。)

※リード線は一本ずつ通してください。

※画像は説明のため、黒色のリード線を使用しています。

アンダーゲート C22
アンダーゲート C23

5 ※イラストは、一部省略しています。

※リード線は一本ずつ通してください。

※パーツのミゾに通します。

※画像は説明のため、黒色のリード線を使用しています。

※腕を動かすときは、リード線の長さに注意して動かしてください。

6 頭部の組立

・組立**6**で使用するパーツ

A (ホワイト)	B (ホワイト) アンダーゲート有り	I (クリアレッド)	N (ダークグレー) アンダーゲート有り
Q (ダークグレー) (x2)	WA (イロフラ)	PC-0 (ダークグレー)	

・シルバーシール

頭部Aの組立

PC19 (ダークグレー)

頭部Bの組立

アンダーゲート B19
アンダーゲート B21

※きれいに切り取ります。
向きをかえます。

※切り取らないように注意してください。

頭部Cの組立

※シールは先に貼ります。

アンダーゲート B8
WA2
N17

頭部Dの組立

金属パーツは取り外さないでください。

アンダーゲート N10

頭部Eの組立

アンダーゲート B14

※PG RX-0 ユニコンガンダム用LEDユニット (RX-0シリーズ兼用) (別売り)を組み込む場合、シルバーシールは貼りません。

〈後ろから見た図〉 〈前から見た図〉

頭部Fの組立

アンダーゲート B20

※PG RX-0 ユニコンガンダム用LEDユニット (RX-0シリーズ兼用) (別売り)を組み込む場合、シルバーシールは貼りません。

頭部Gの組立

アンダーゲート B6
アンダーゲート B16

頭部Hの組立

アンダーゲート B7
アンダーゲート B15

頭部へのLEDユニット組み込み

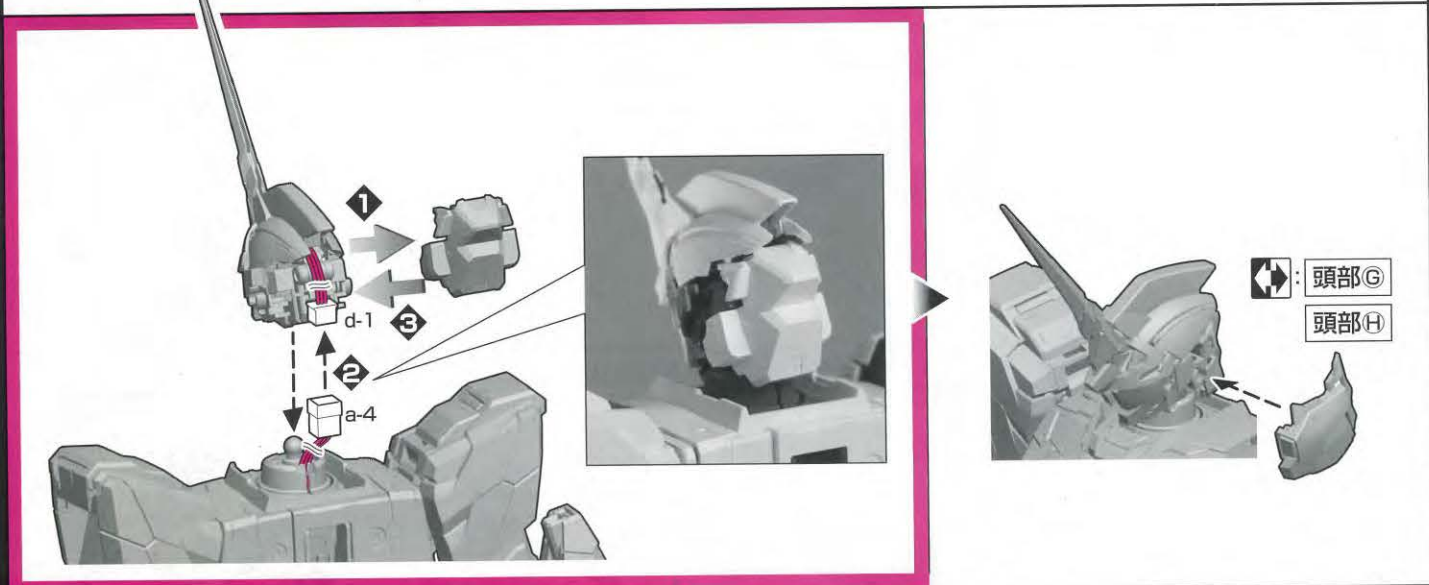
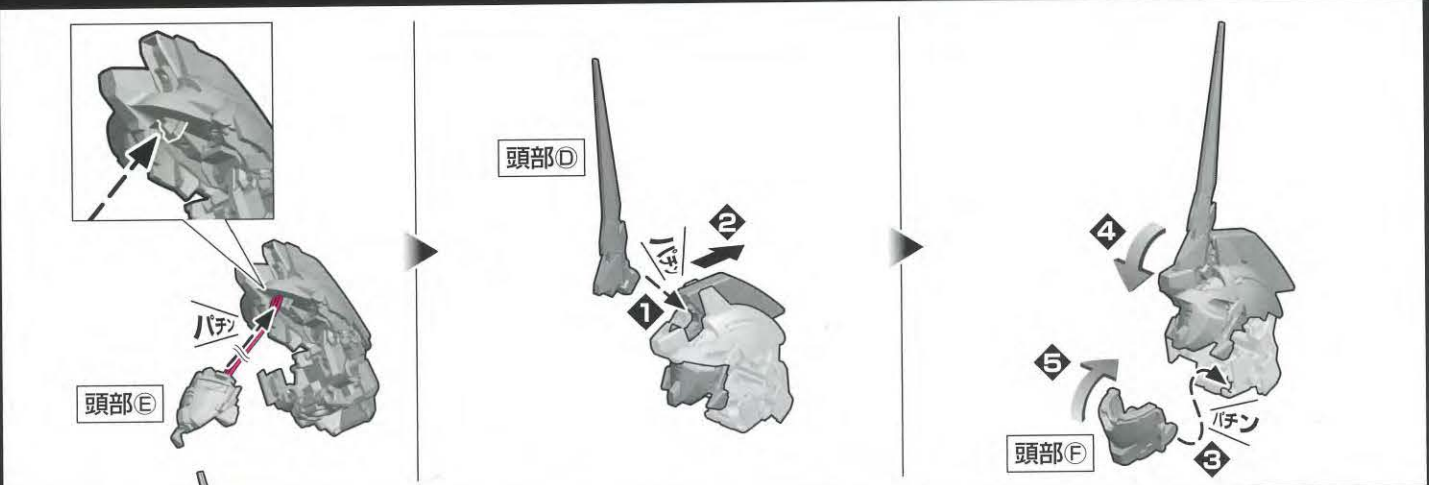
※配線は一部省略しています。

※基板をキズつけないように注意して、慎重に図の位置に取り付けてください。

ユニット(d) (頭部ユニット)

アンダーゲート B9

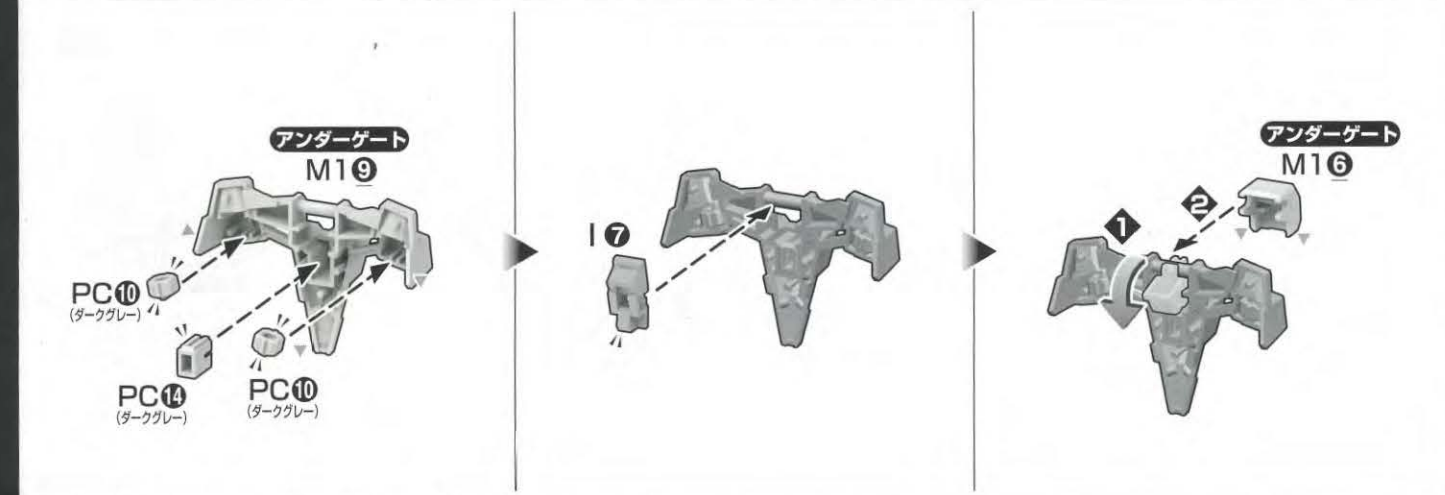
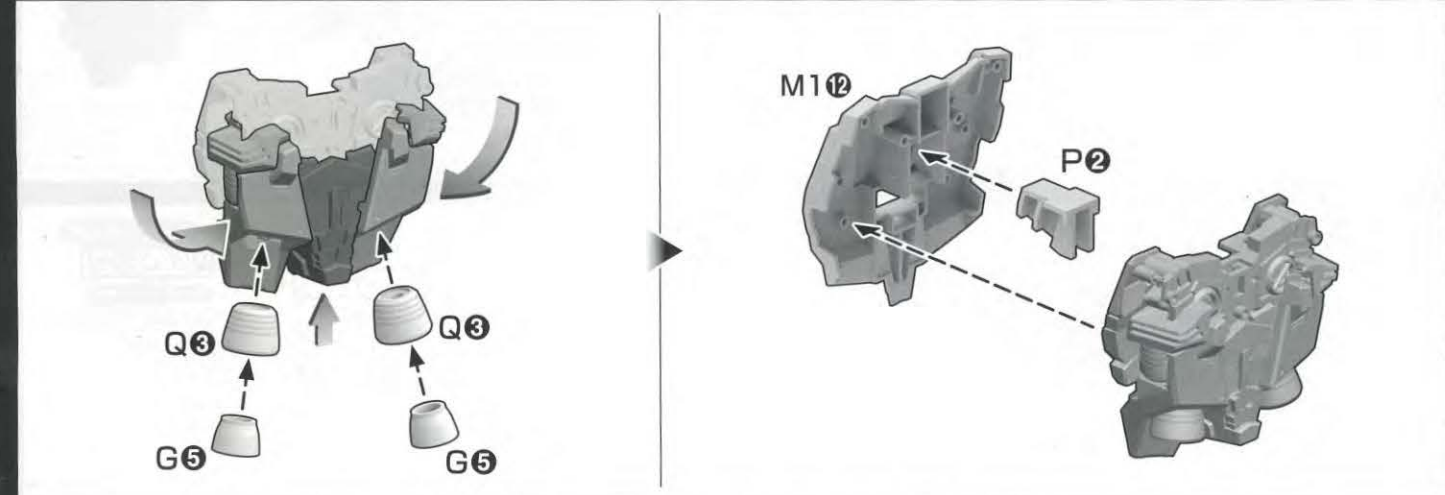
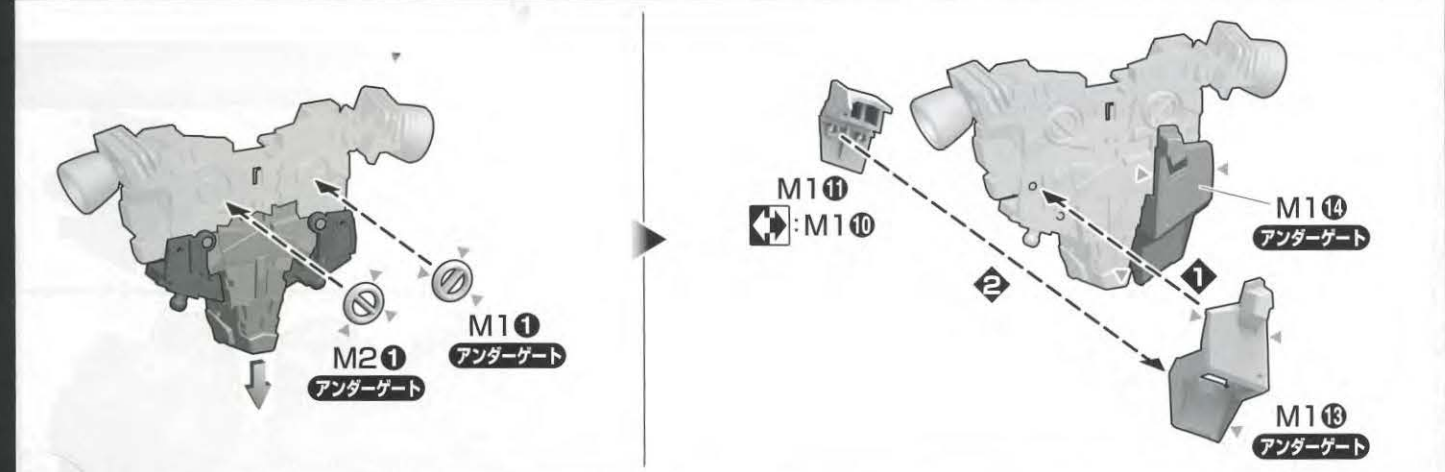
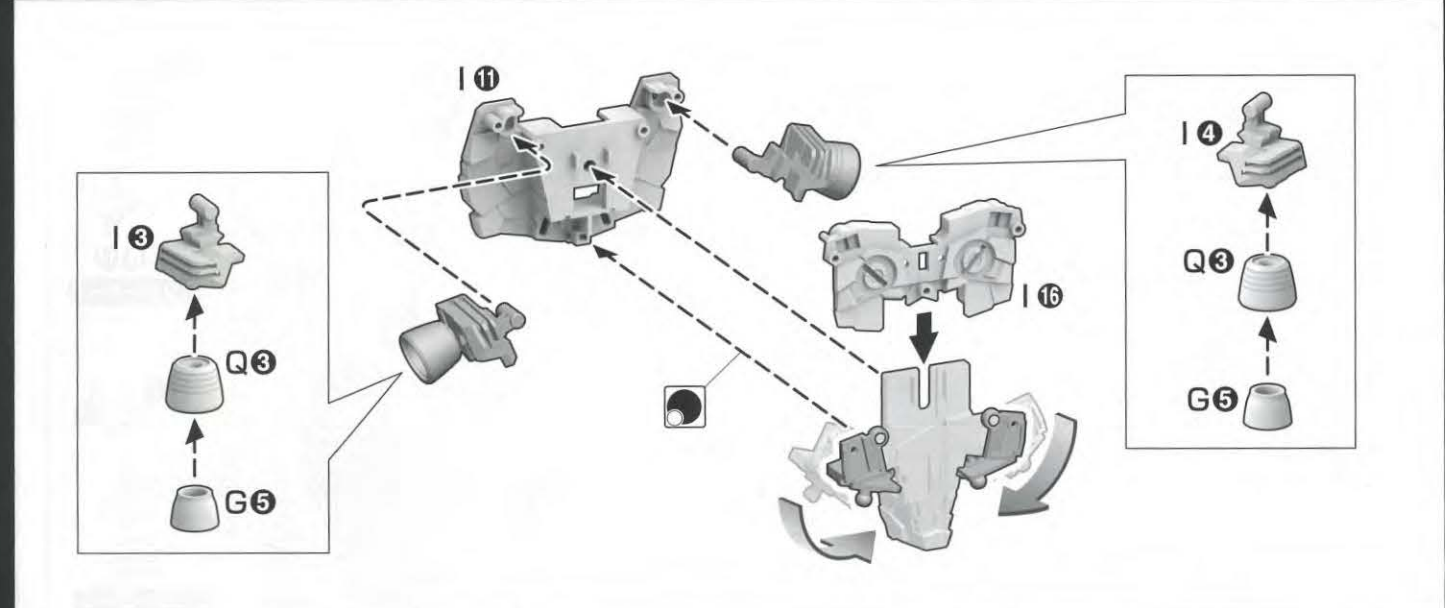
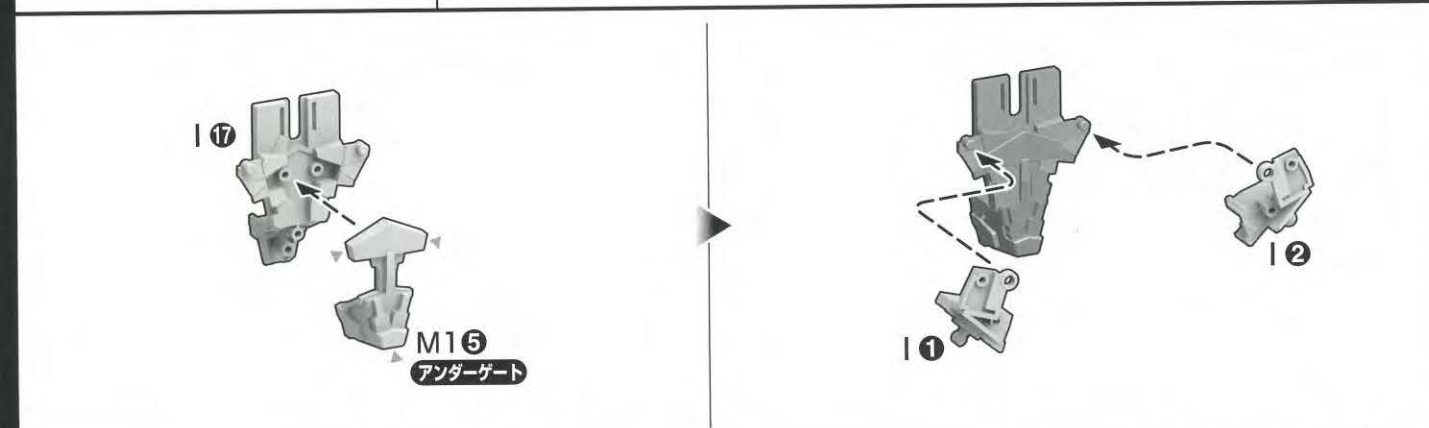
角度に注意して、奥まではめ込んでください。

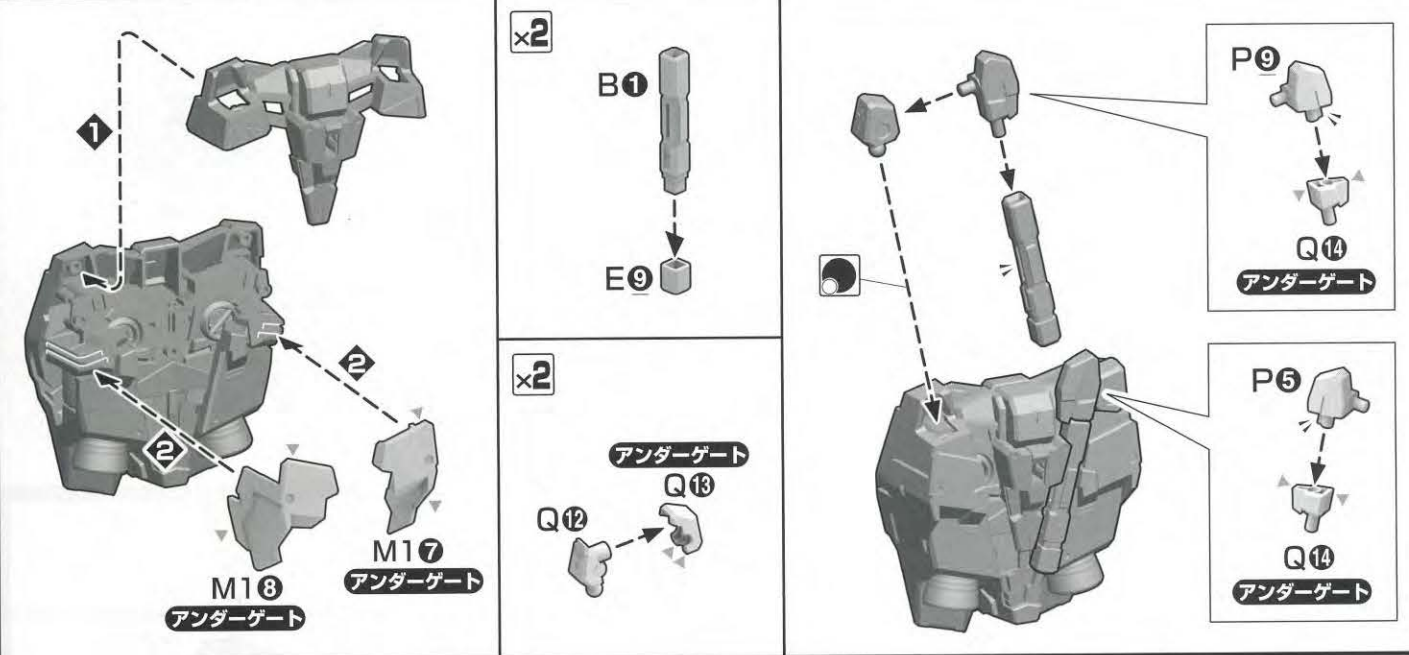


7 バックパックの組立

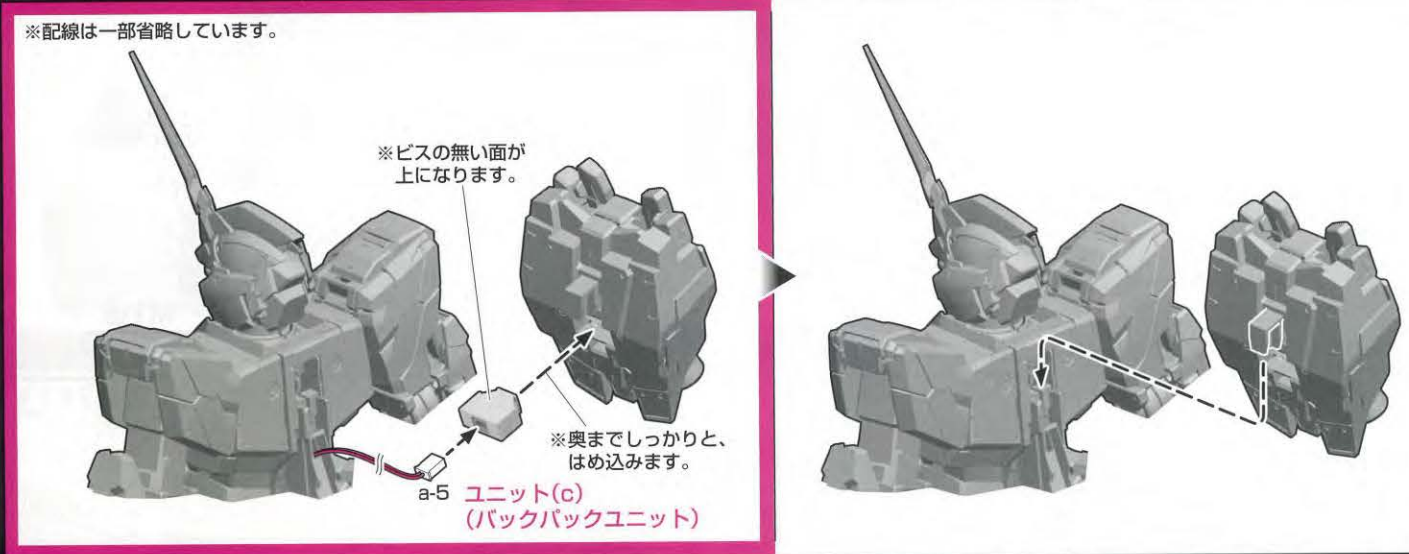
・組立7で使用するパーツ

B(ホワイト)	E(ホワイト)	G(ホワイト)	I(クリアレッド)
M1(ダークブルー) アンダーゲート有り	M2(ダークブルー) アンダーゲート有り	P(ダークグレー)	Q(ダークグレー) (x2) アンダーゲート有り
			PC-O(ダークグレー) (x2)

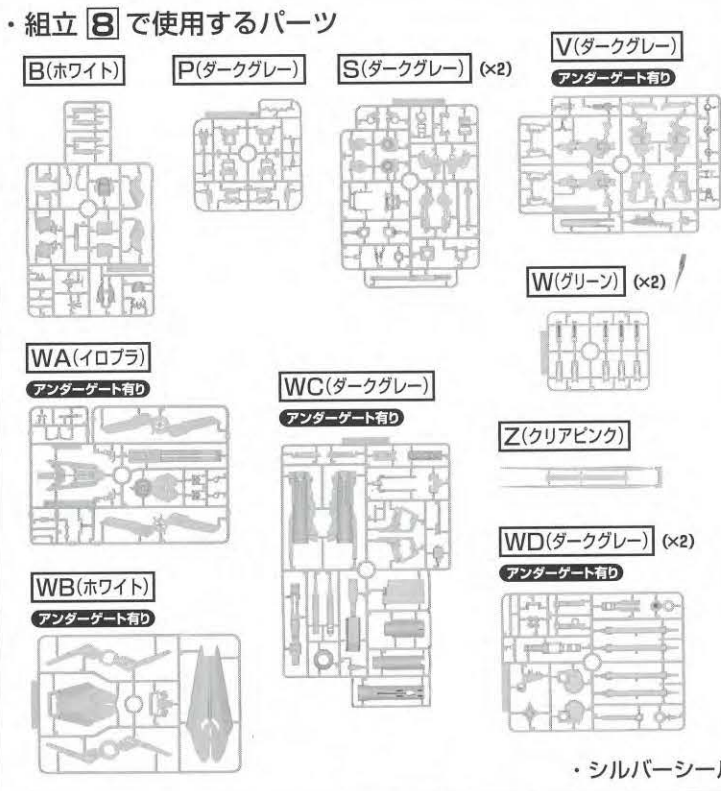




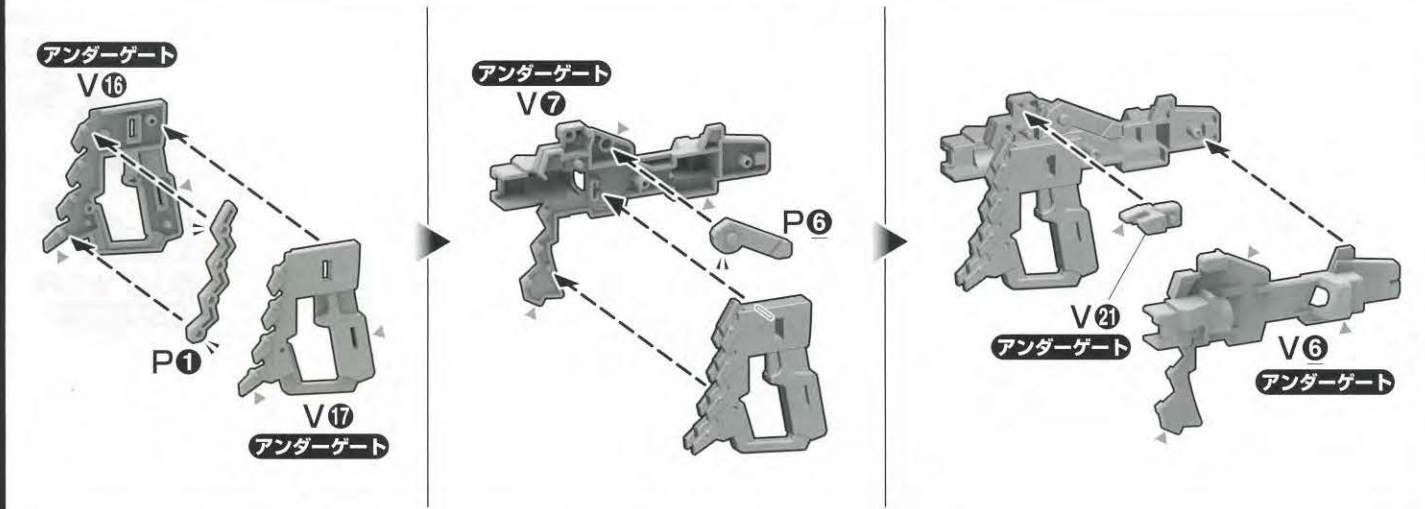
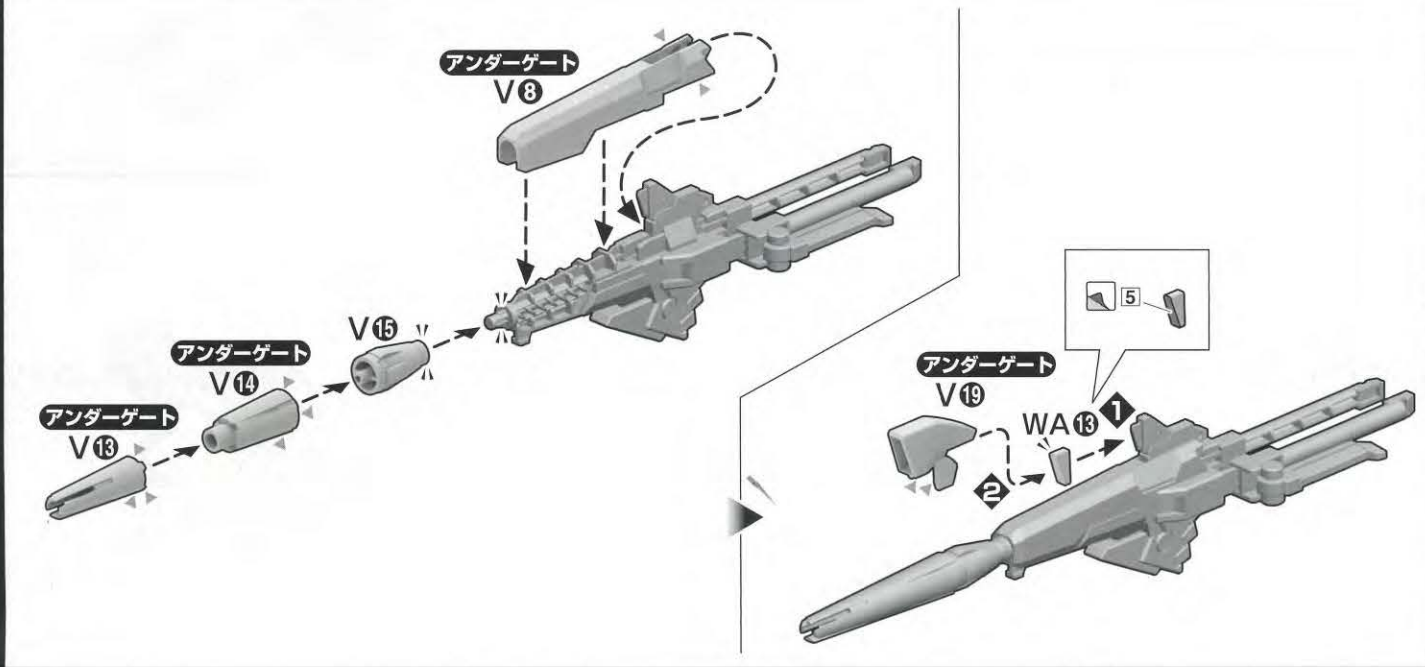
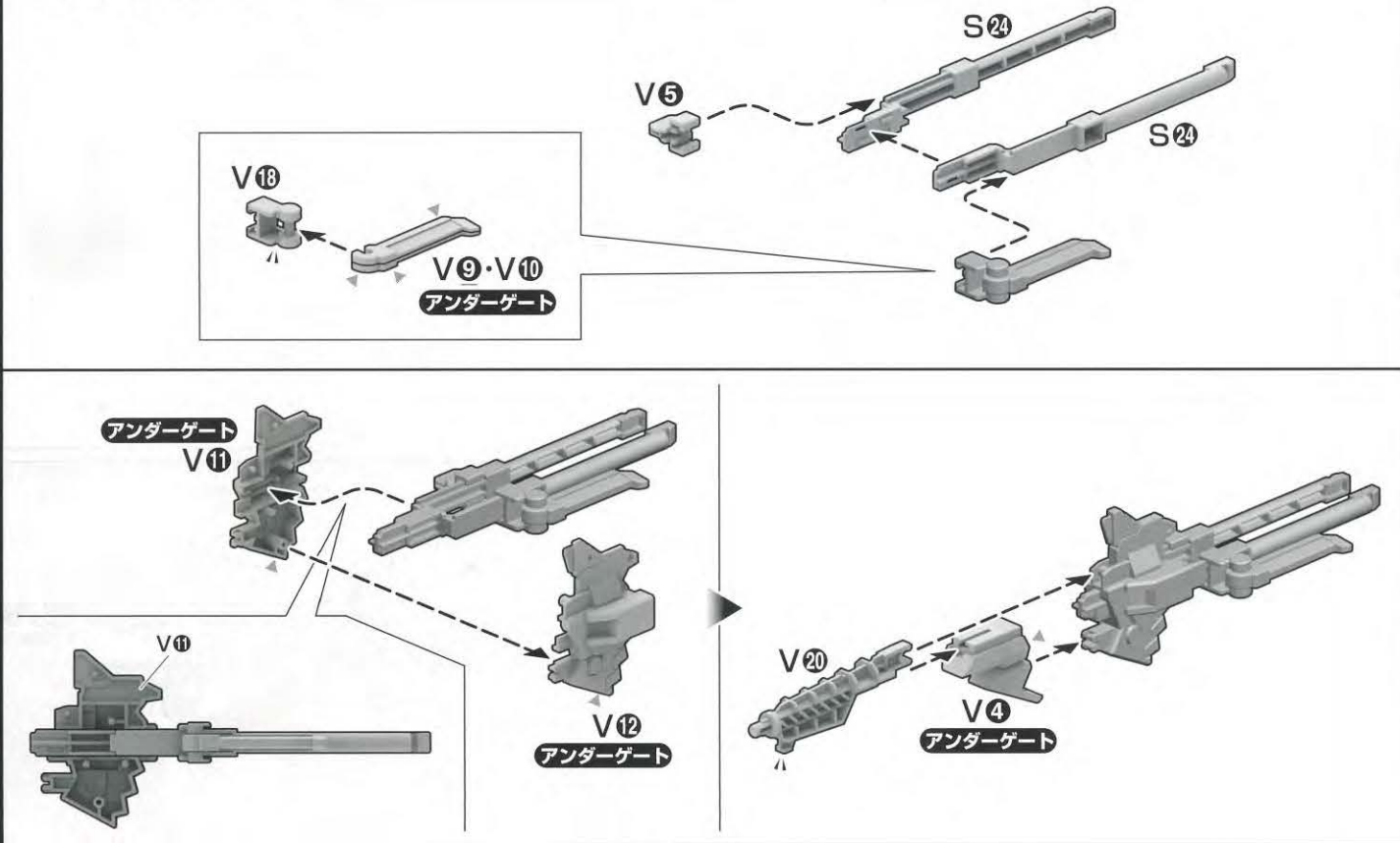
バックパックへのLEDユニット組み込み (赤い枠のイラストは、PG-RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込む場合の説明です。)

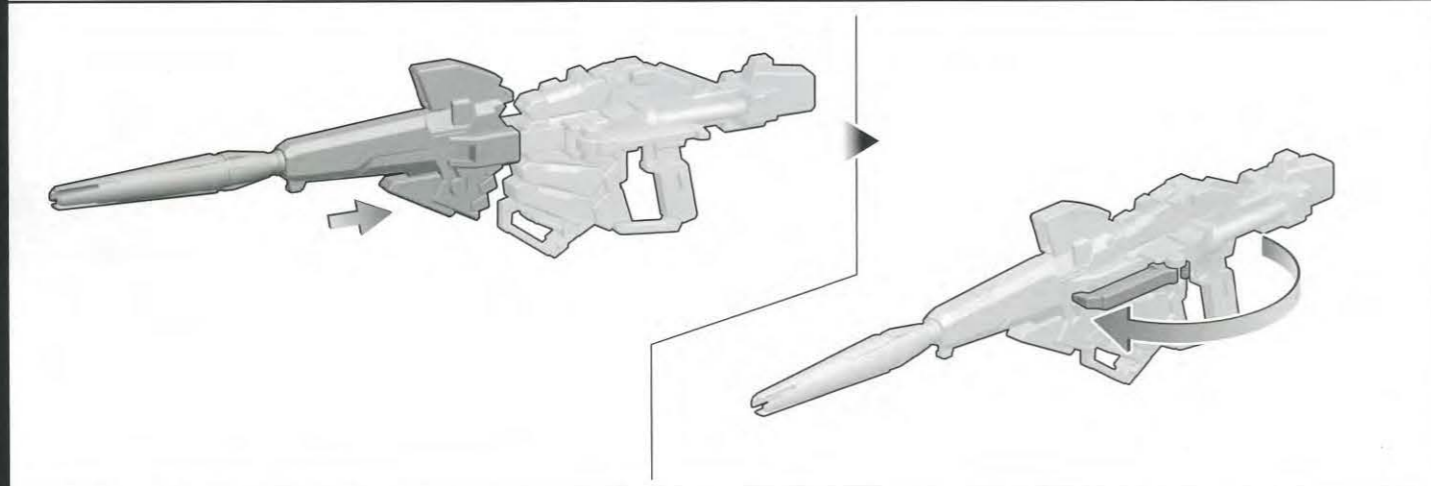
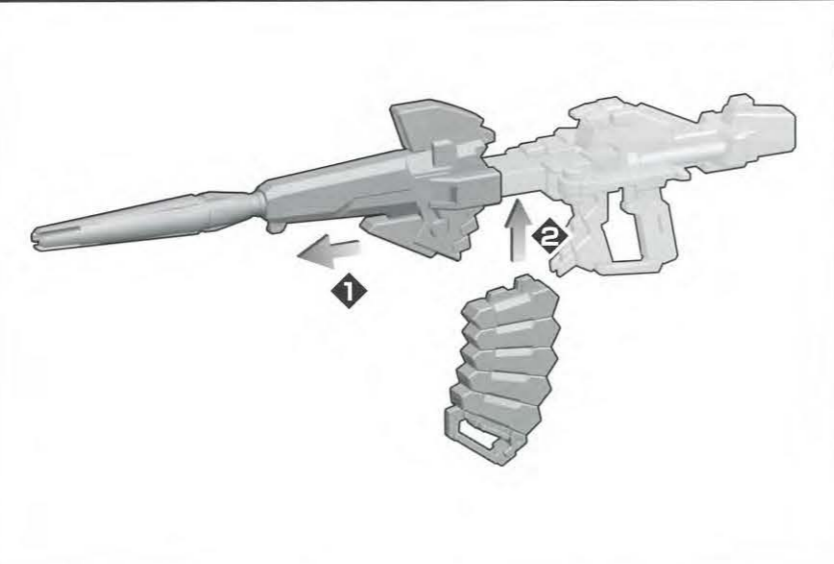
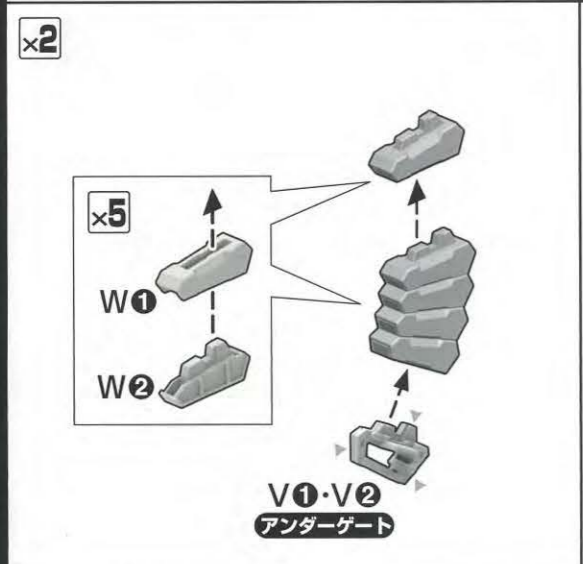
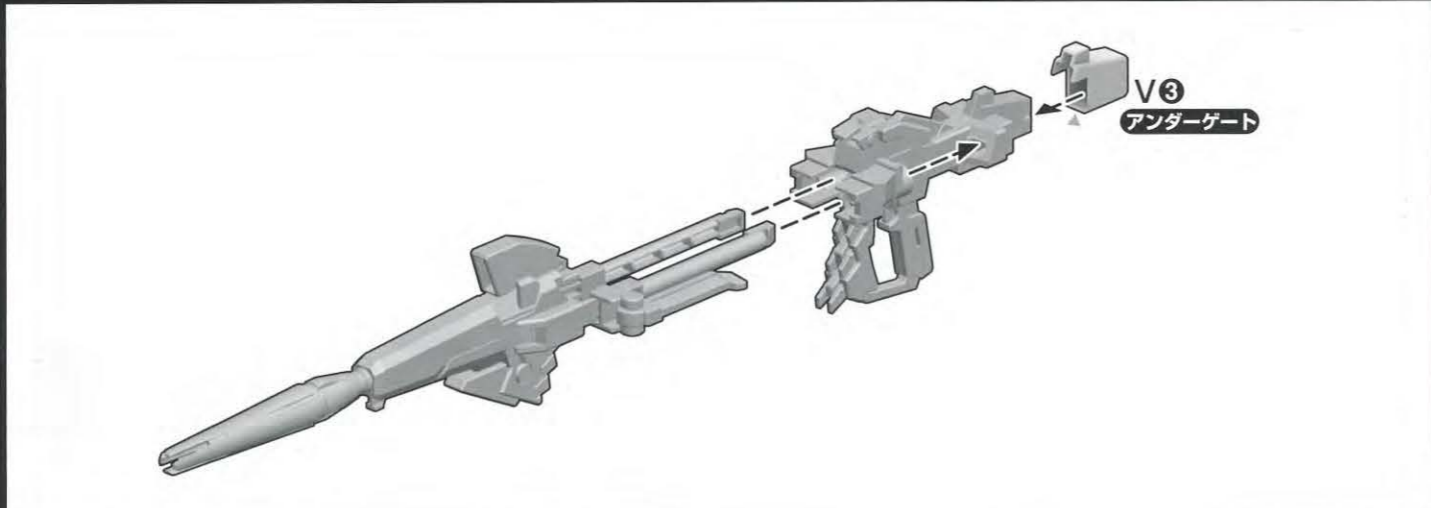


8 武器の組立

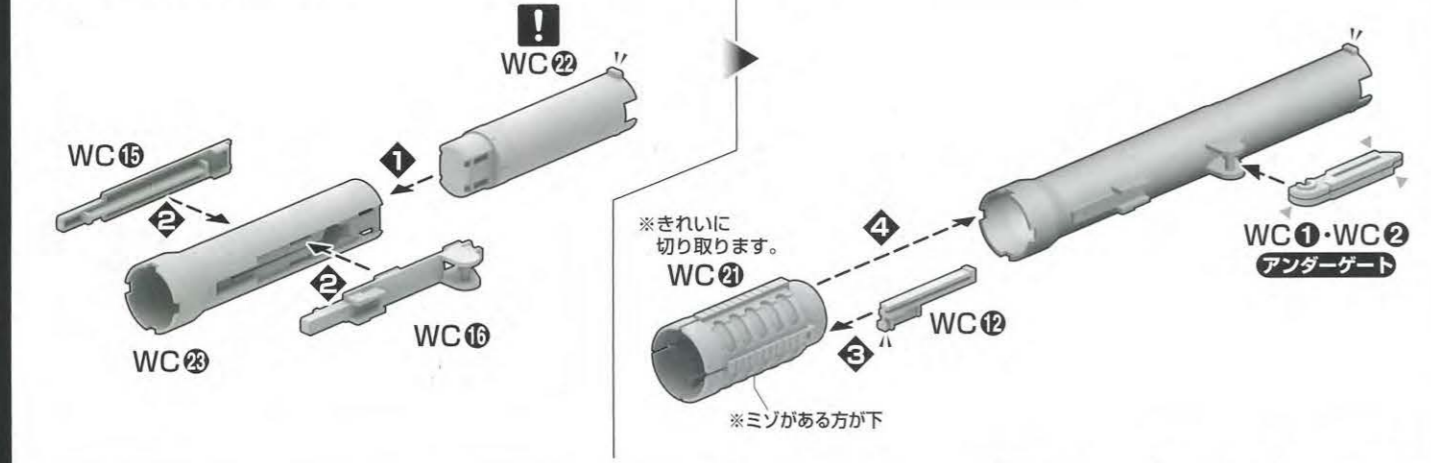


Beam・マグナムの組立





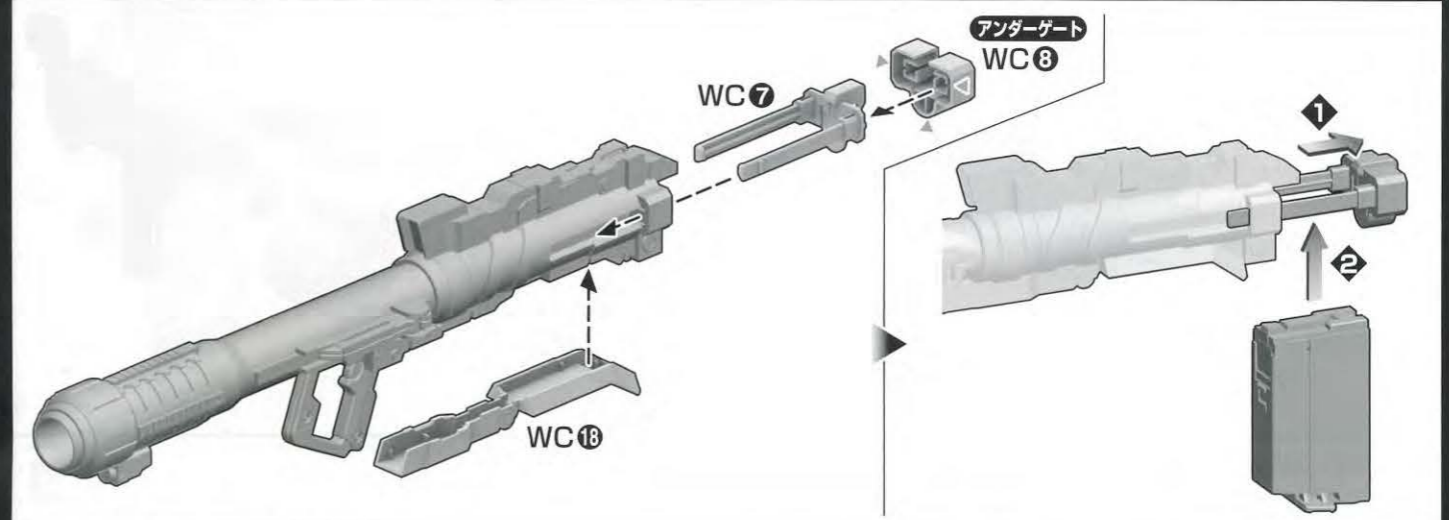
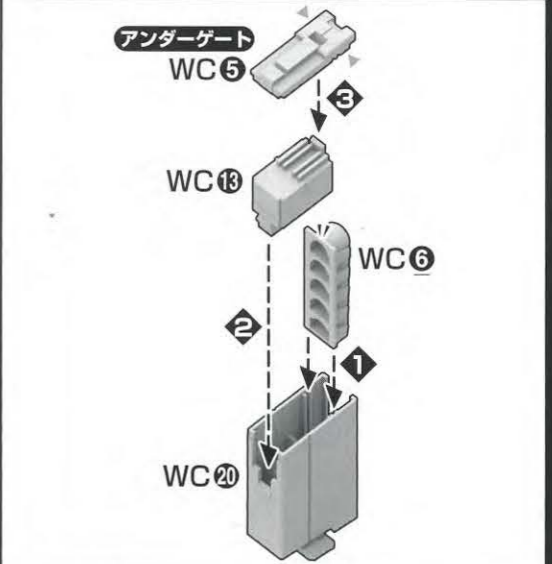
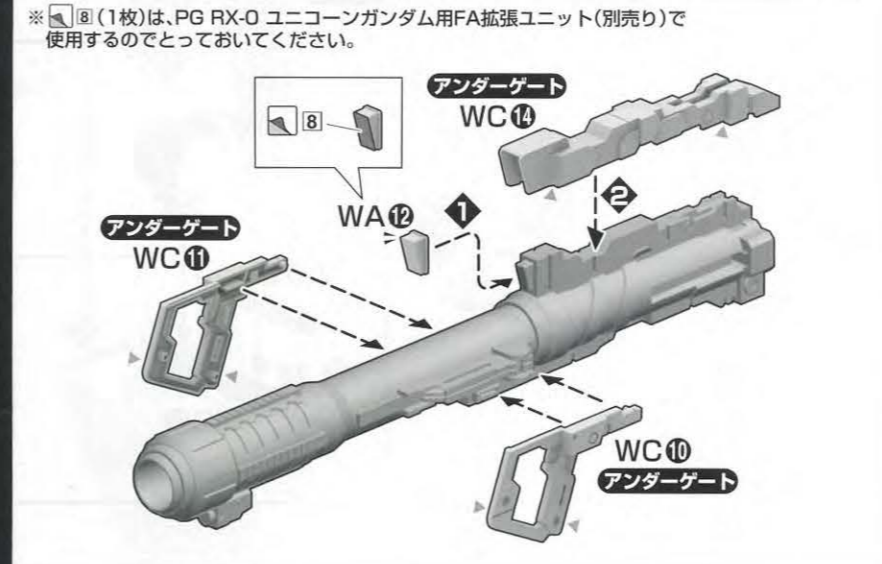
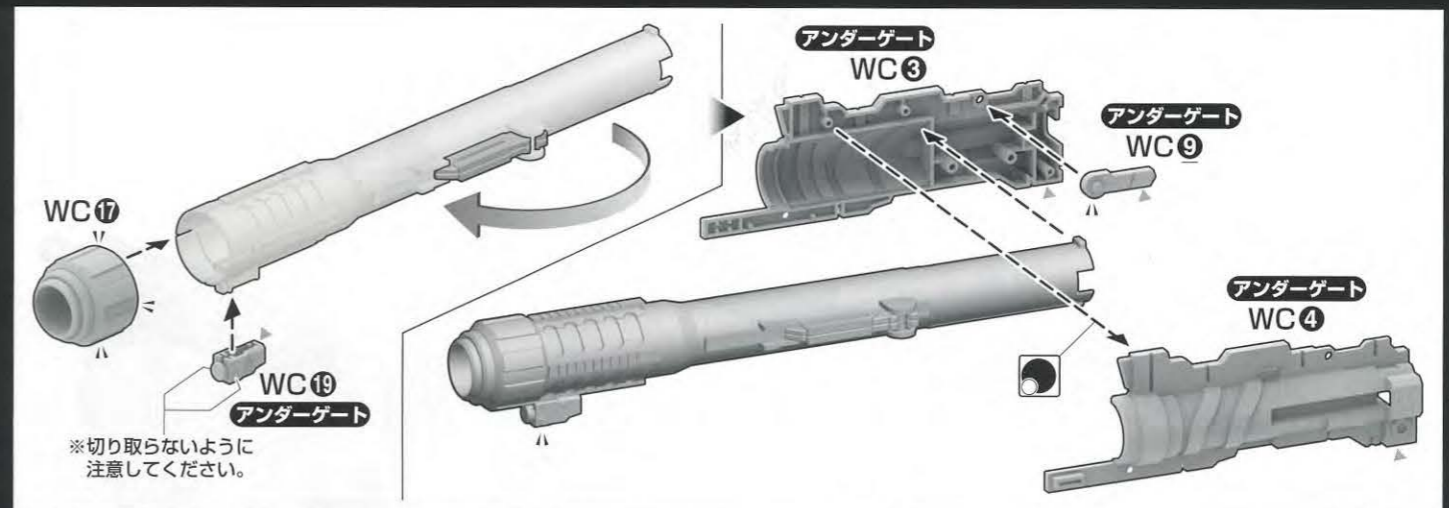
ハイパー・バズーカの組立



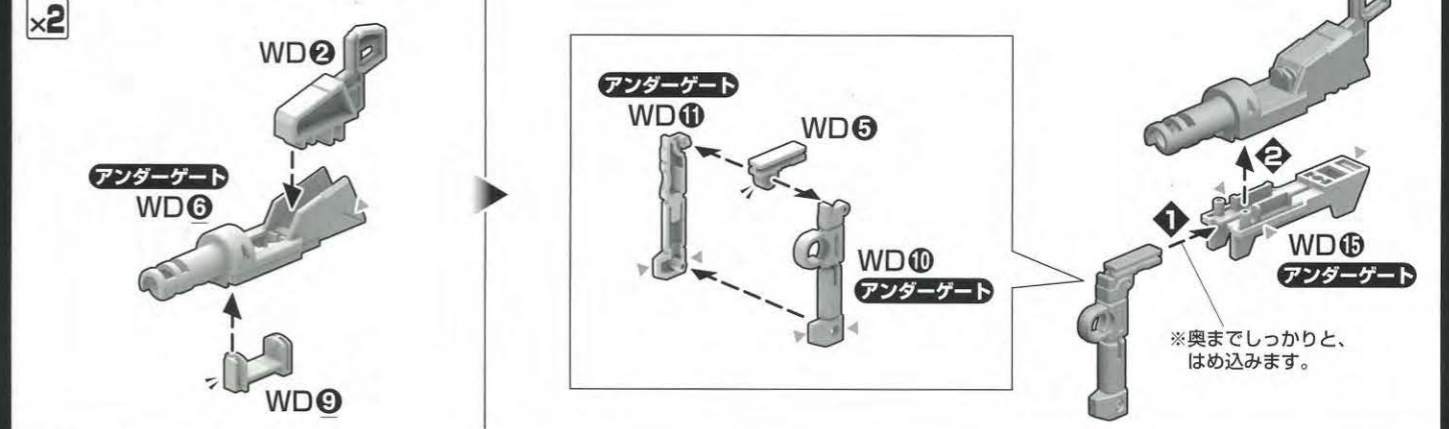
※組立図中の記号説明

x2 部品を数値の個数作る

! 向きに注意して組み立てる



ビーム・ガトリングガンの組立

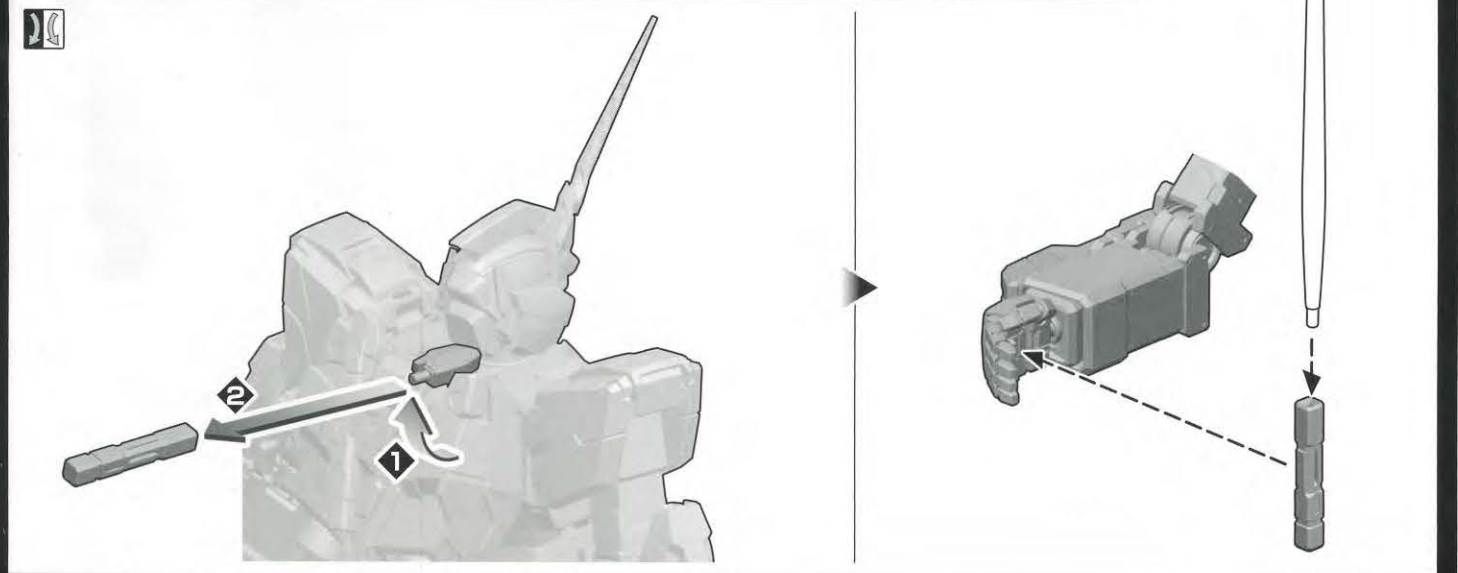
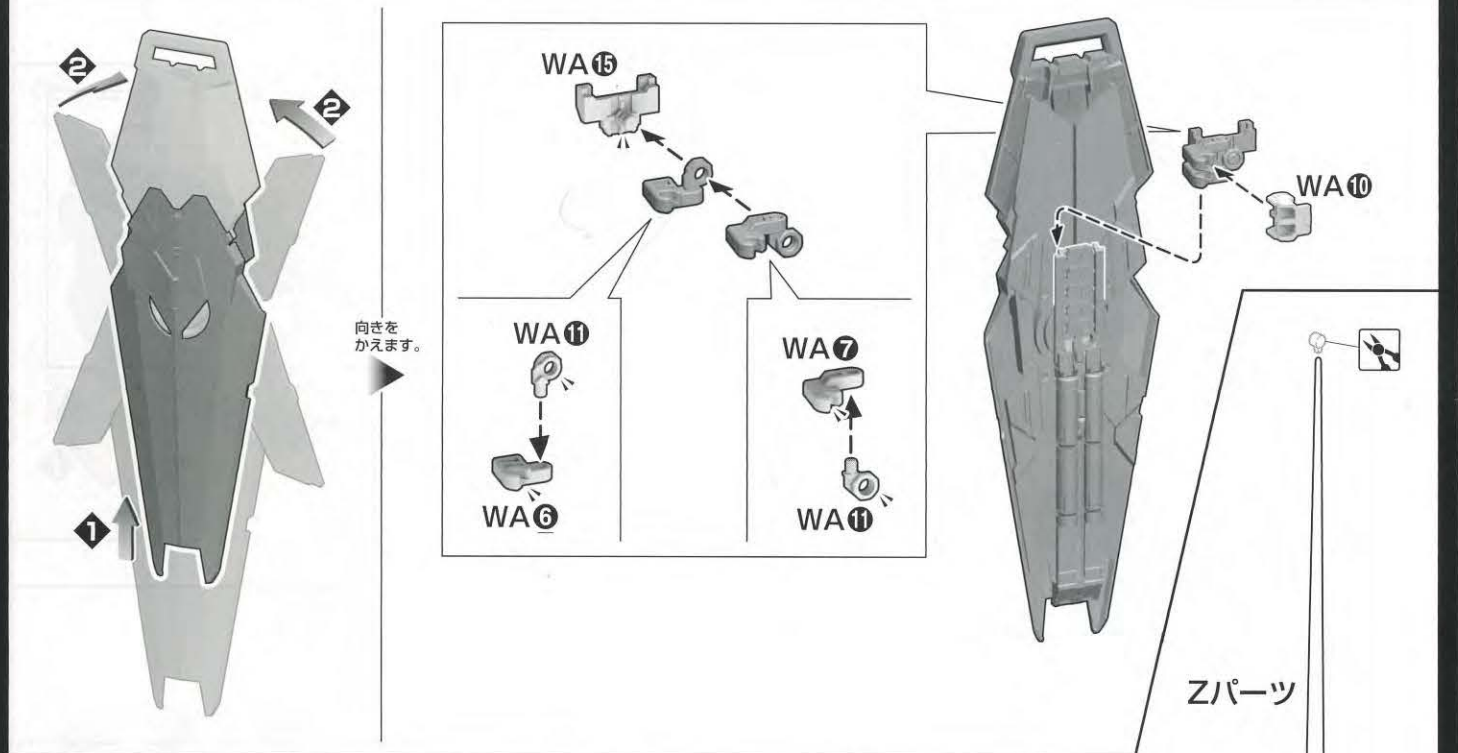
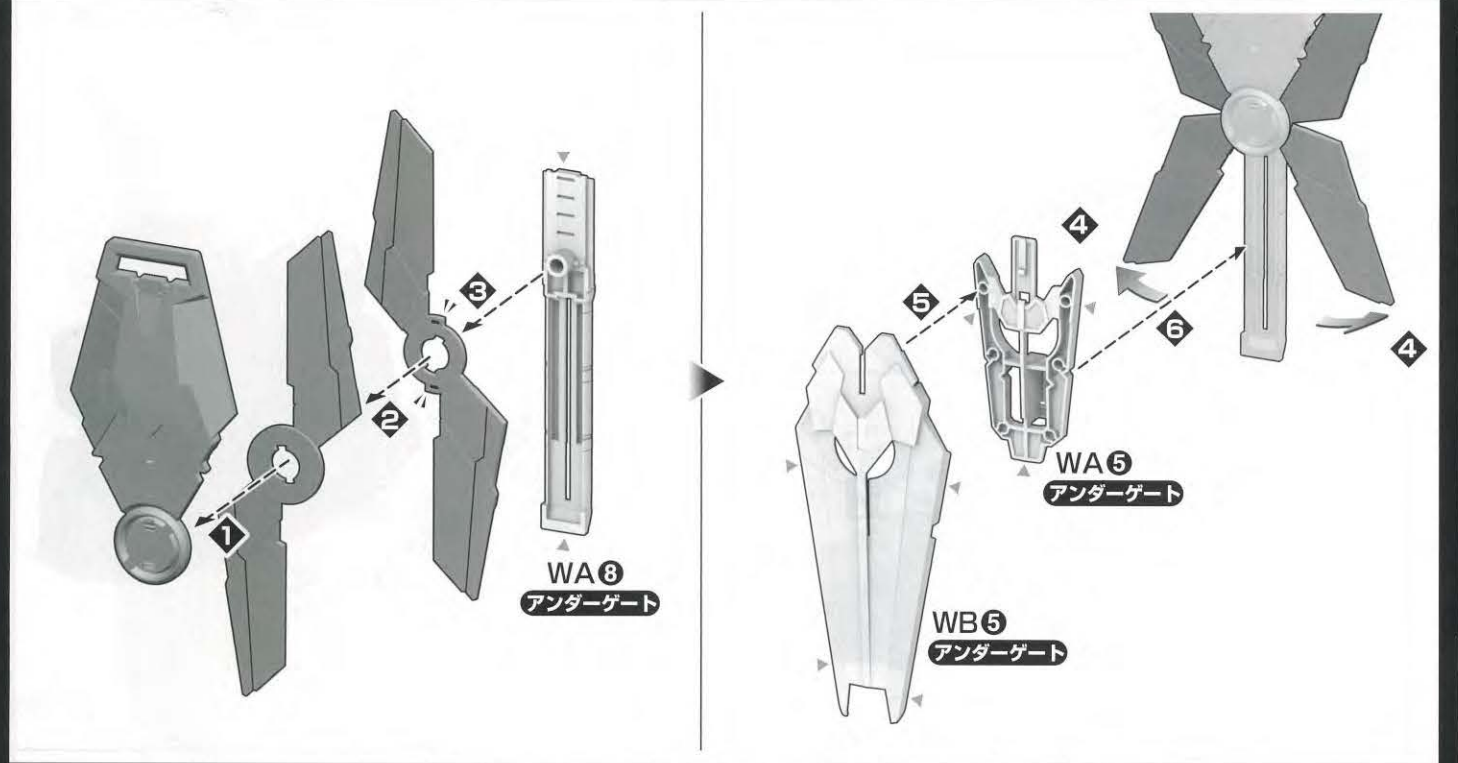
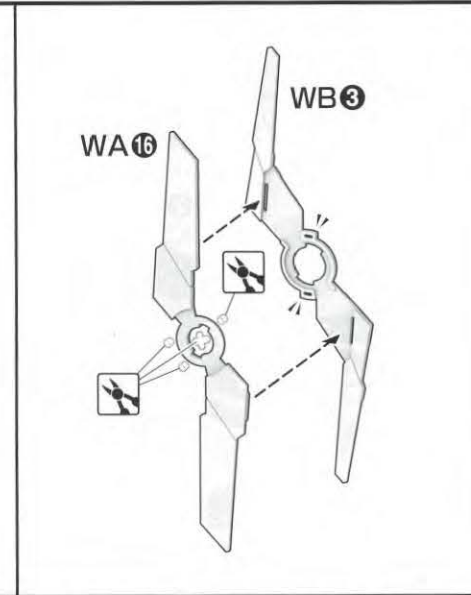
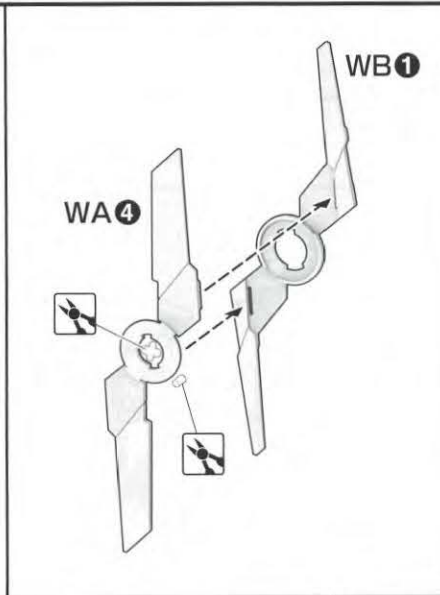
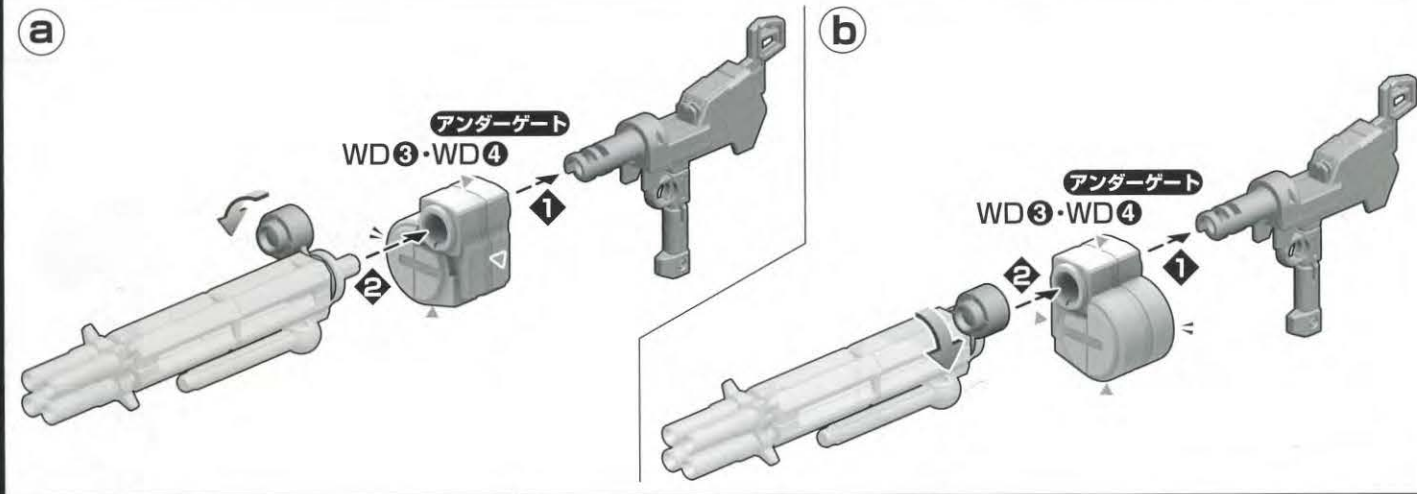
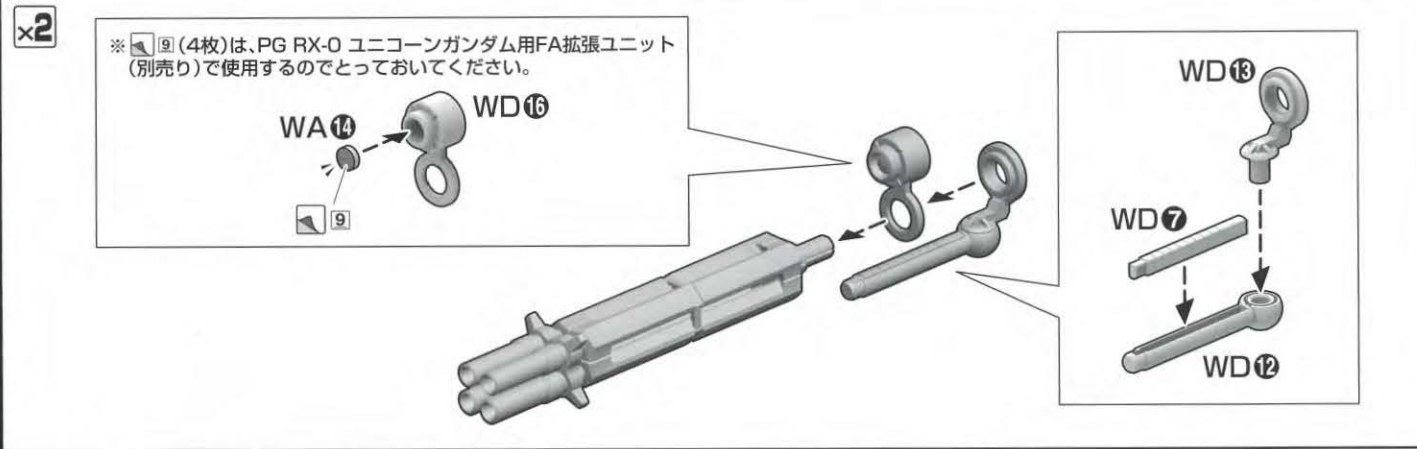
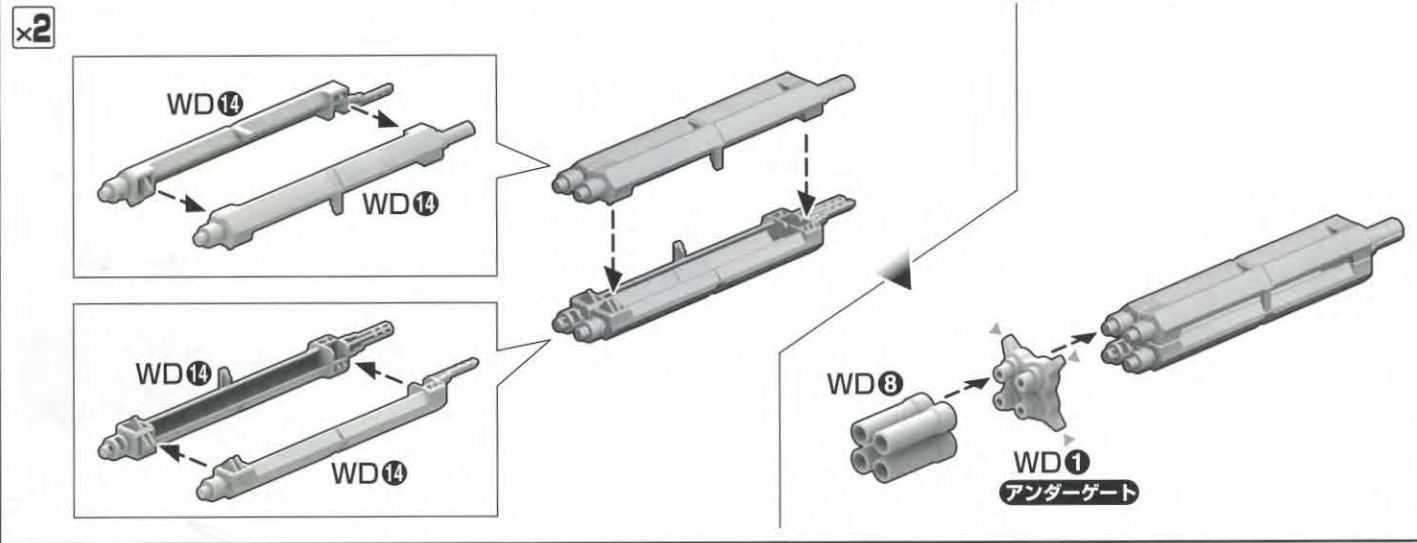


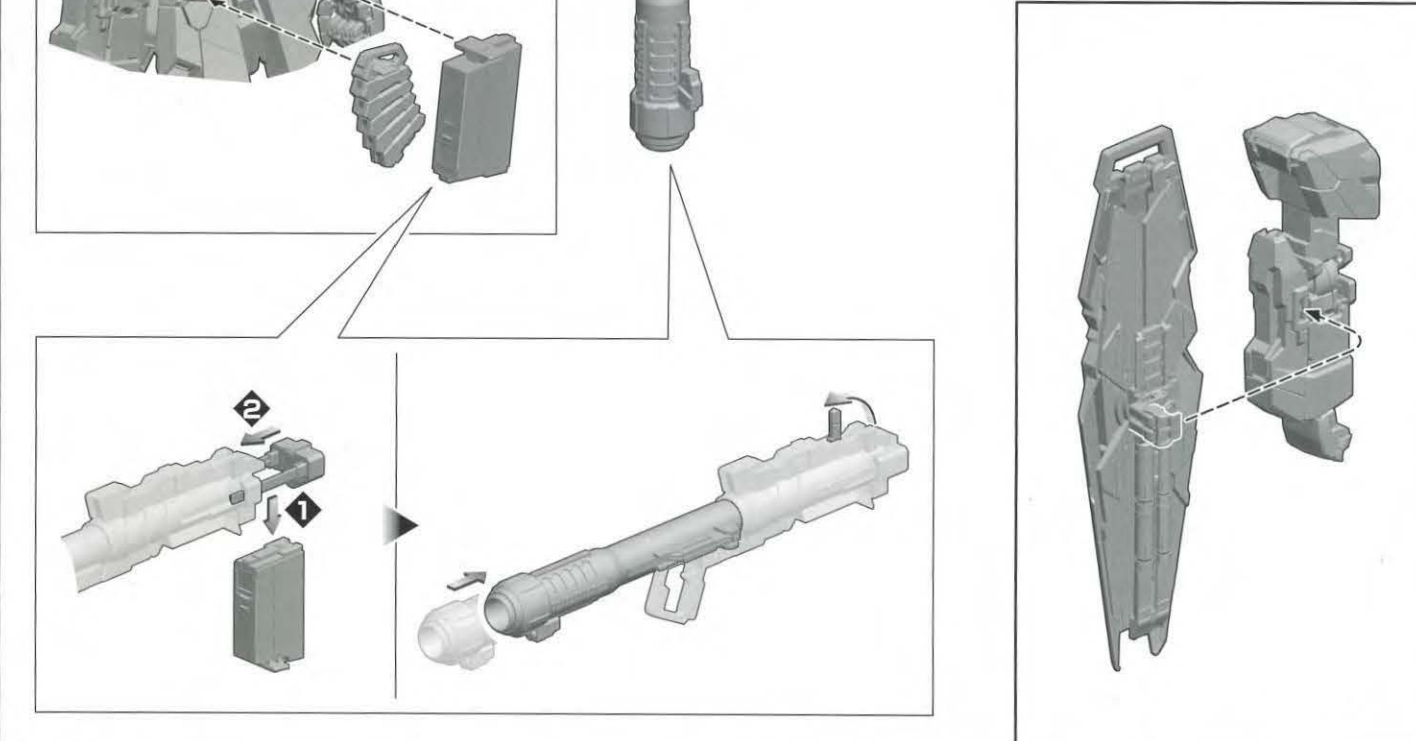
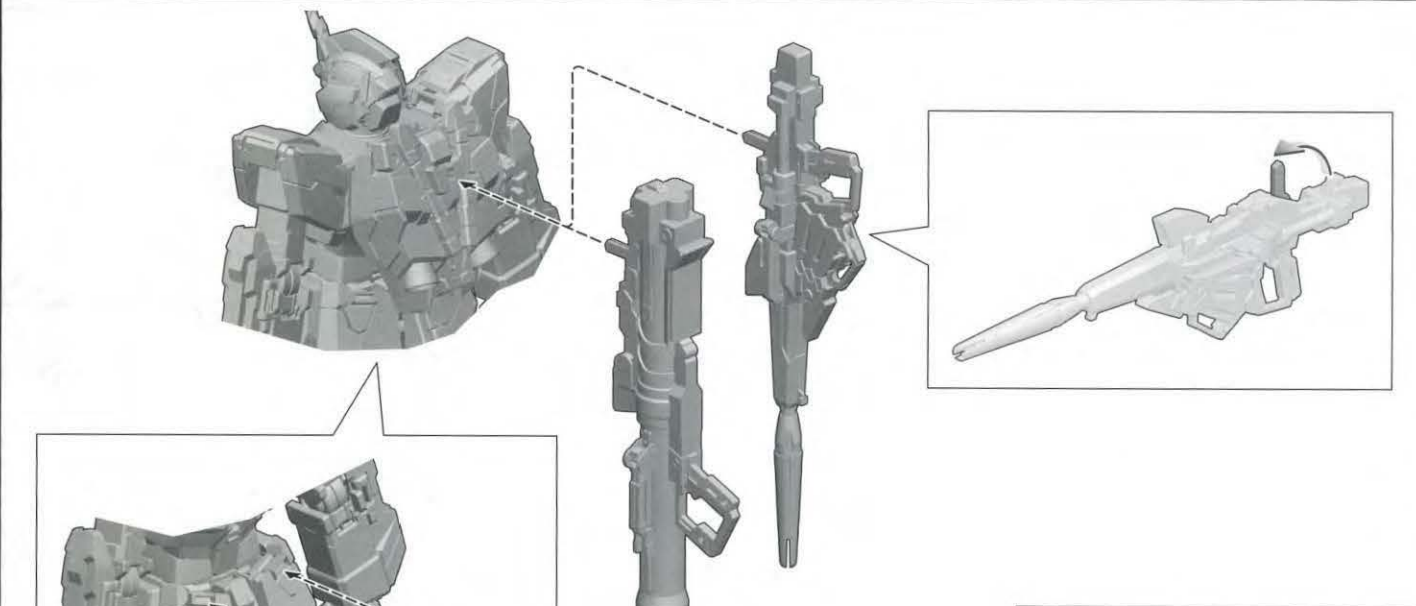
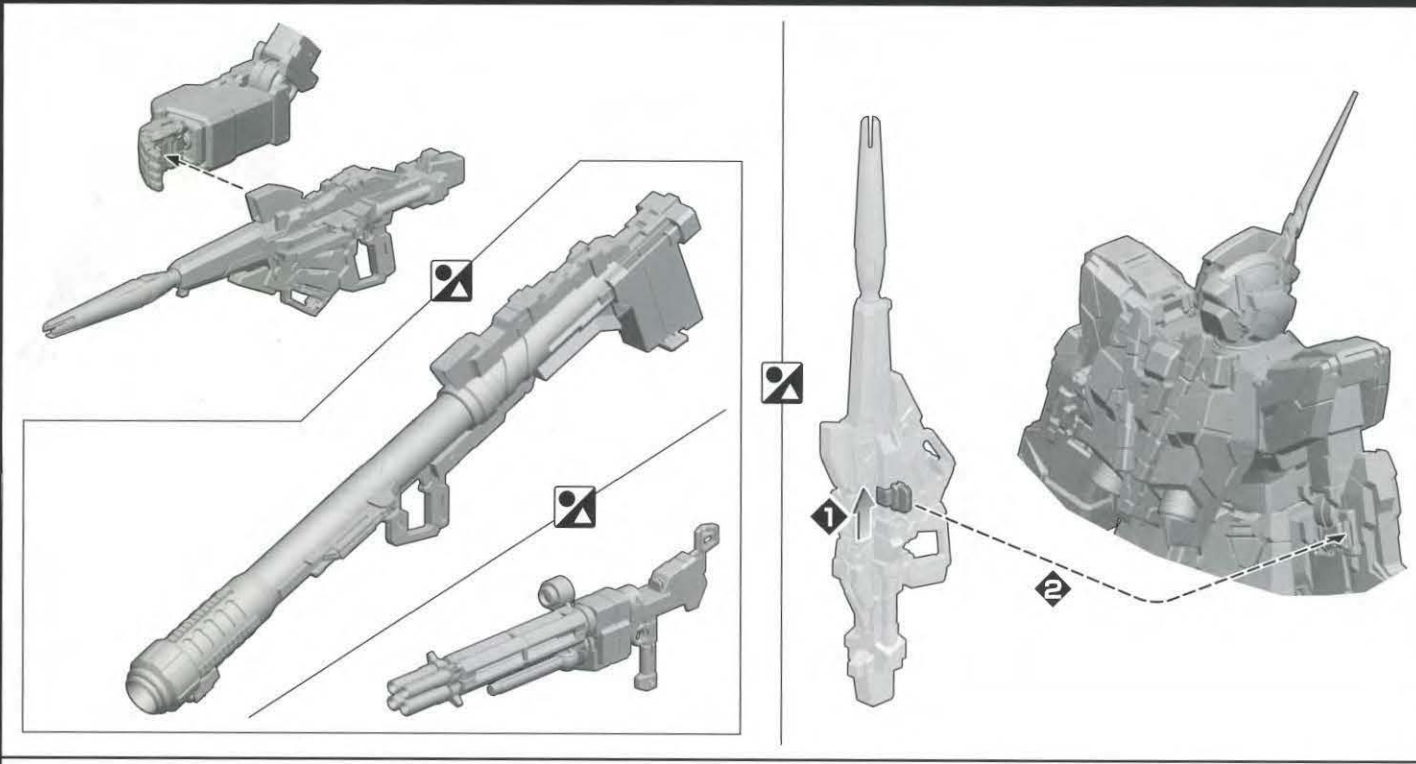
※組立図中の記号説明

! 後から組み立てる

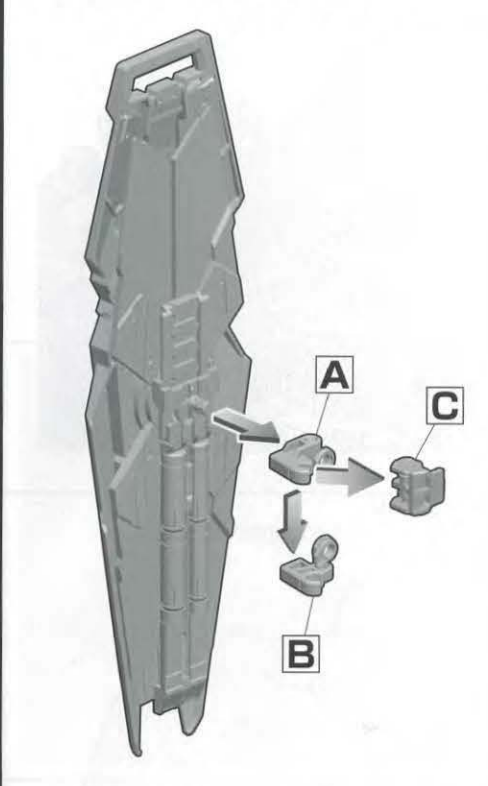
1 1 シルバーシールの番号

x2 部品を数値の個数作る

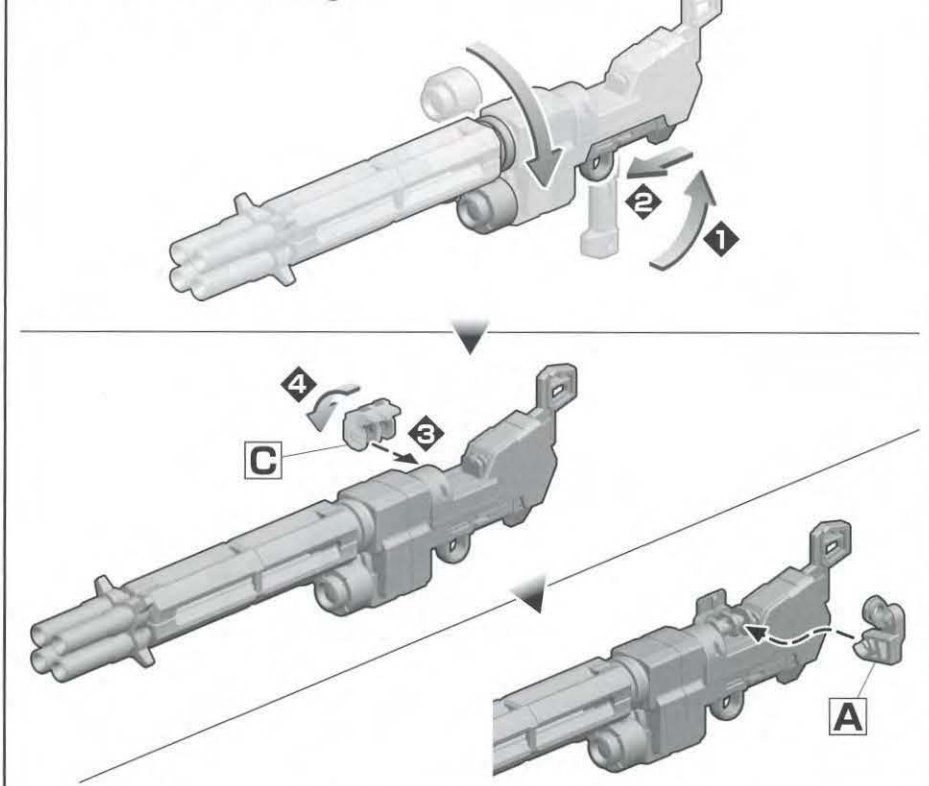




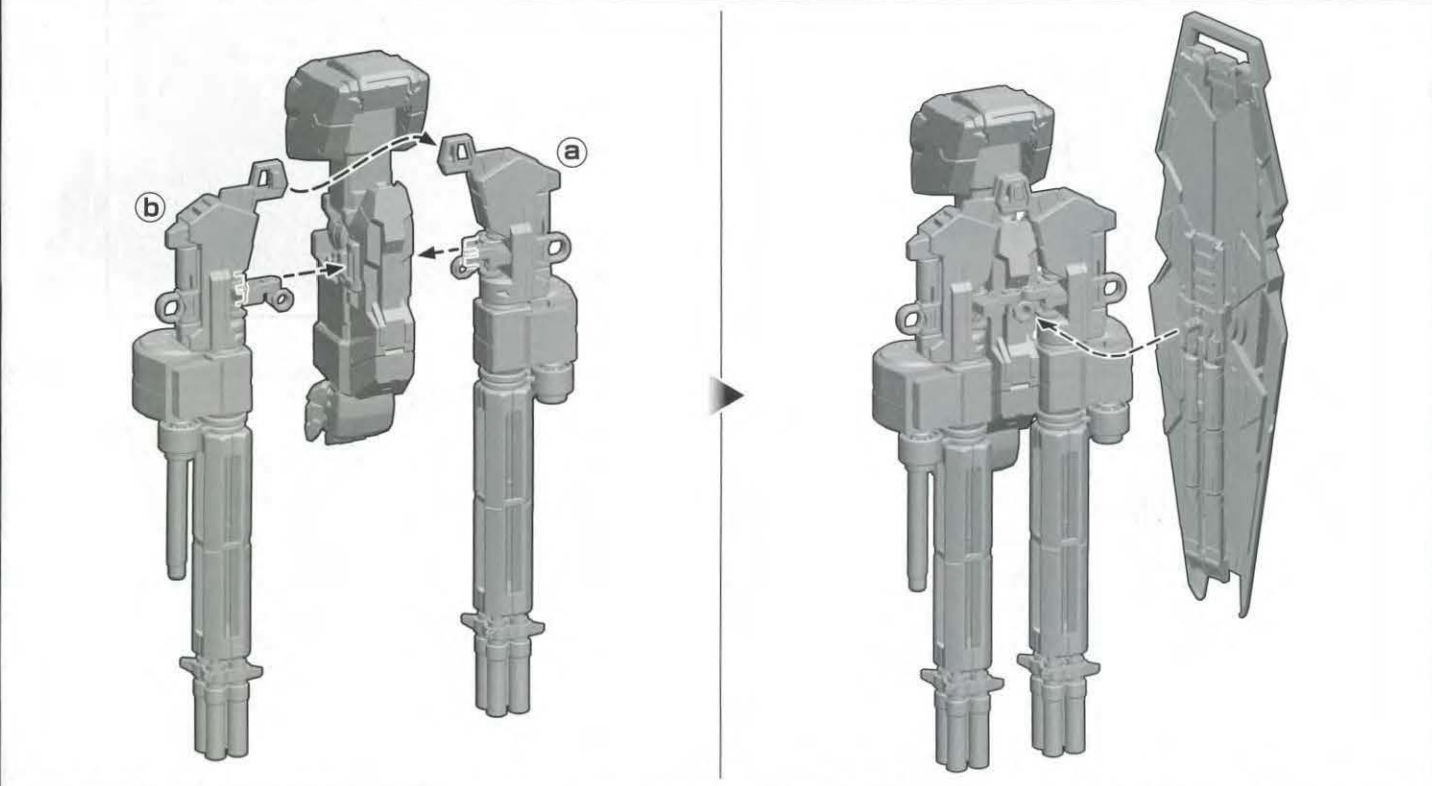
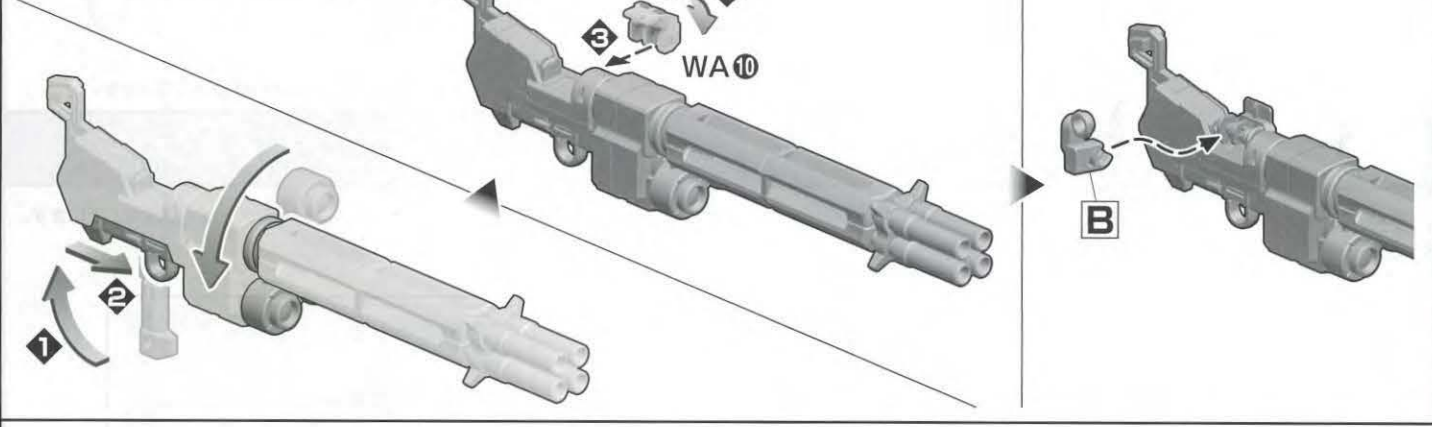
ダブルガトリングガンの装備



(ビーム・ガトリングガン①)

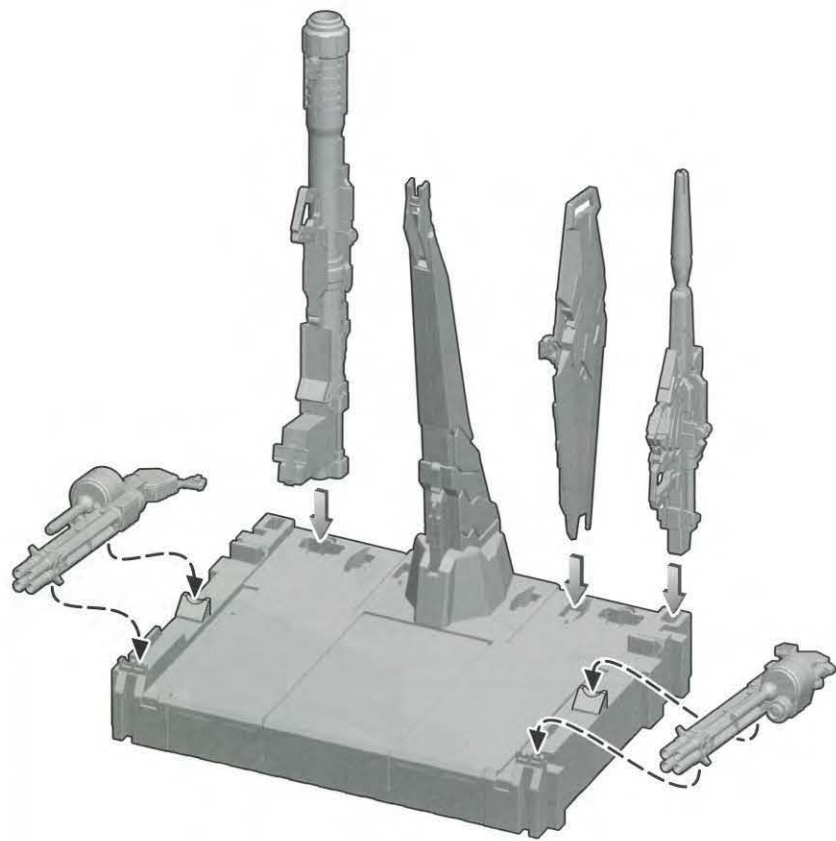


(ビーム・ガトリングガン②)



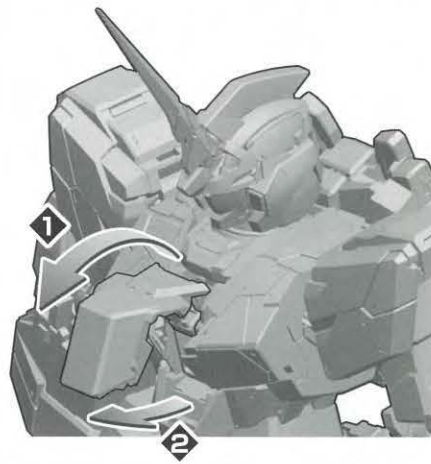
※組立図中の記号説明
どちからを選んで取りつける

※武器の装着により重くなるので、バランス良くポーズをつけてください。

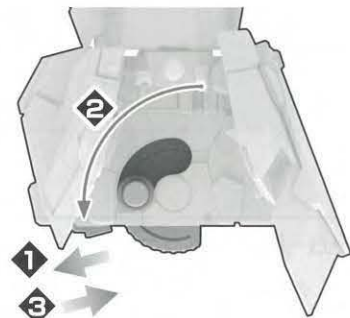


※B⑦は好きな所に飾ってください。

＜コックピットハッチの開けかた＞

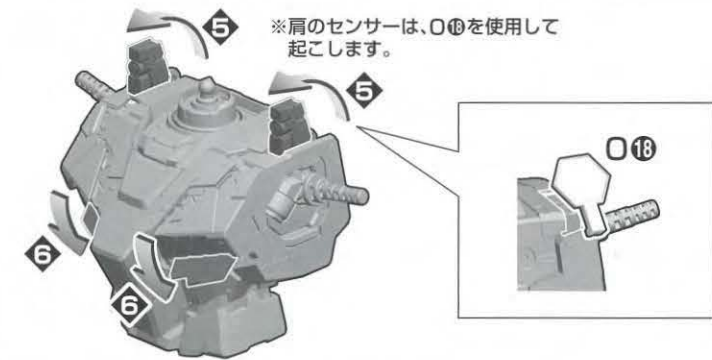


※脚の可動範囲が広がります。



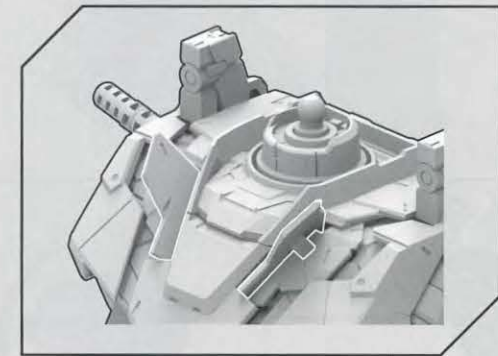
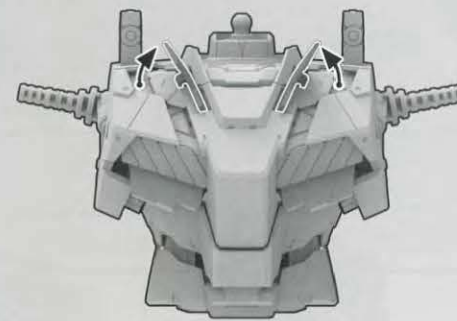
※イラストは一部省略しています。

※イラストは一部省略しています。



※肩のセンサーは、O⑧を使用して起こします。

＜アンチェインド＞

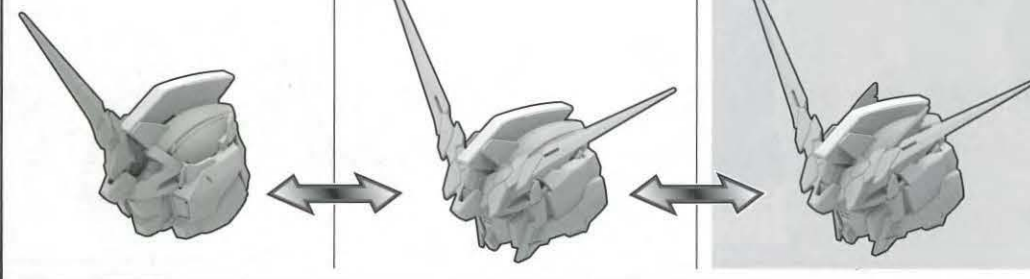


【頭部】

ユニコーンモード

デストロイモード

アンチェインド



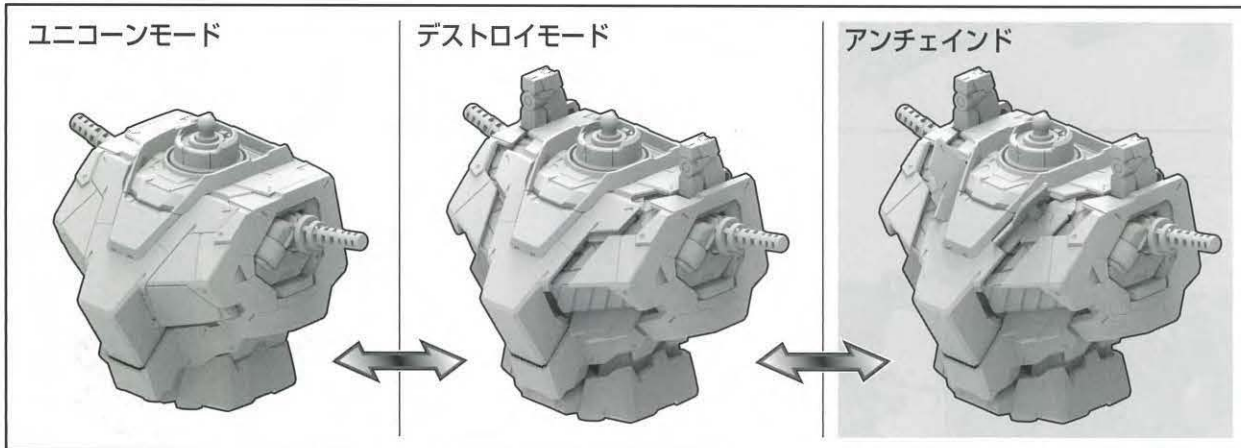
※イラストは一部省略しています。

【胸部】

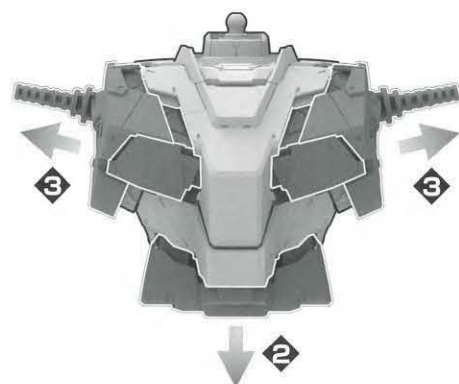
ユニコーンモード

デストロイモード

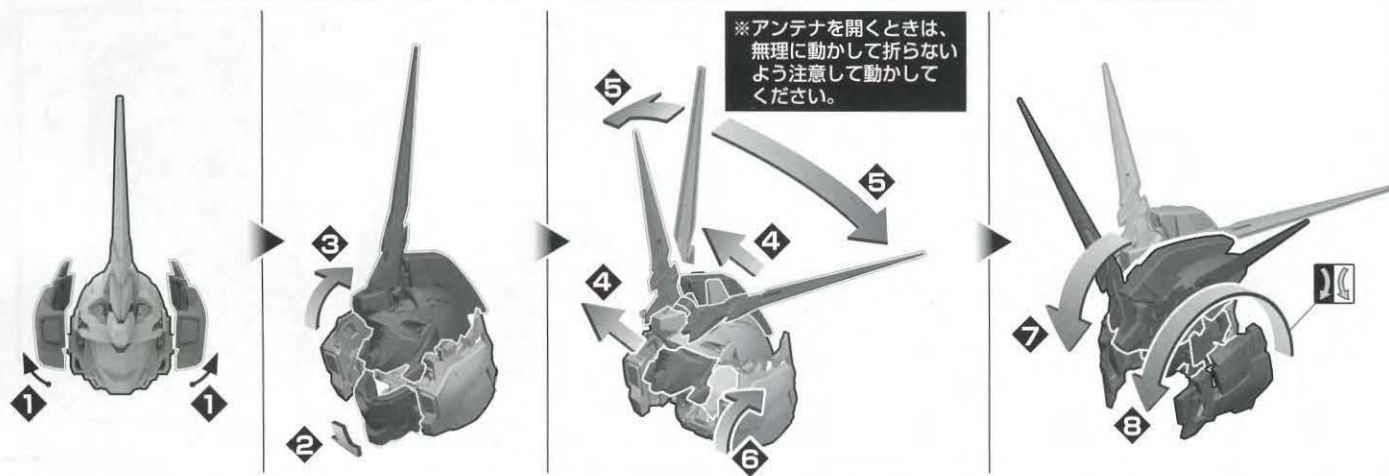
アンチェインド



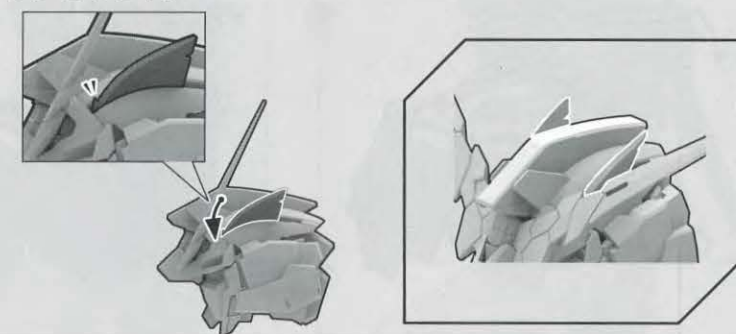
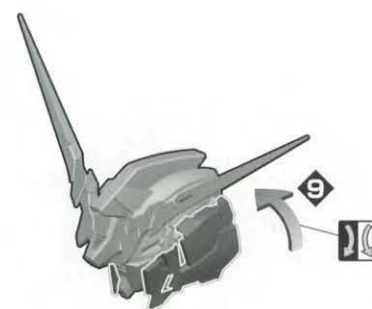
※バックパックを外しておきます。



※アンテナを開くときは、無理に動かして折らないよう注意して動かしてください。



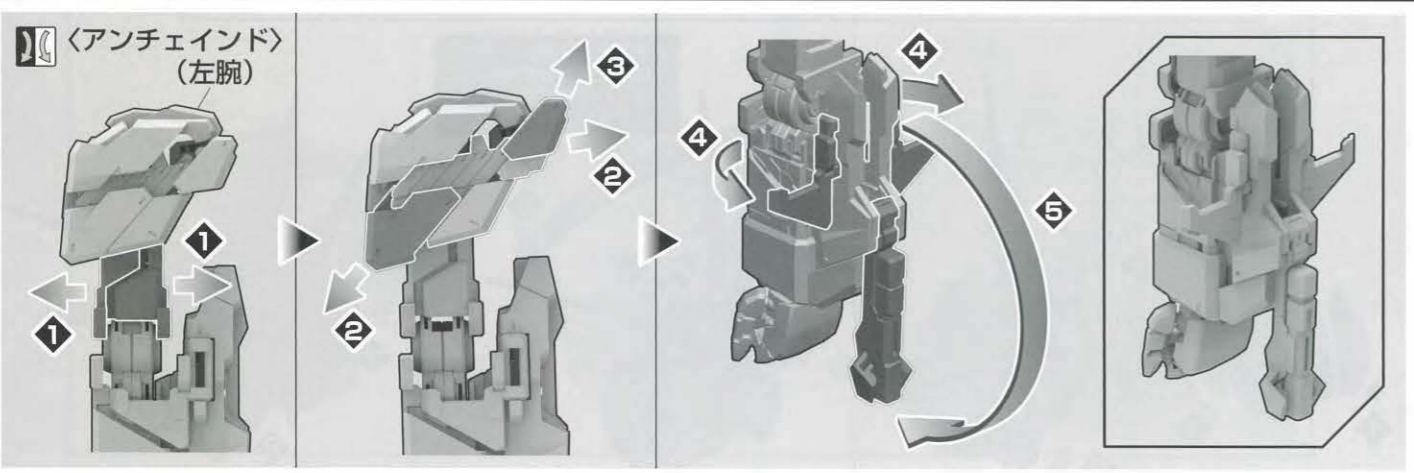
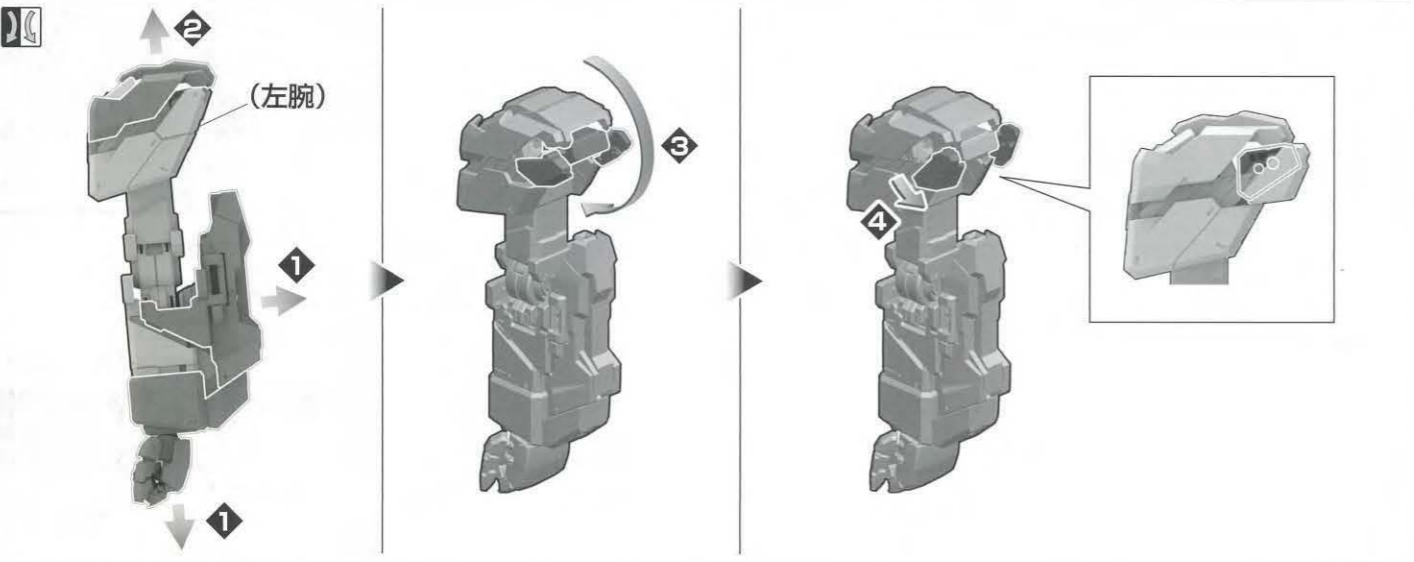
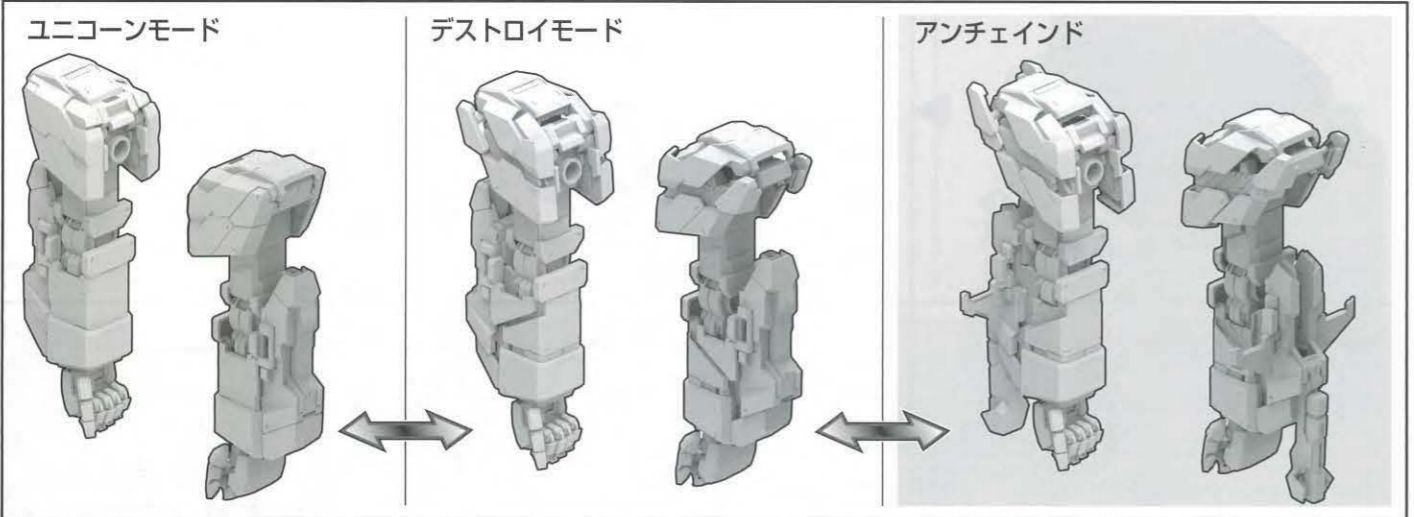
＜アンチェインド＞



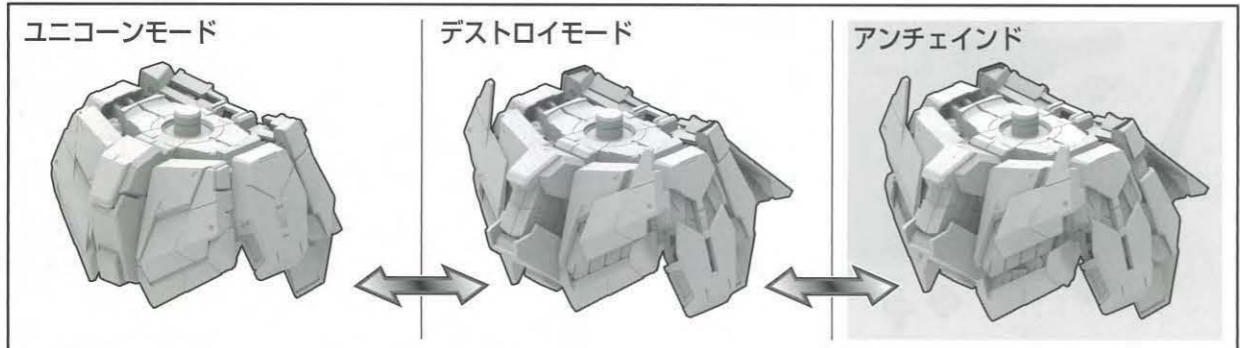
※組立図中の記号説明 両側を同じように動かす

【腕部】

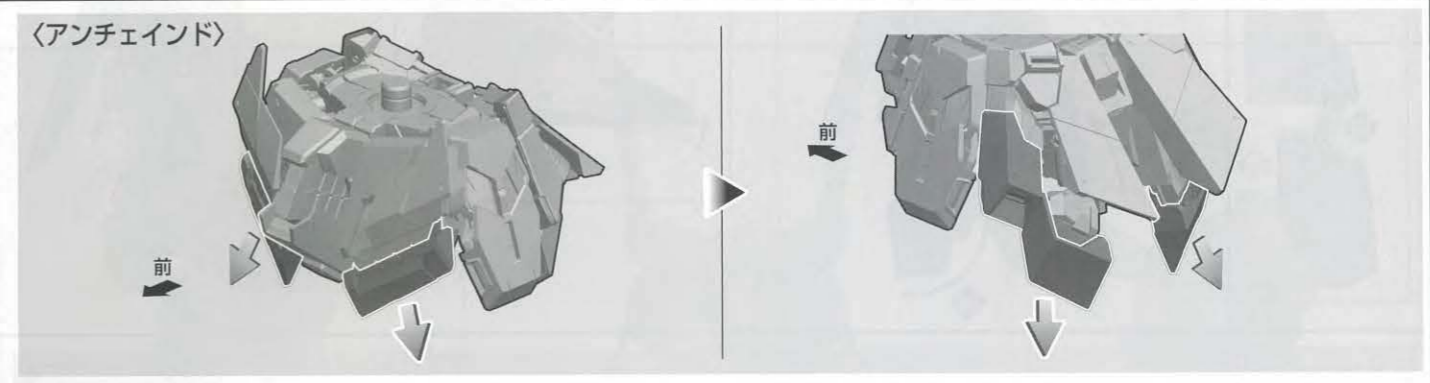
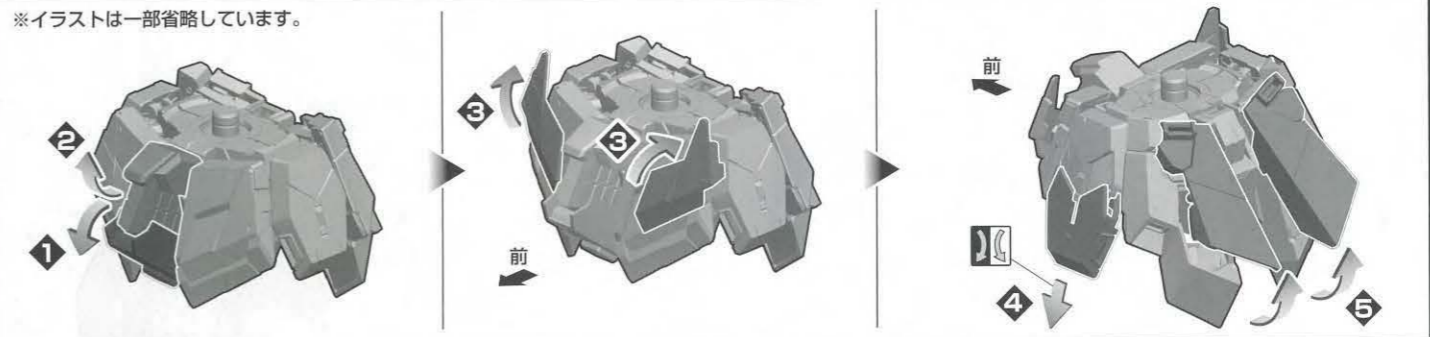
※イラストは一部省略しています。



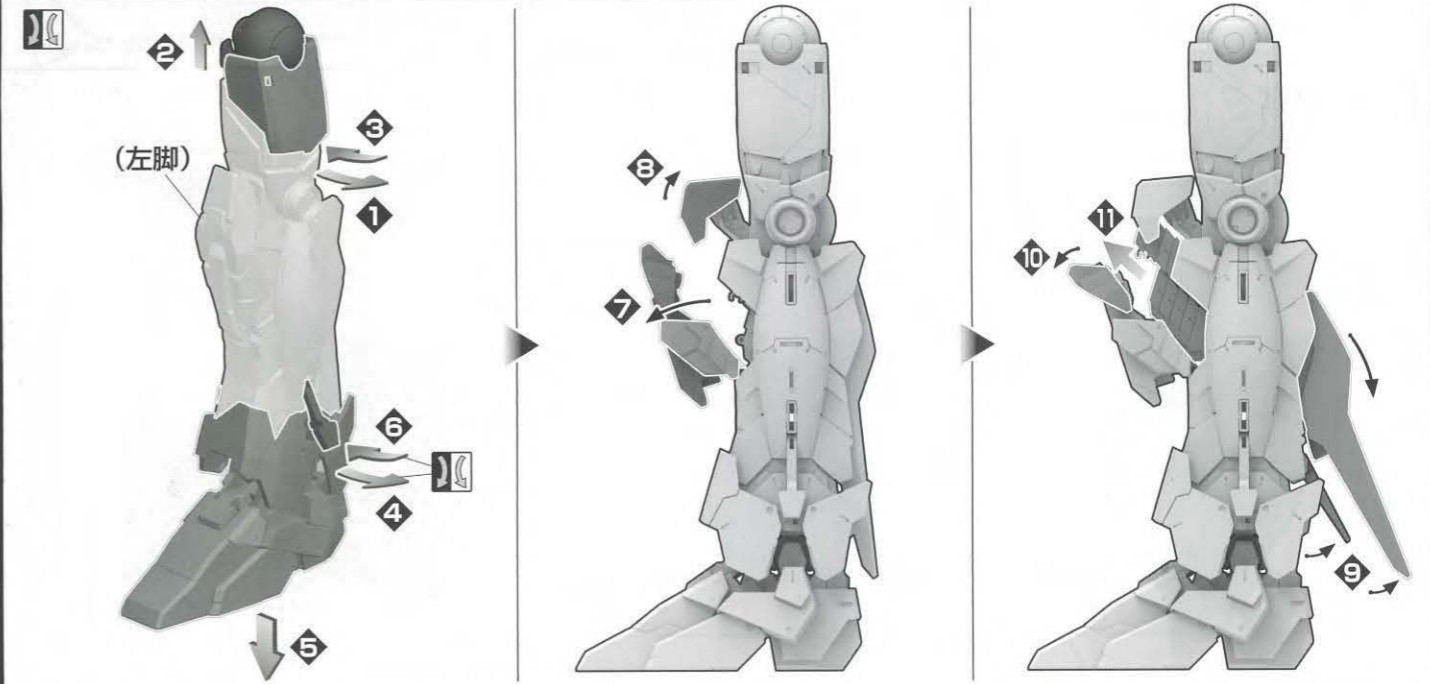
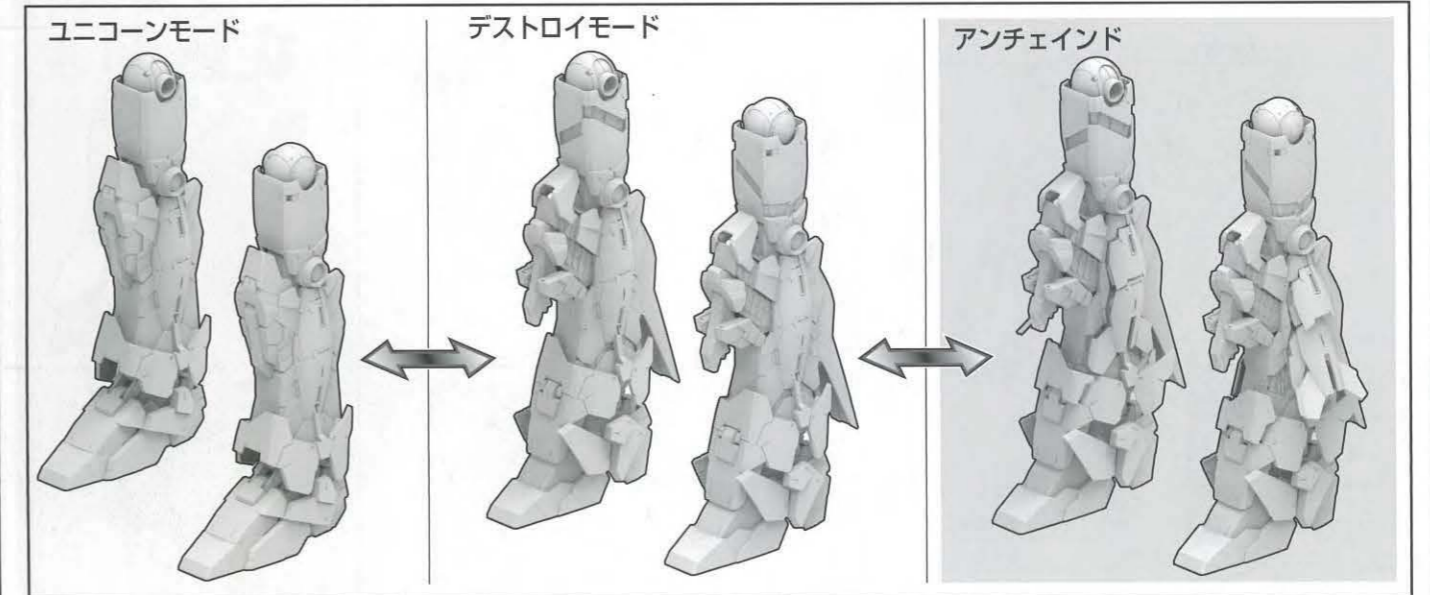
【腰部】



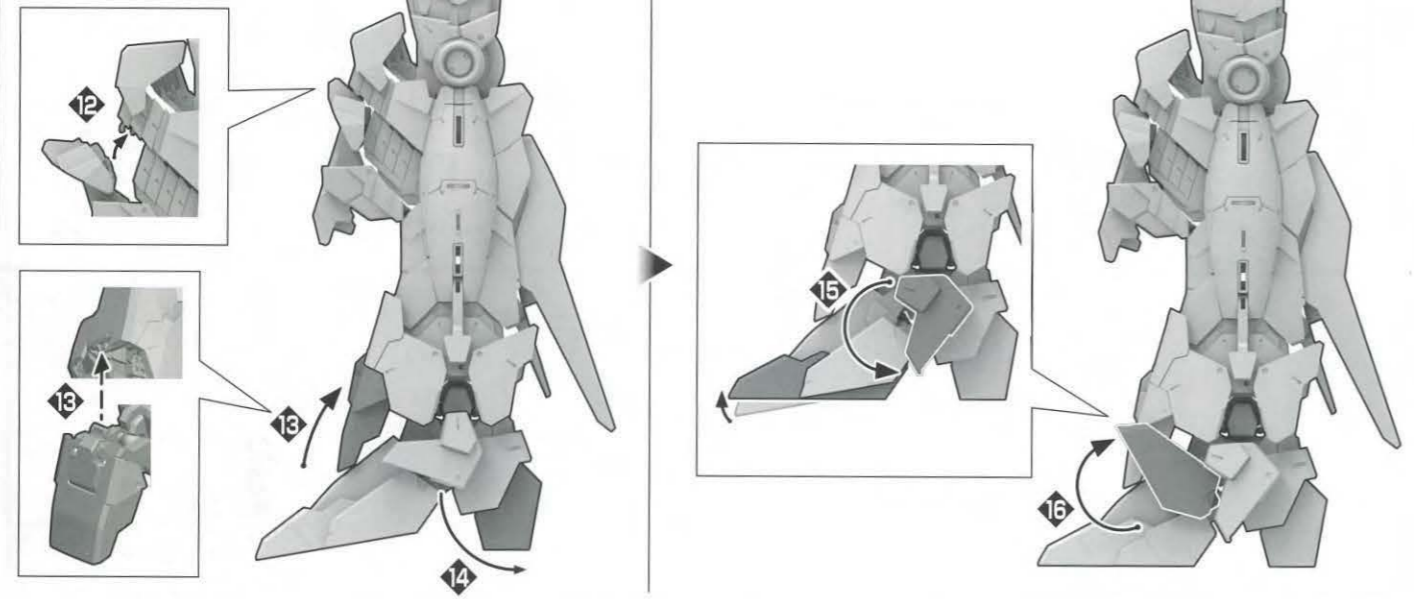
※イラストは一部省略しています。



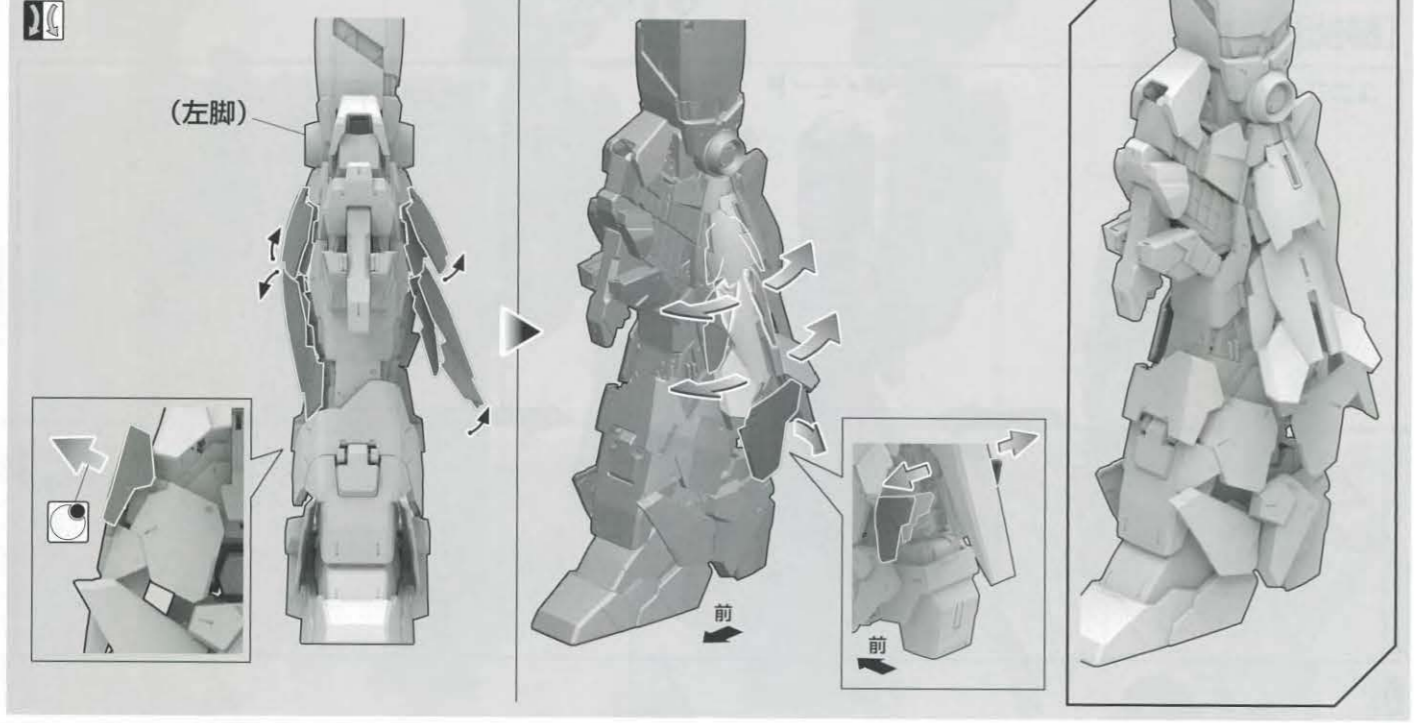
【脚部】



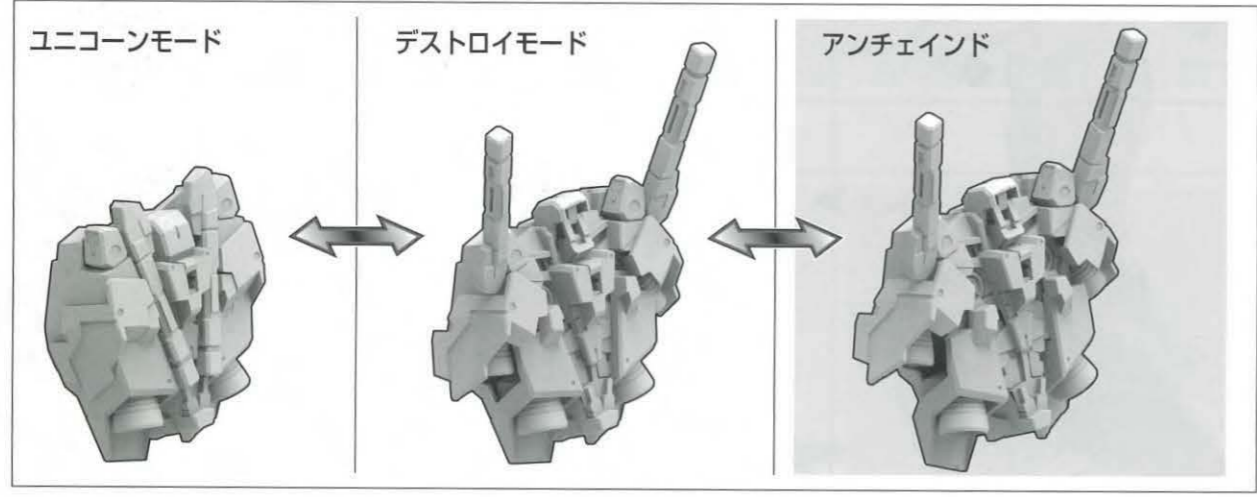
※イラストは一部省略しています。



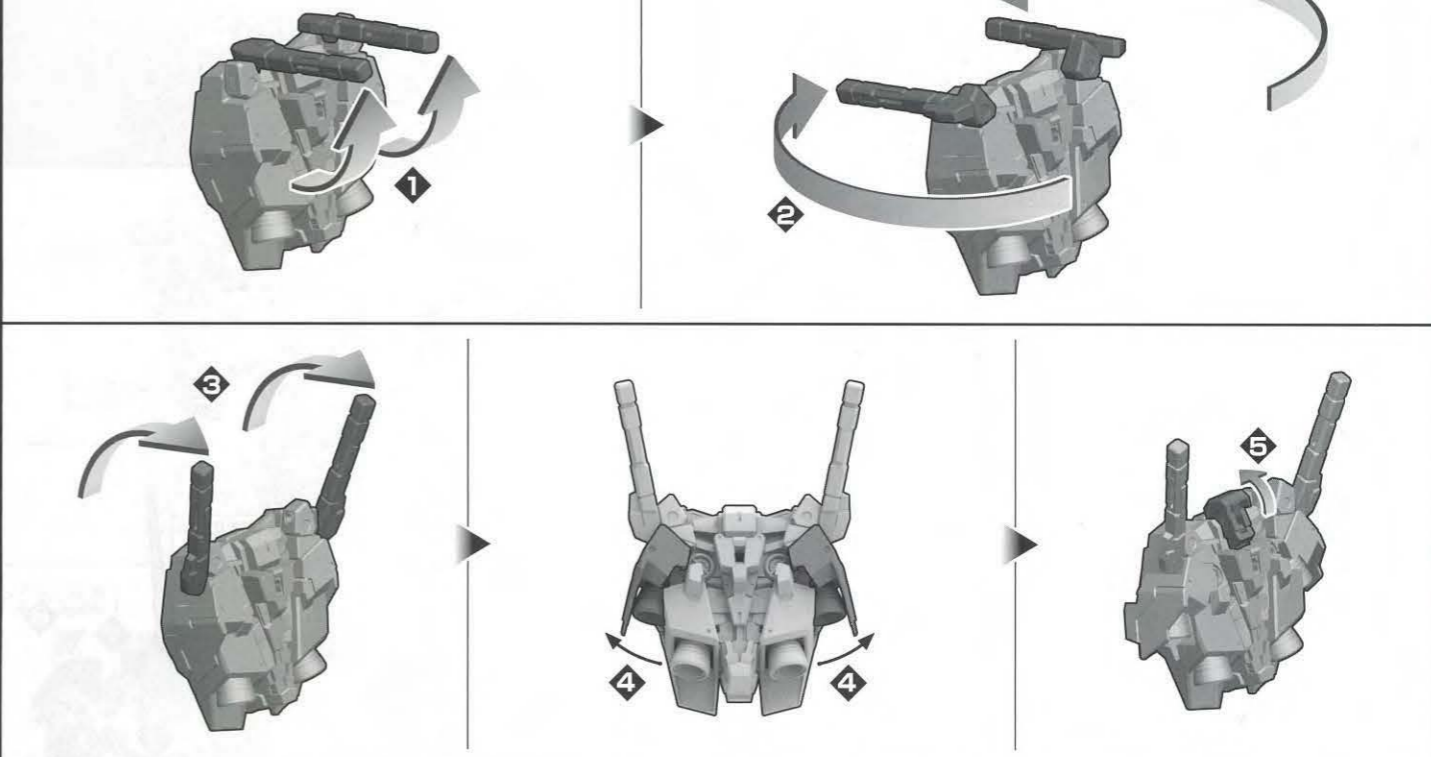
〈アンチェインド〉



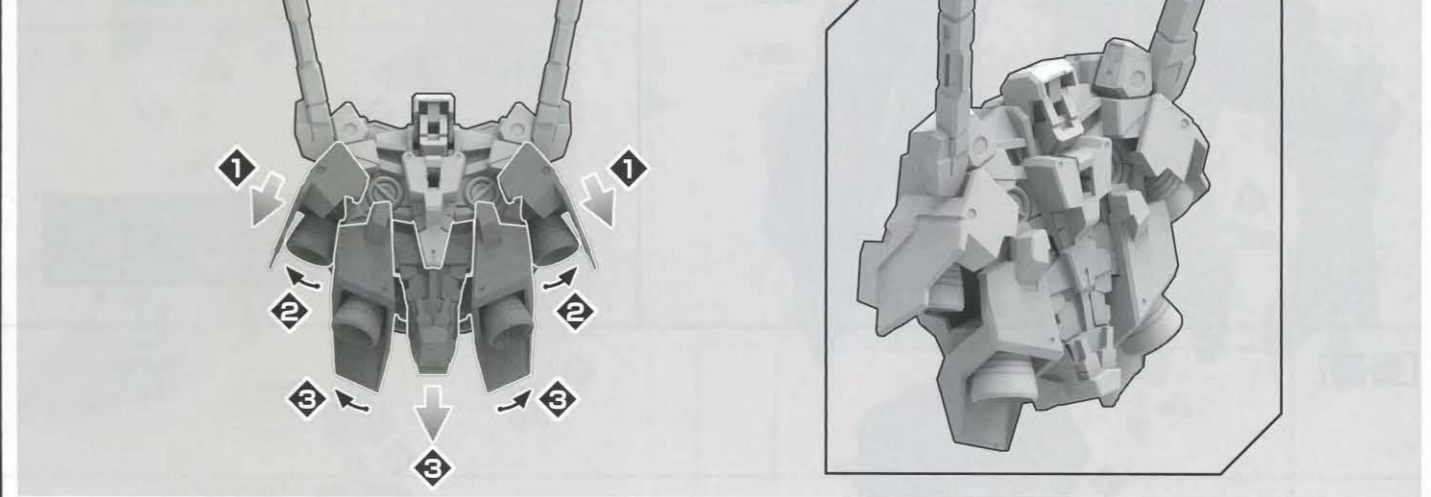
[バックパック]



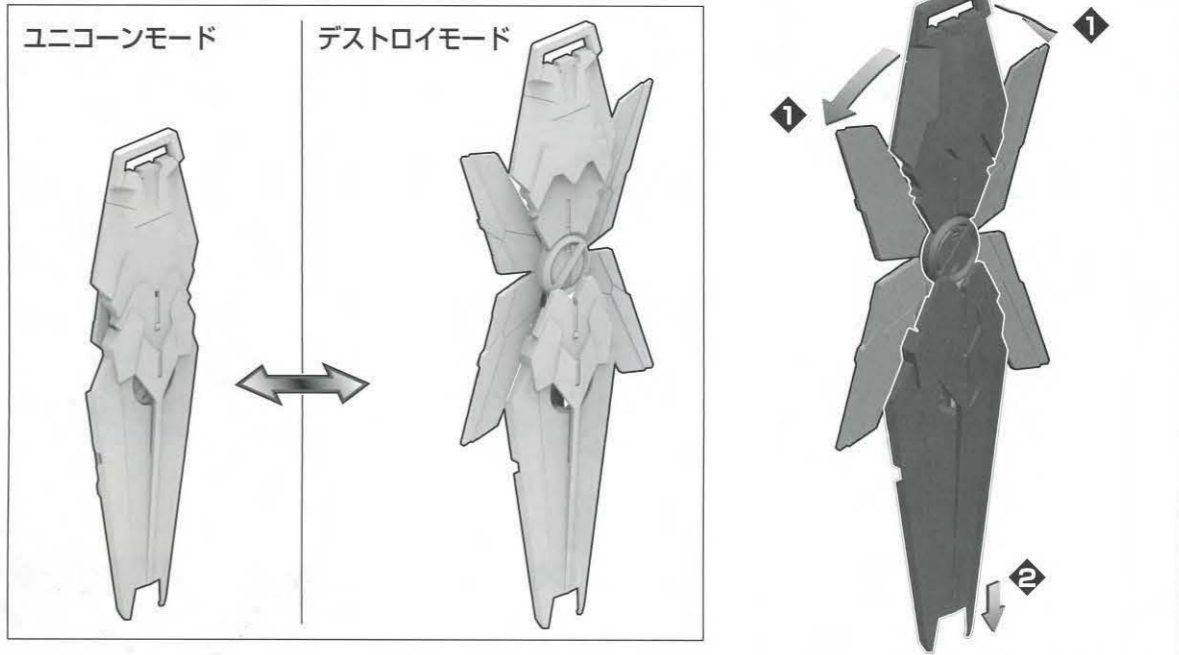
※バックパックを外しておきます。



〈アンチェインド〉

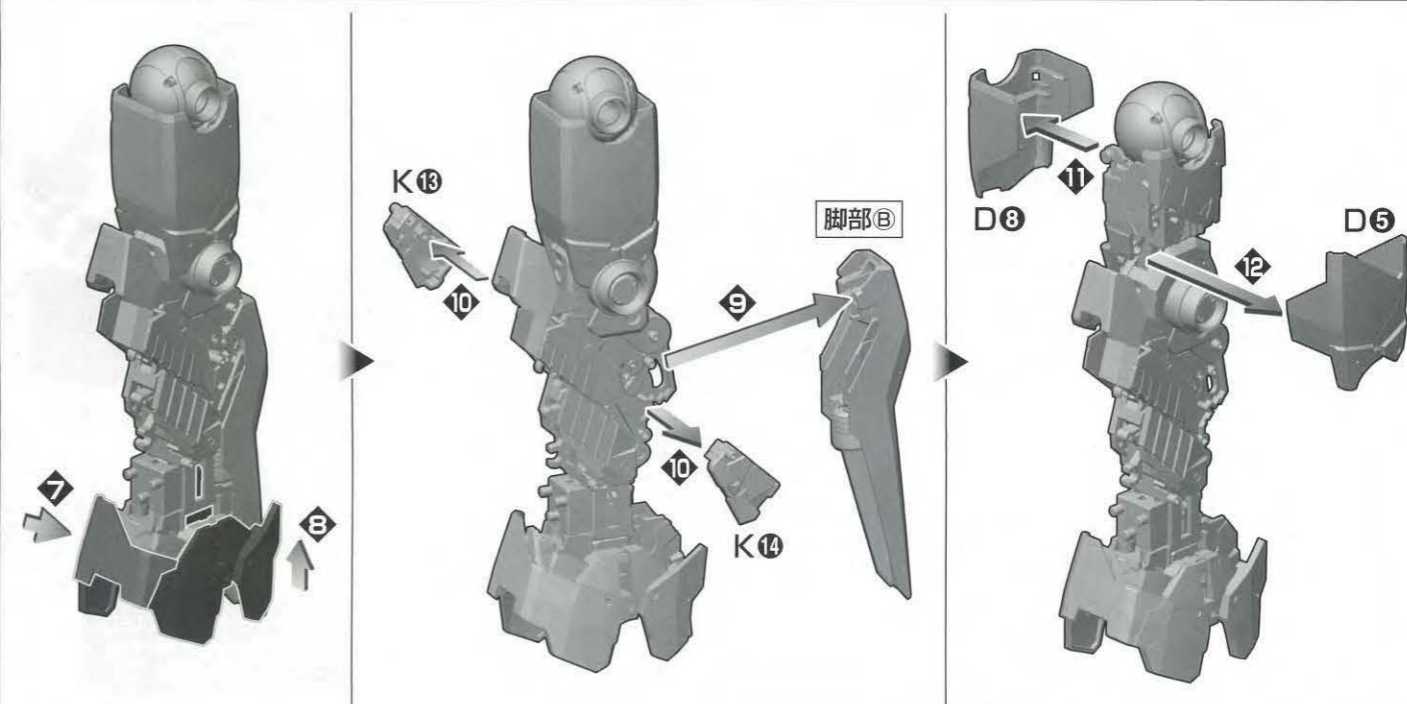
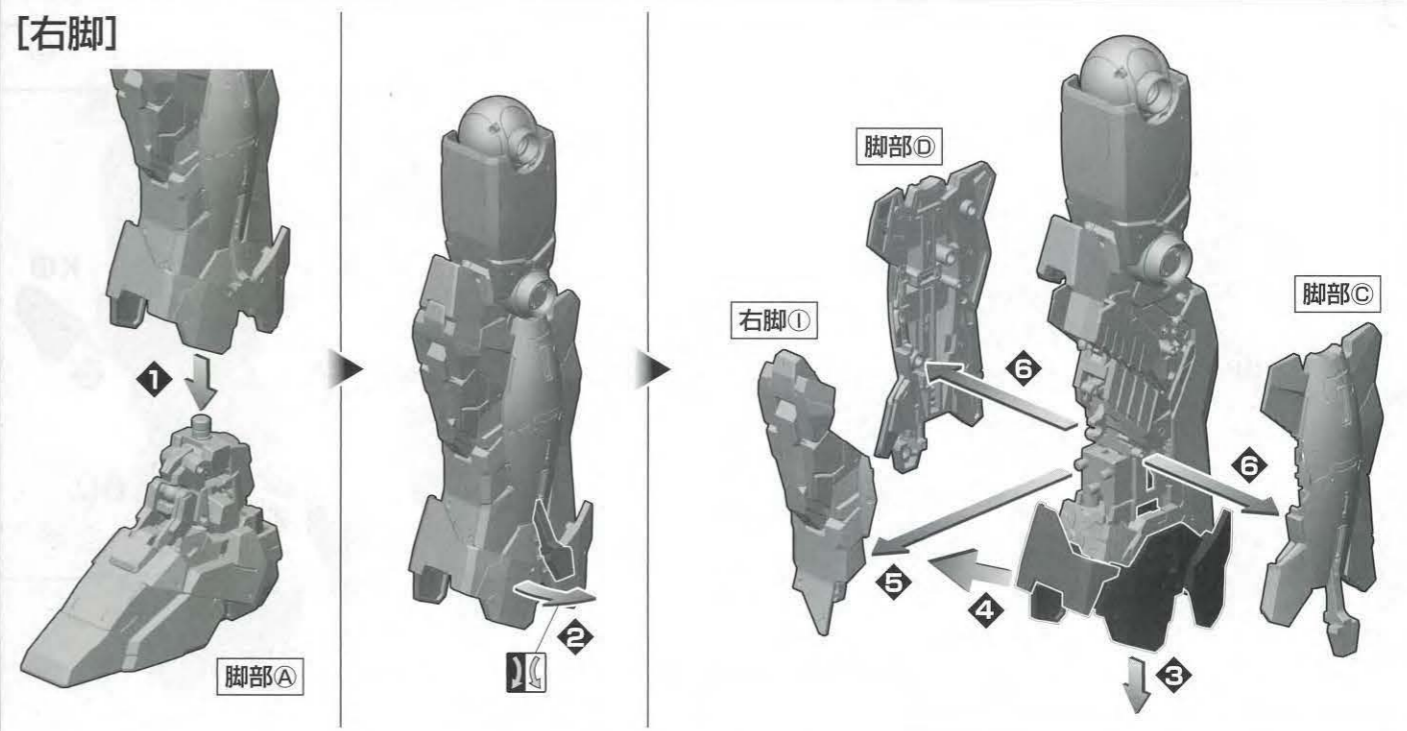
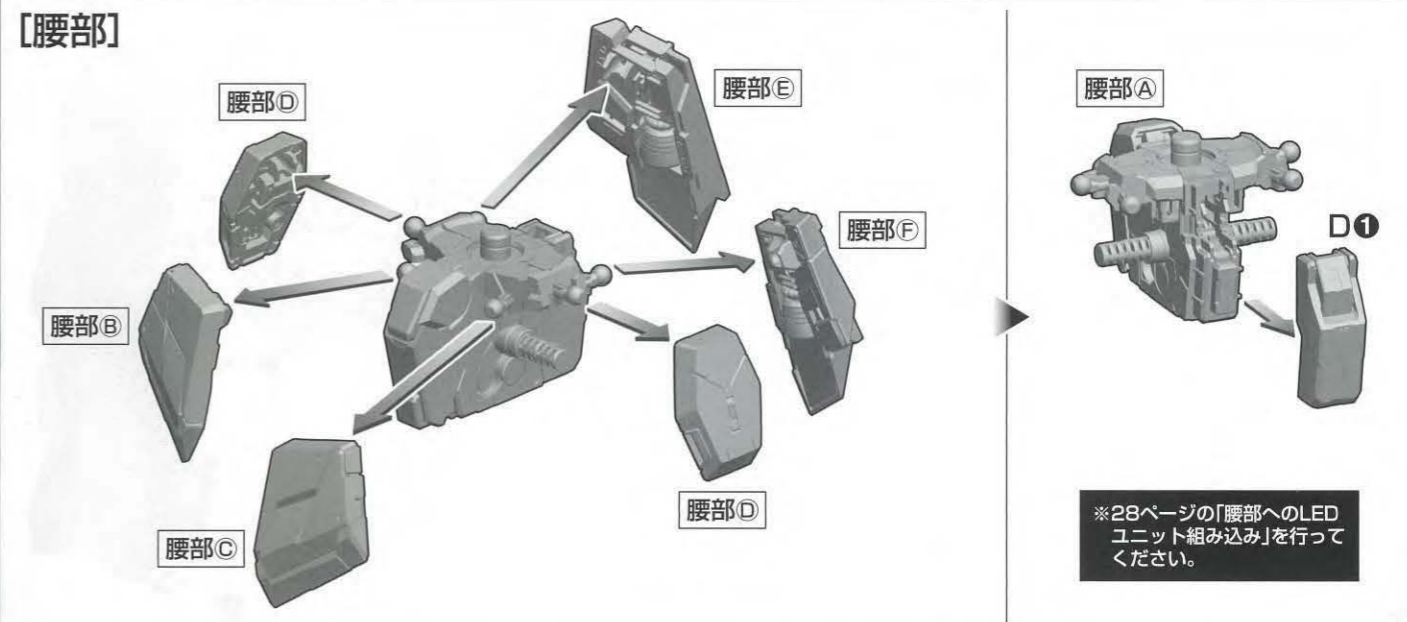
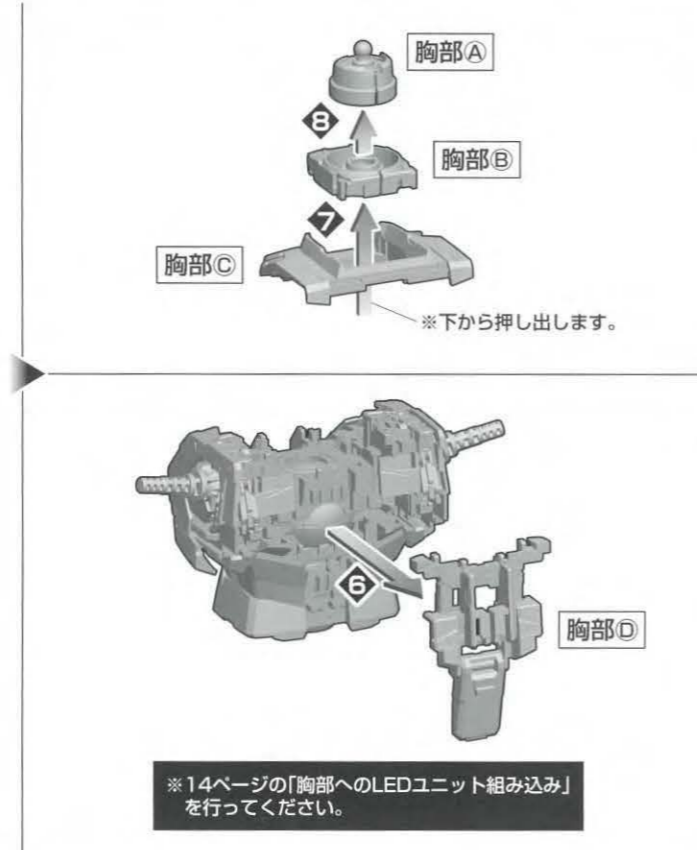
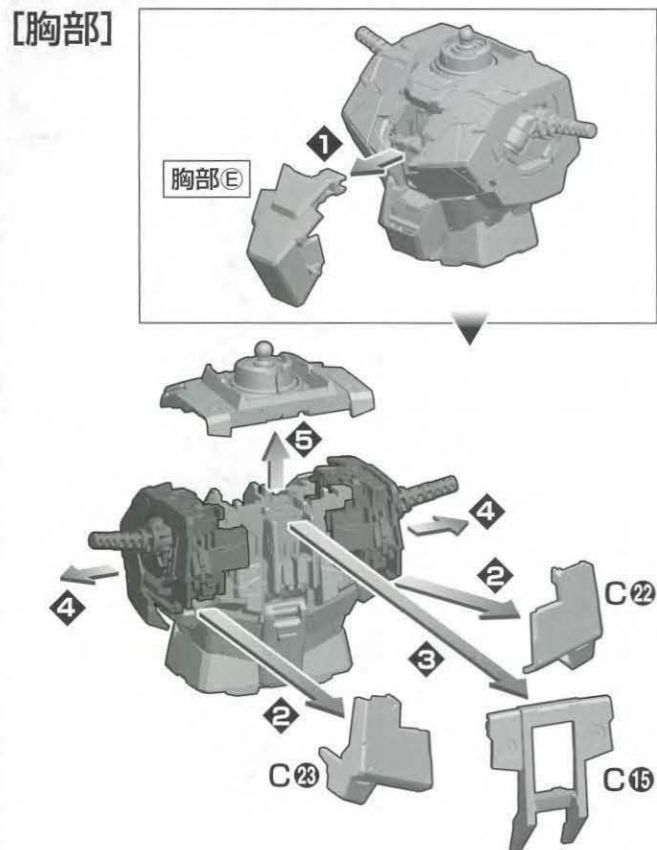
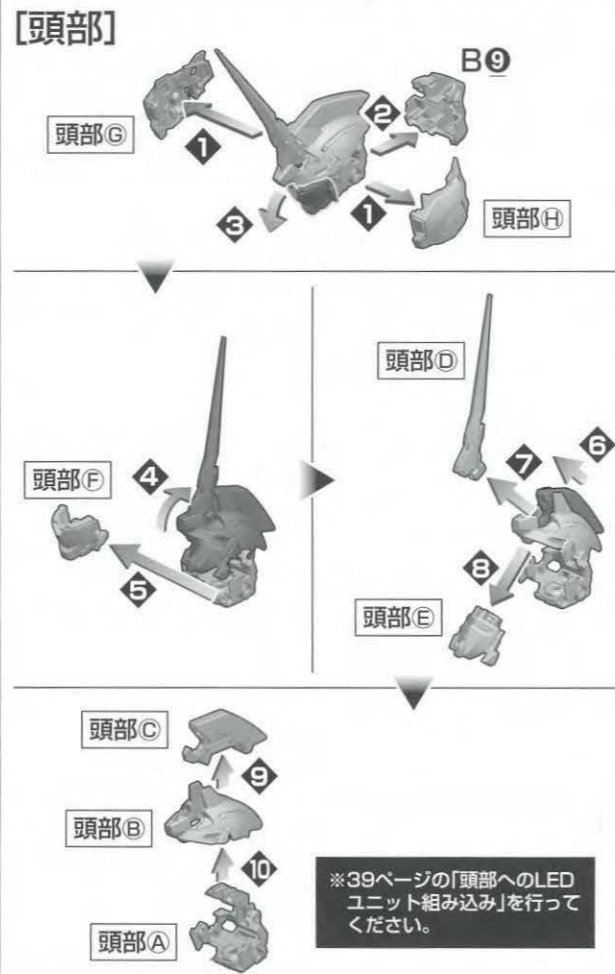
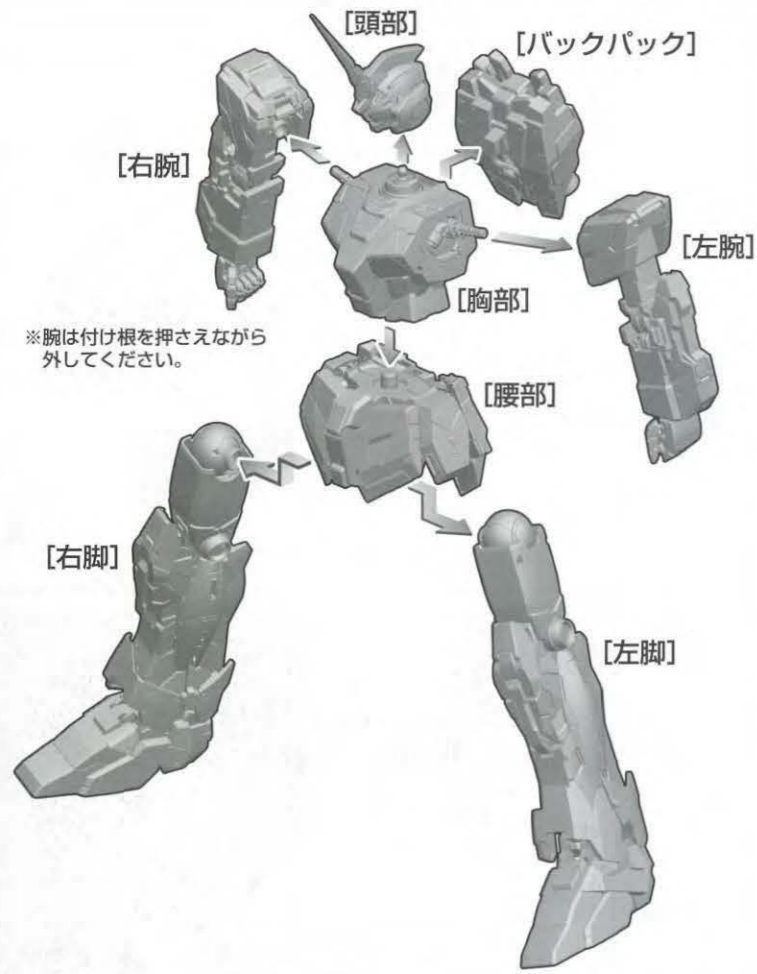


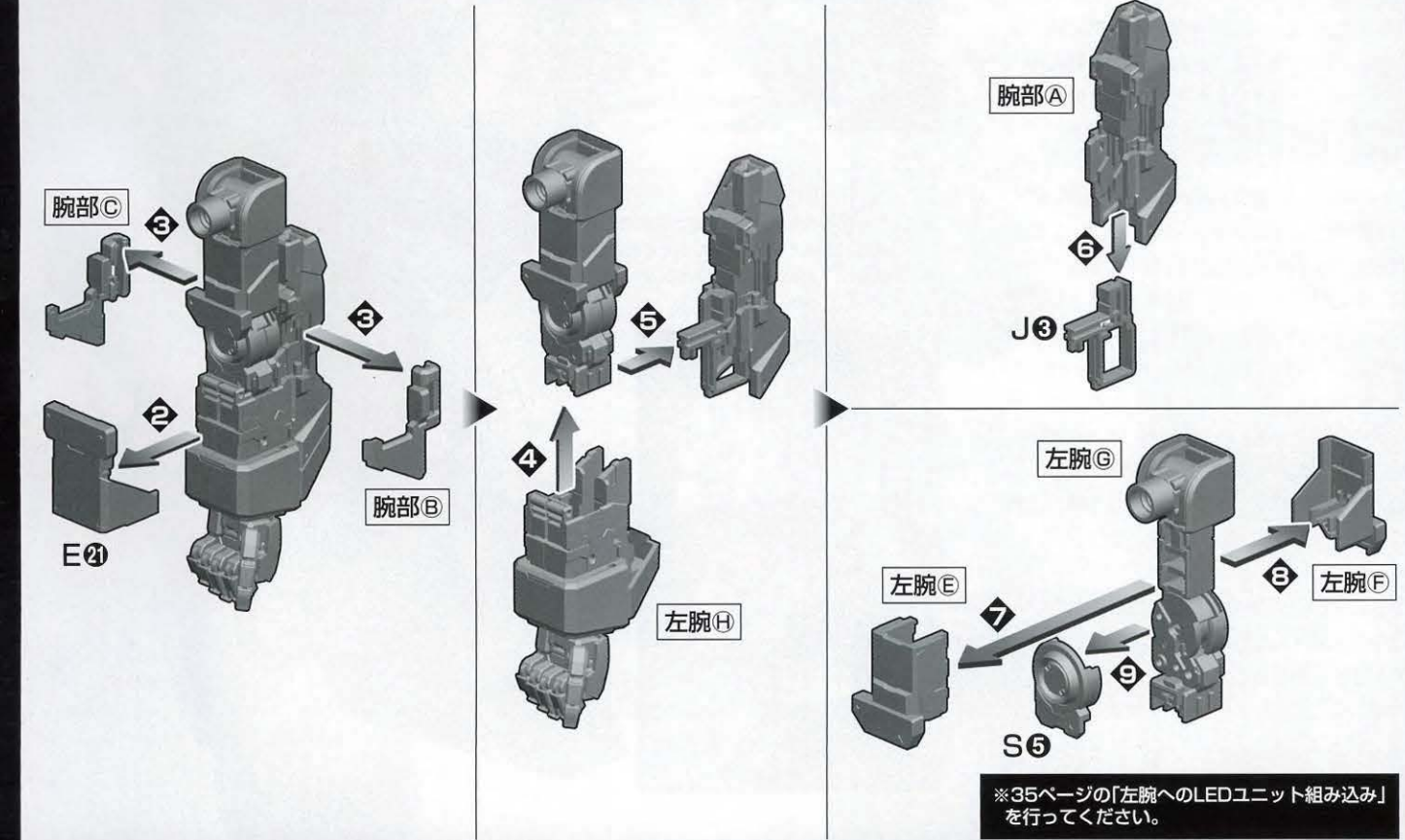
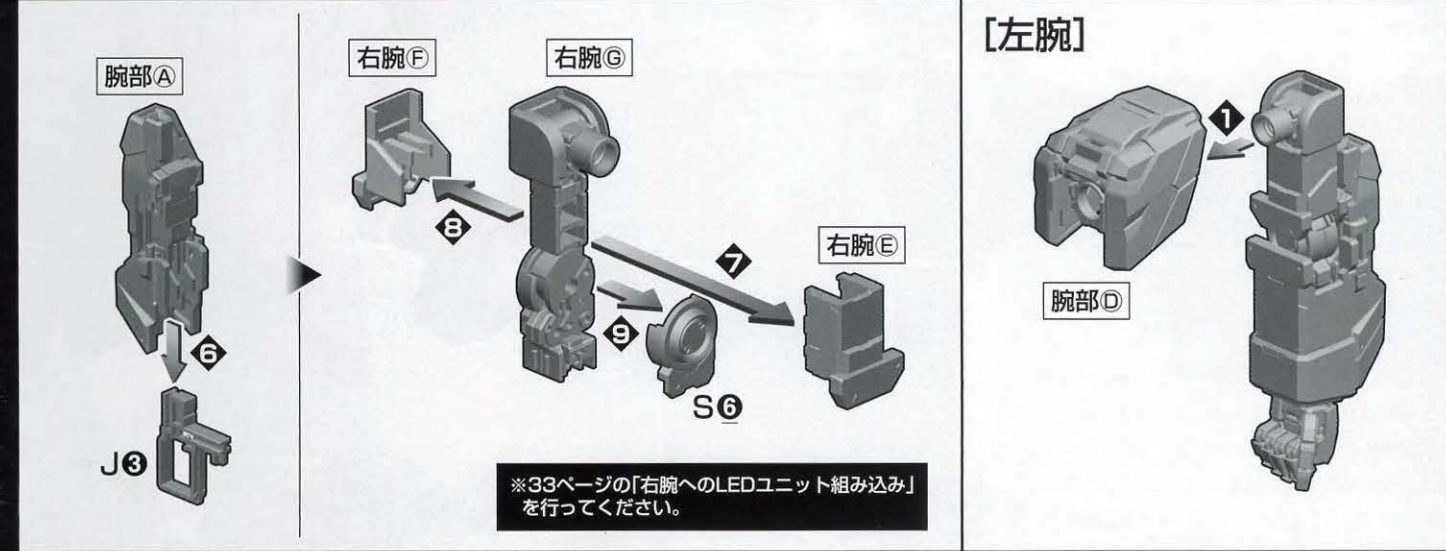
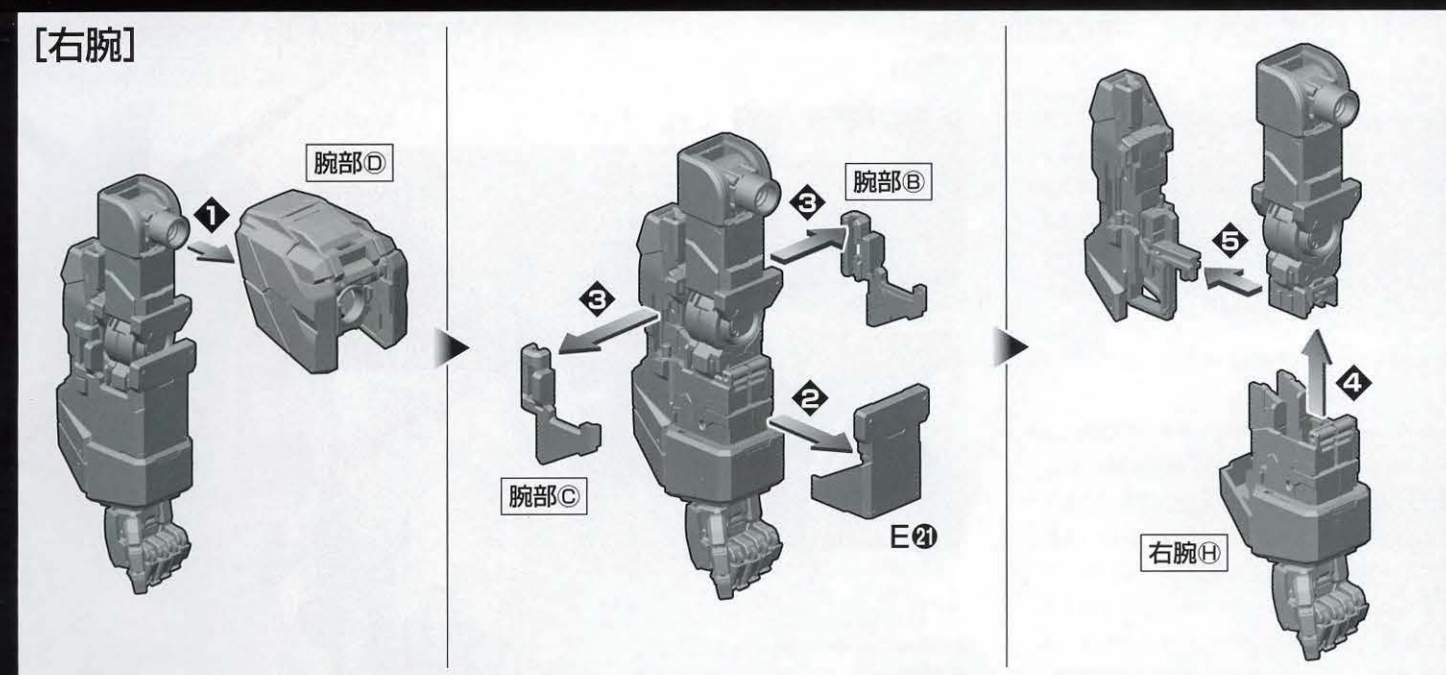
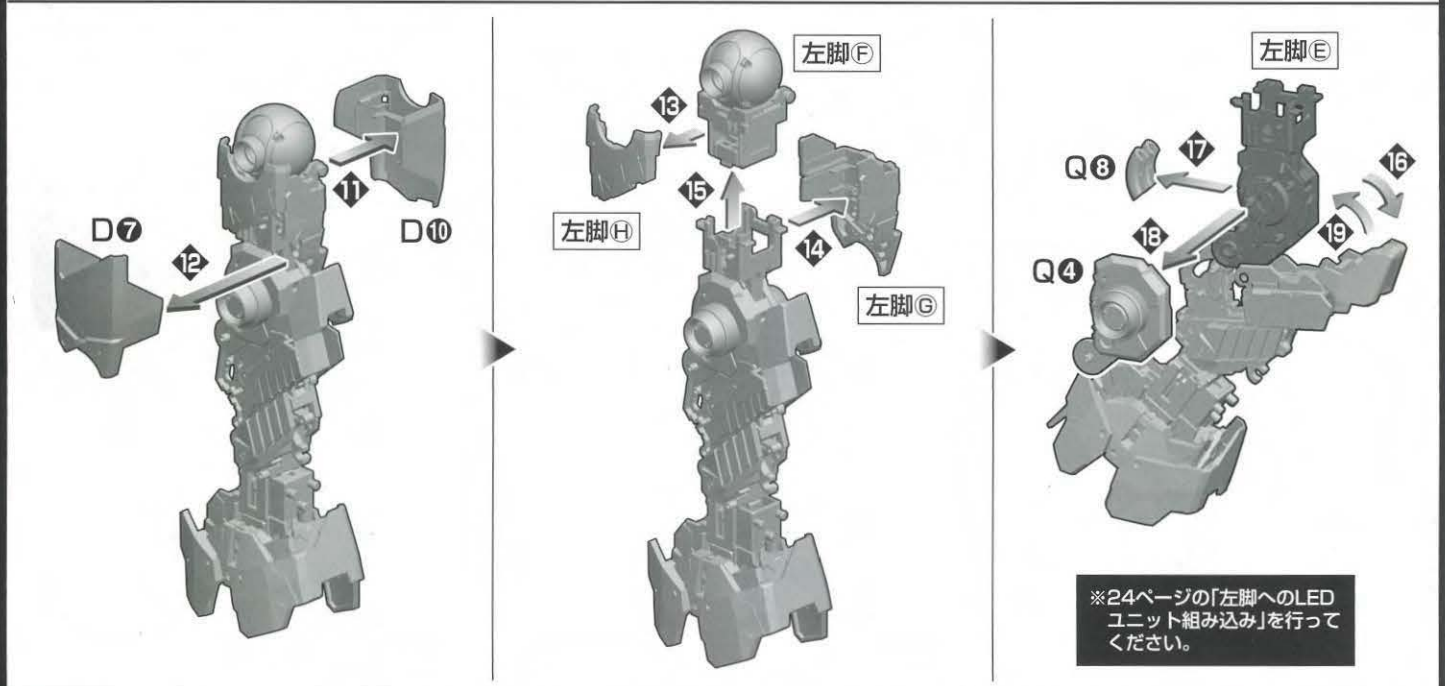
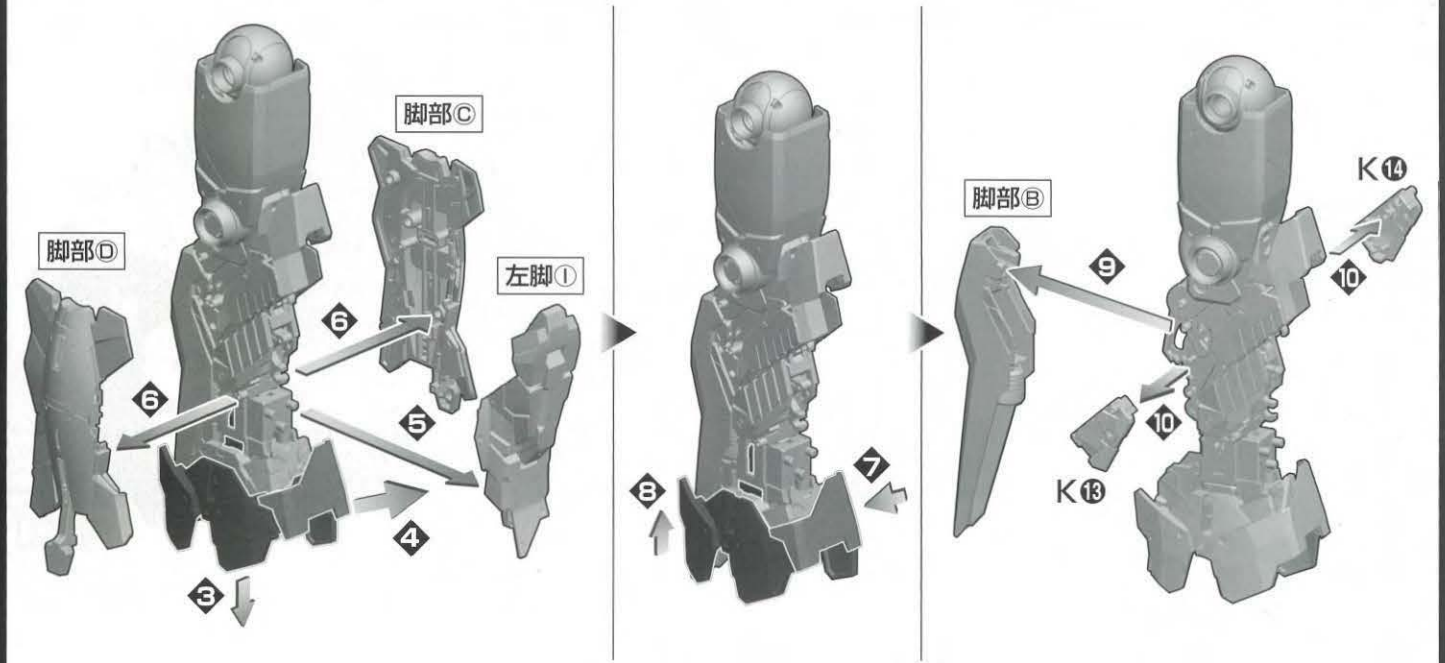
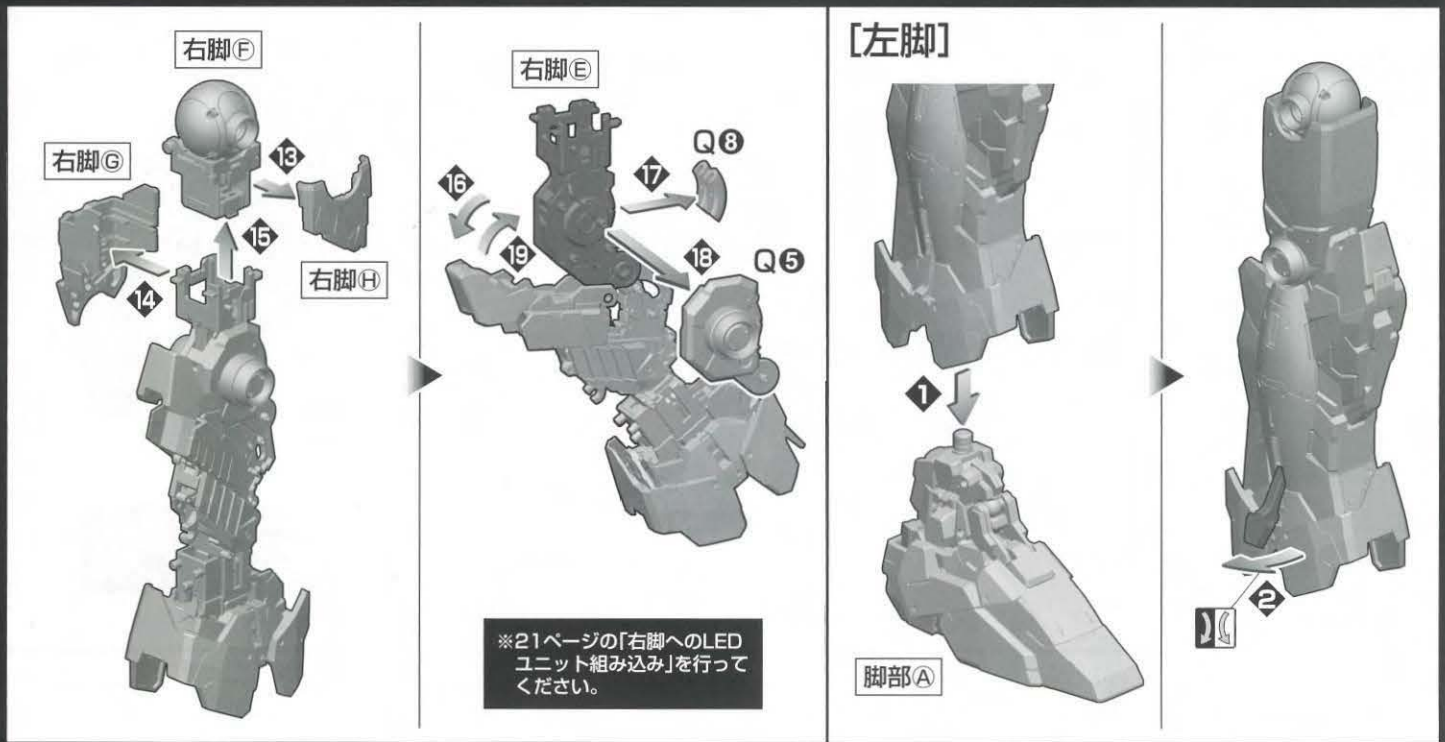
[シールド]



本体完成後に、PG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込むための分解手順説明です。

- ※パーツを外すときは、パーツセパレーター(PG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)に付属)を使用してください。
- ※本体をユニコーンモードに戻してから、分解を行ってください。
- ※各ユニットを分解後、本書中のLEDユニットの組み込み(赤い枠のイラスト)の指示ページに戻りPG RX-0 ユニコーンガンダム用LEDユニット(RX-0シリーズ兼用)(別売り)を組み込んでください。





「繋がれざる者」——その真なる意味

「アンチェインド」と命名された状態では、サイコミュ接続の流量制限が強制的にカットされ、同時に機体の操縦権は完全にNT-Dシステムへと委ねられる。システムと直結状態になった搭乗者は自身の生存率を一切考慮せず、ある意味では生体部品という扱いになり、敵性サイコミュ機体の撃破のみを目的としたプログラムコードを自動実行——つまり「ユニコーンガンダム」が、機械的に支配された戦闘マシンへと変貌するのである。

デストロイモード時に展開していた外部装甲は更に拡張し、内部のサイコフレームはより広範囲に露出する。これはサイコフレームが発光する謎の現象を受けてのことで、宇宙世紀0093年のアクシズ・ショック（※1）時に確認された物理概念を越えるエネルギー領域（サイコフィールド/※2）が発生した際に、機体との干渉を避けるための措置だと言われているが、まさにモビルスーツが人と機構の鎖から解き放たれた「繋がれざる者」として、その様をより明確に示すのである。

搭乗者の意志をダイレクトにサイコフレームへと伝達させ、遅延無く機動を促す操縦系機能「インテンション・オートマチック・システム」には、緊急時にマシン側の判断で、瞬間的な自律行動を行う補助効果が存在していた。アンチェインドはこれを元とした秘匿機能であり、「UC計画」を遂行するために備えられた保険、若しくは最後の手段だったと言えるだろう。

結論として、白い1号機がアンチェインド状態へ移行した記録は現時点で確認されていない。地球でのトリントン基地襲撃事件を始めとして、本機はサイコフレームの共振による異常現象を数度発生させてはいるが、それでもこの枷を外されることはなかった。それは搭乗者が本機を完全に掌握していた証だとも言えるが、一部関係者の証言によれば、最後の戦いの地となった工業コロニー<インダストリアル7>（※3）の周辺宙域において「ユニコーンガンダム」はその姿も含め、人の想定をさらに外れた超常現象を引き起こしたのだという。

戦闘を終息させる切っ掛けとなったその現象が、ビスト財団二代目当主、カーディアス・ビスト（※4）の手により1号機だけに組み込まれていた箱への道標、「La+（ラプラス）プログラム」（※5）の秘めた力によるものなのか、今となっては断定の仕様が無い。ただ、ひとつだけ確かなのは、コックピットにはパナージ・リンクス（※6）という民間人の少年が常に搭乗していたということである。箱の争乱に巻き込まれながらも、本機の搭乗者として最後まで生き延びることが出来た彼ならば、たとえばアンチェインドが発動しても、その外れた手綱を再び引き寄せ、自身の力としていたのではないだろうか。

伝説の獣ユニコーンは可能性の象徴だと言われている。それをモチーフとしたモビルスーツもまた、清濁共にあらゆる可能性を秘めながら、サイコフレームやNT-Dを扱う人の力を乗せて、新たな可能性を世界に示した。結局の所「ユニコーンガンダム」は、父から子へ受け継がれた人の想いを受け、ただ従順に忠えたのである——機械としても、当然、「可能性の獣」としても。

RX-0 UNICORN GUNDAM



HEAD
通常のデストロイモードから更に、メインセンサー左右のパネルが展開、サイコフレームが外部に露出する。



SHOULDER/ARM

肩部の装甲と下腕部の装甲が展開。特に下腕部の装甲は、スタビライザーのように展開し、サイコフレームがより露出する構造となっている。



LEG

デストロイモードからさらに複雑な形状で、精密なパネル構成とディテールが特徴。ふくらはぎ部分を中心に複数のパネルが展開し、スラスターやサイコフレームが露出する。



CHEST

胸部上面の装甲が開く。露出したサイコフレームのディテールも追加されるなど、細部にわたって表現されている。



REAR

バックパックやリア・アーマーがさらに展開していることが分かる。脚部同様、複雑なパネル構成だが、装甲が干渉しないように考慮されている。



※1 アクシズ・ショック
「シャアの反乱」におけるアクシズ攻防戦において見られた謎の発光現象。地球への落下コースに乗ったアクシズが突如として謎の光に包まれた事件。これにより地球への落下という最悪の事態は免れたが、それ以上に発光現象そのものが関係者に大きな衝撃を与えた。



※2 サイコフィールド
サイコフレームによって発生する力場で、アクシズ・ショックの際に初めて確認された。サイコフレームの共振によるものとされ、物理的な力を発揮するほか、様々な現象を引き起こす。「ラプラスの箱」を巡る争乱の最終局面では、「インダストリアル7」に向けて発射されたコロニー・レーザーを減衰させている。



※3 <インダストリアル7>
ラグランジュ1にある工業コロニーで、U.C.0096当時においては建造途中であった。管理や運営はAE社が行っており、同社の関連企業などが多数置かれていた。コロニービルダー<メガロニカ>はビスト財団の拠点でもあり、RX-0 ユニコーンガンダムの開発が行われていた他、「ラプラスの箱」が秘匿されていた。



※4 カーディアス・ビスト
ビスト財団の現当主を務める人物。「袖付き」への「箱」の譲渡を決定し、「メガロニカ」において交渉に臨んだが、連邦軍の介入を受けた際に負傷し、偶然再会した息子のパナージ・リンクスに「箱」の鍵であるRX-0 ユニコーンガンダムを託して散って行った。



※5 La+（ラプラス）プログラム
RX-0 ユニコーンガンダムに搭載された特殊システム。特定の条件——プログラムが示した座標でNT-Dを発動させる——を満たすことで起動し、その際に「ラプラスの箱」に至る座標が開示される。首相官邸<ラプラス>、<トリントン基地>、<インダストリアル7>などが示された。



※6 パナージ・リンクス
<インダストリアル7>にあるアナハイム工専に通う少年。母の死に際し、父に引き取られコロニーに移住する。「ラプラスの箱」の譲渡阻止のため、コロニーに潜入したオードリー・バーン（ミネバ・ラオ・ザビ）と出会い、さらに父から「箱」の鍵たるRX-0 ユニコーンガンダムを託されたことで争乱に身を投じることとなる。



MARK LOCATION

画像を見て、マーキングシールの貼る位置を確認してください。

このマーキングシールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

- ※余ったマーキングシールは好きな所に貼ってください。
- ※説明のため、一部画像を省略しています。
- ※画像と実際の商品は多少異なります。

COLOR GUIDE

- ※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
- ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
- ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

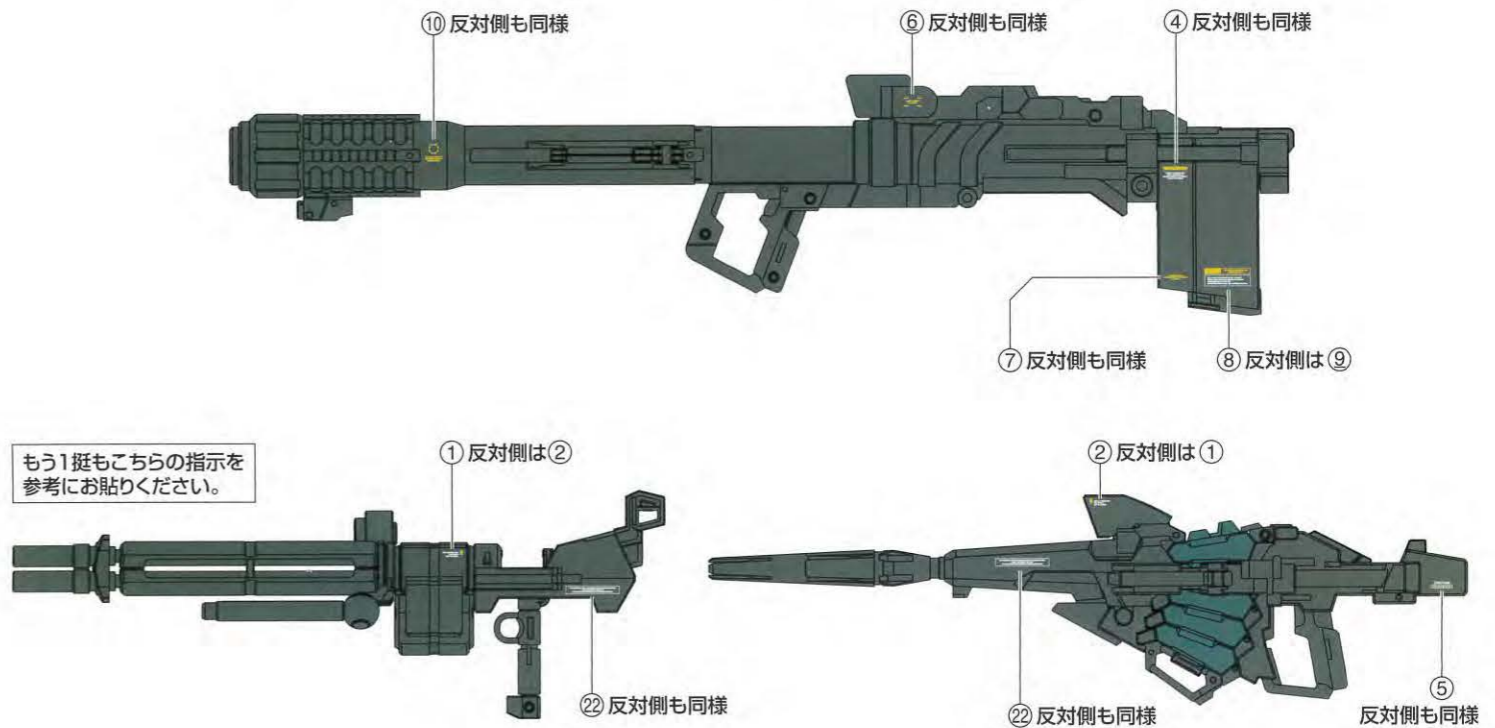
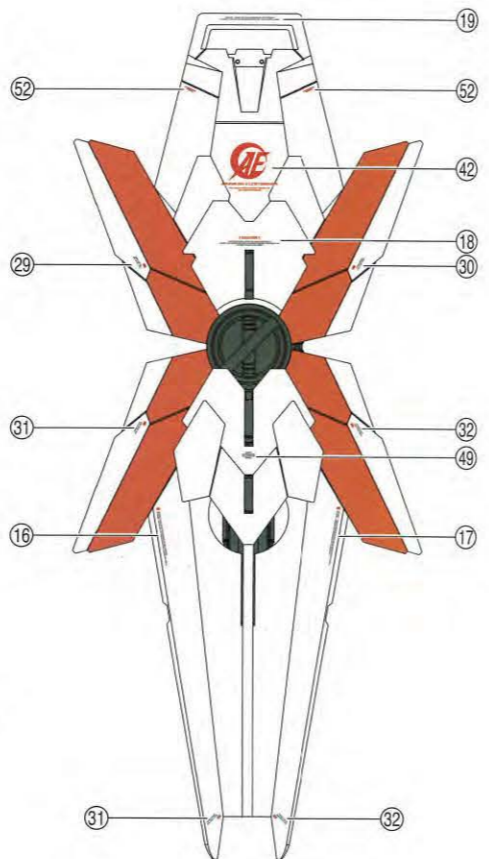
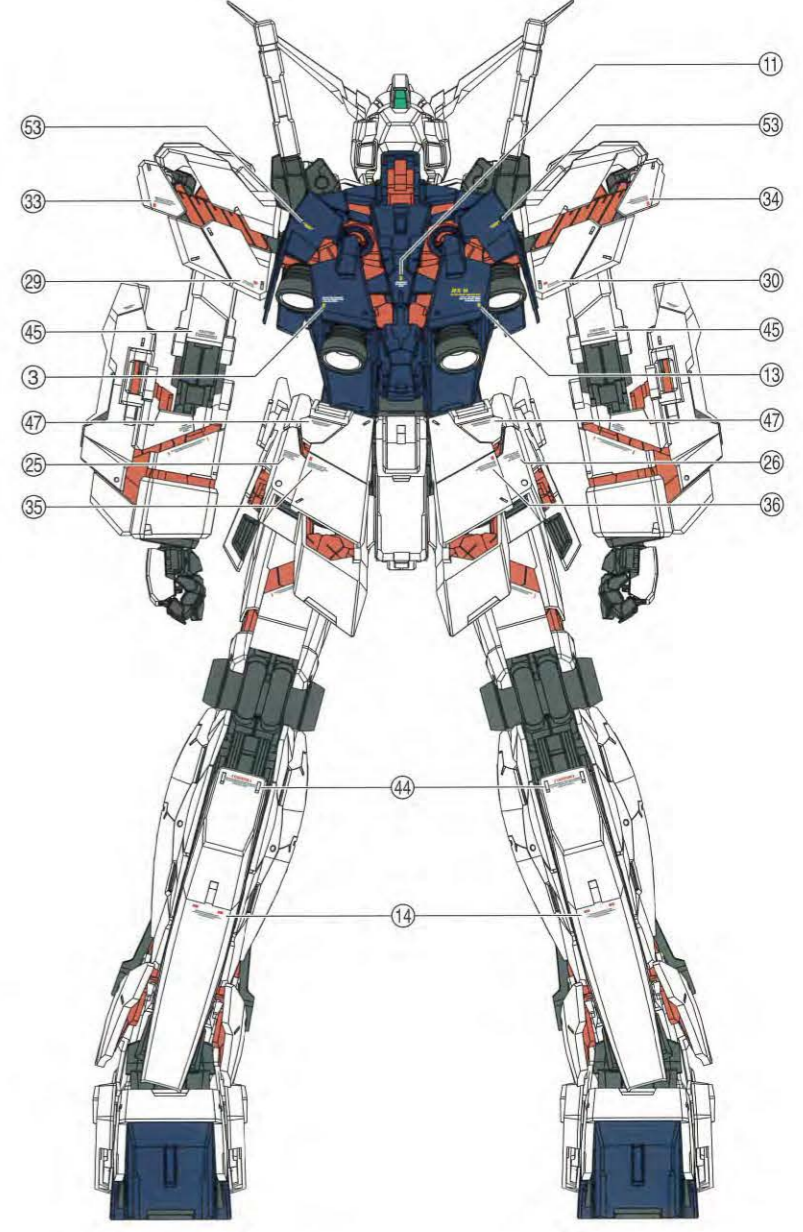
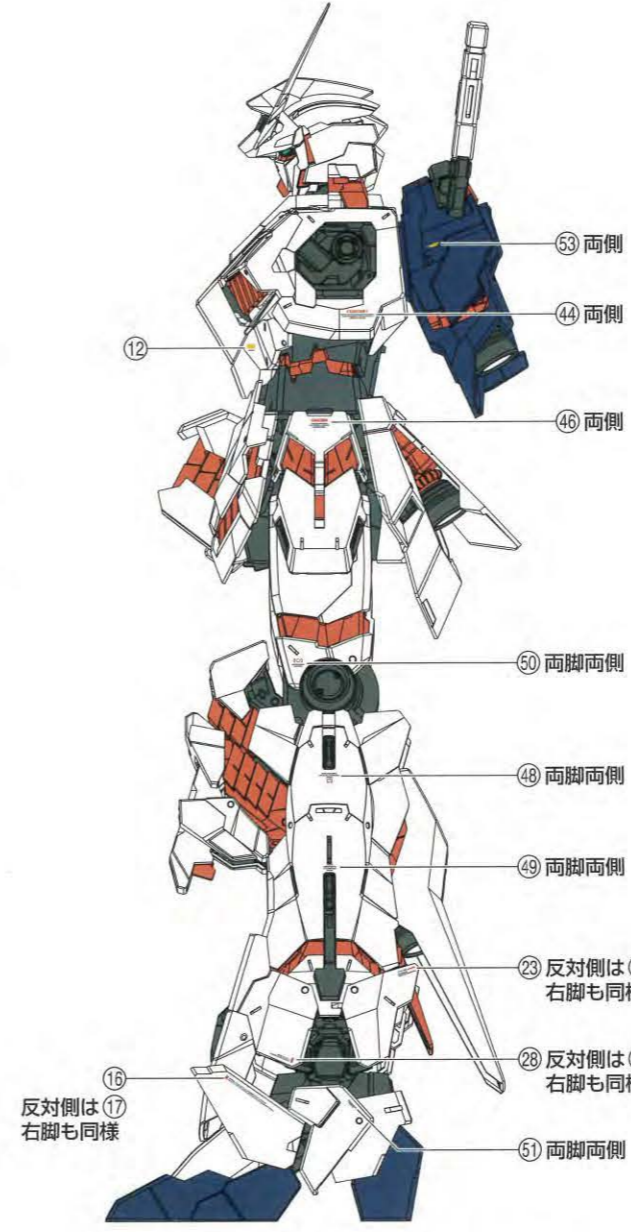
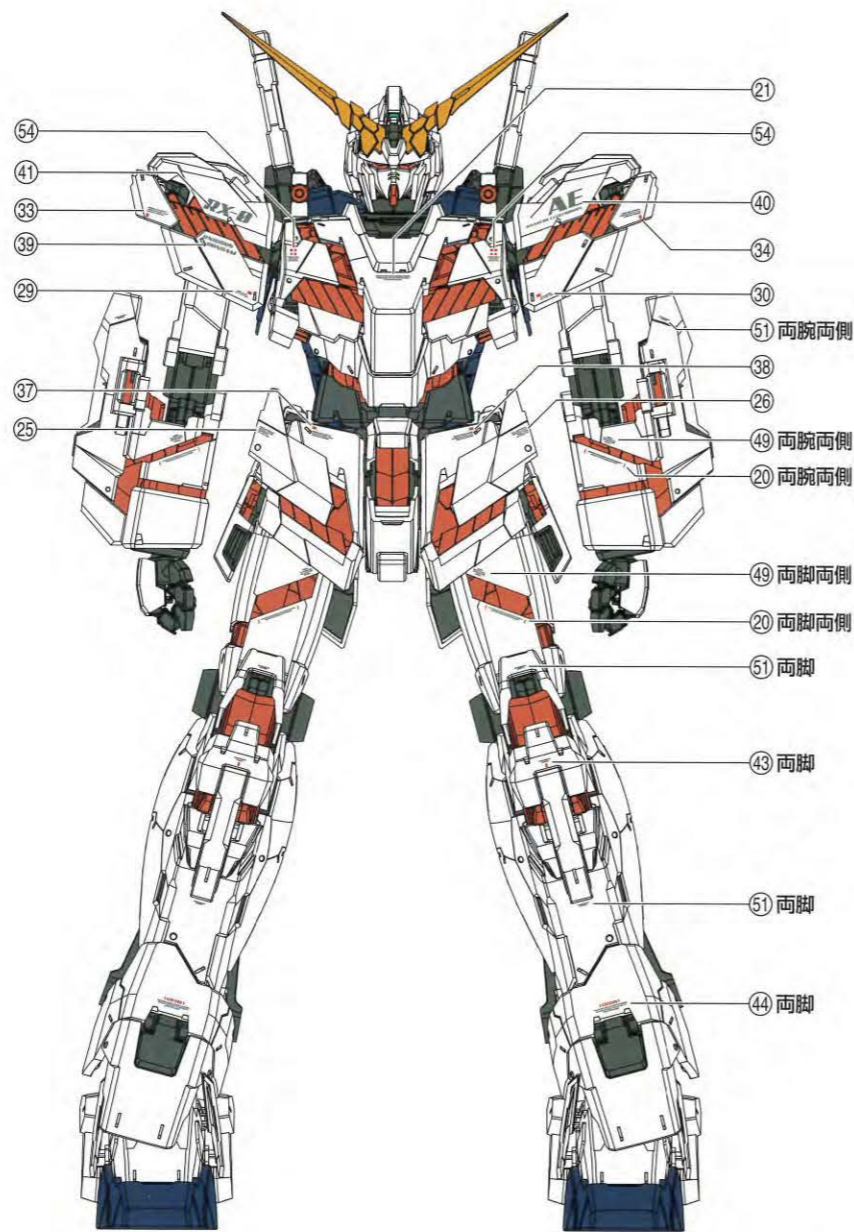
ユニコーンガンダム

- 【本体ホワイト部の塗装色】
ホワイト(100%)
- 【バックパック等ダークブルー部の塗装色】
インディブルー(60%)+レッド(35%)
+ブラック(5%)
- 【腹部等グレー部の塗装色】
グレー(95%)+ブラック(5%)
+レッド(少量)
- 【武器等の塗装色】
ホワイト(25%)+マホガニー(45%)
+カーキ(10%)+ブラック(20%)
- 【ビーム・マグナムマガジンの塗装色】
ブルーグレー(85%)+イエロー(10%)
+ホワイト(5%)+ブラック(少量)

バナー・リンクス

- 【顔の塗装色】
薄茶色(50%)+ホワイト(50%)
- 【髪の塗装色】
マホガニー(100%)+ホワイト(少量)
+ブラック(少量)
- 【ホワイト部の塗装色】
+ホワイト(100%)+イエロー(少量)
+薄茶色(少量)
- 【ブーツ等ライトグレー部の塗装色】
ホワイト(90%)
+RLM02グレー(10%)
- 【ヘルメット等グレー部の塗装色】
グレー(95%)+グリーン(5%)
+ホワイト(少量)
- 【レッド部の塗装色】
モンザレッド(100%)
- 【ヘルメットオレンジ部の塗装色】
オレンジ(95%)+ブラック(5%)
- 【バックパック等グレー部の塗装色】
エアラフトグレー(100%)

※ここに掲載している情報は2014年12月現在のものです。



もう1挺もこちらの指示を参考にお貼りください。